

幼兒の教養

第十七號 月七月 卷四十三



東京女子高等師範学校内会
日本幼稚園協会

この夏の保育講習會

期場講所

自七月二十二日 六日間 午後一時より四時まで
至同二十七日

東京女子高等師範學校

幼稚園に適切なる唱歌遊戯及び團體遊戯指導(二十二日より二十五日まで四日間)

東京女子高等師範學校助教授

戸 倉 ハ ル 君

一 保育の實際に關する質疑應答(二十六日より二十七日まで二日間)

東京女子高等師範學校教授

倉 橋 惣 三 君

金貳圓五拾錢。

(本講習に御出席の方で遊戯の講習をお受けにならぬ
い方には、特に會費を金貳圓五拾錢だけ頂きます。)

宿泊申込

費用
一泊金壹圓貳拾錢(二食つき)

本校寄宿舎(常構内)で宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

聽講、宿泊いずれも六月二十日より七月十五日まで、本會講習掛死にお申込み下さい、御住所(及び奉職所名)必ず御明記置き願ひます。(會費は申込ご同時に日本幼稚園協會振替口座東京一七二六六番にお拂込下さい、宿泊料は御入舎の上でお支拂ひ下さい)

文部省主催幼稚園講習が七月二十二日より同二十七日まで東京女子高等師範學校に於て開催せらるゝ豫定に基き、その午後毎日右の通り本會主催の講習會を開催いたします。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

昭和九年七月

日本幼稚園協會

小石川區大塚町三五

第六回 夏季保育講習會

毎年開きます夏の講習が、いつも新しき點適切有益である事で皆様が喜んで下さいますので一層力を得て本年茲に一流の權威ある先生に御願ひ致しまして左の通り第六回目の講習を開きます

本年も五割引乗車の便利を取計らひ通用期間を昨年より早く長くいたして貰ひます

一期 日 七月廿八日より八月一日迄五日間

二、時間 午前八時より十二時迄
午後一時より五時迄

三、科目と講師

1. 幼稚園保育の本質(六時間)

東京女子高等師範學校教授 東京昭和保育研究所講師兼顧問

倉 橋 惣 三先生

幼稚園に於ける保育は其根本の本質に於て如何なるものであるか。如何なるものであるべきか。殊に保姆の持すべき心の用意 態度は如何にあるべきか等の重要な問題につき講せらる

2. 幼兒期に於ける日本精神の涵養(四時間) 東京文理科大學教授 文學博士 楠崎 浅太郎先生
楠崎先生は曩に日本教育的心理學と教育革新の本道を此の二大著書によつて最近我國教育界に大なる響きを與へられて居る折柄茲に先生の蘊蓄を窺ひ教育の基底である幼兒に日本精神の基礎を與ふるには如何にすべきかを闡明することは目下の急務であると思ふ

3. 性格の診斷と其取扱ひ方(六時間)

東京帝國大學助教授

青木 誠四郎先生

昨年の講習では時間の關係で十分に參りませんでした。何と云つても此の方面の唯一の權威者です今回は一々具體的に例を擧げて後理論的説明を與へ其應用まで進めていたります

4. 幼兒の繪の見方。導き方。及び繪の見せ方(四時間)

畫家として大家であり童畫家として實に造詣深く幼兒の書ける繪を見る保姆の眼識。導き方。繪本の見せ方については先生の右に出る方は殆どないと思ふも過言ではありますまいか、こゝに皆様と此の講演によつて幼兒生活を一層豊かにする途を求めていきたいと思ひます

5. 手技製作(六時間)

東京女子高等師範學校教諭

及川 ふみ先生

幼児の製作は先生を以て最も選を得たるものと確信します。
今回文部省で主催の保育講習に教授せらるゝものと全く別種のものをお願ひいたす事で皆様には最も
良いお土産を與へらるゝ事と信じます。

6. 律動遊戯及び表情遊戯の理論と實際(十四時間)

東京昭和保母養成所長 瑞穂幼稚園長

土川五郎先生

専ら幼児に適した新作二十餘種に低中高學年のものを加へて教授練習す

理論之部は1.2.3.4.の四科目 實際の部5.6の二科目

四、五、區 分 會 員

各三百名

瑞穂幼稚園 東京市品川區大井原町五、二〇八

場

省線大井町驛下車城南バスにて原文は水神前下車二分

理論之部 參圓 實際之部 參圓 兼修五圓

七、八、割引乗車券

五割引往復券

會費を添へてお申込の方に御送りいたします。七月二十日迄にお申込下さいませんと間に合ひません
購入使用期間は七月十日より八月十日迄の豫定

市及近郊から省線でお通ひの方は毎日割引券を差上げます

九、申込

七月廿五日迄 東京市品川區大井原町五、二〇八 土川五郎宛

爲替又は振替東京六九二一四番により申込むこと振替の方は裏面に講習と記入のこと

一〇、宿泊

本校寄宿舎を充用す一泊二食金壹圓貳拾錢のこと前以て申込まれたし

昭和九年七月

主催

東京昭和保母養成所

責任者

土川

五郎

東京市品川區大井原町五、二〇八

電話大森二、二一〇番
振替東京六九二一四番

保育夏期講習會

本年で第六回の保育夏期講習會を左記の通り開催いたしたいと存じます、本年は昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考として理論よりも實際を、量よりも質を尊び講師及科目に於きましても保育に理解ある權威者を依頼致しまして最も適切なる科目を選んでおります。幼兒教育に直接携はれる先生方は勿論其經營者及將來この方面に進出せんとせらるゝ方に御入會を切にお勧め致します。

昭和九年七月

主催佛教保育協會
後援佛教各宗々務所

要綱

期間

昭和九年七月二十七日より三十一日まで五日間(毎日午前八時より午後三時まで)

講師及科目

東京市小石川區表町傳通會館(市内電車傳通院前下車すぐ前)

幼稚園保育の眞精神

(四時間)

東京女子高等師範學校教授

堀

最近稍もすれば幼稚園保育の眞精神を忘れて保育の實際に携はるゝ人が多い様に見受けられます、先生が特にこの講題を掲げられたのも又故あること、存じます、それ故特に平常幼兒に接しておられる保姆さん方には是非聞いて頂かなければならぬこと、信じます。

佛教保育の實際問題

(二時間)

東洋大學教授 本會副會長

關

佛教保育の理論に就ては毎年の講習會に於て講ぜられておりますが本年は特にその實際的方面に就て御指導せらるゝこと、なつております。

幼兒の唱歌指導法

(七時間)

前東京音樂學校教授

梁

田

本會第一回第二回の講習會に出講せられて皆様の非常な敬慕を受けました先生が再び出席せられて幼兒の唱歌指導につき前回よりも長時間に懇切に指導せらるゝこと、なつております尙戸倉先生の遊戯とも連絡を保ち講佛歌についても亦御指導せられます。

幼兒の遊戲指導 (八時間)

東京女子高等師範學校助教授

戸倉

ハル

氏

幼児に最も適した遊戯を眞實目に研究せられつゝある先生が特に本講習に出席せられて最近振付られたるものにつき懇切に御指導せられます。

一 幼児の生活指導

(五時間)

前帝都教育會保姆傳習所講師

ト 部 た み 氏

一 幼児に聞かせる談話法

(三時間)

幼児の發達より見た系統と各保育項目との聯絡ある手技の實際案及びその實習に就て指導せられます。

講師、本會々長 安藤正純氏

副會長 富田敷純氏

淺草寺貫主 大森亮順氏

講習料 費員定申込所宿泊鐵道割引

金貳圓五拾錢也

貳百

申込日

御注意 申込書御入用の方は左記本會夏期講習會事務所宛御申込下さい

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所

振替口座東京七八六六七番
電話淺草〔三三三〇番〕七二〇五番 内線三四番

第五回全國保姆夏期大講習會

期 間 八月六日より九日迄。自午前八時半、至午後四時半

會 場 大阪府立、大手前高等女學校

(大阪市東區大手前町、大阪府廳北)

科目と講師

◎午前部

一 幼兒の性能の鑑別法

東京帝國大學教授 文學博士 淡路圓治郎氏
（幼兒保育上、現下の緊要問題なる、この新研究は、必ずや、幼兒保育に關係ある各位の見のがし能はざる重
要事ならん（五時間））

二 幼稚園に於ける幼兒の性格理解と性格指導の問題

東京帝國大學教授 文學博士 淡路圓治郎氏
（正木教授は、多くの幼稚園に就いて、各種の實際的研究をなし、其の新研究を發表する、幼兒の實際教育に
當らるゝ保母各位のオアシスならん（四時間））

三 新らしい保育の問題について

平安女學院專門學校教授

ランバース女學院教授 マスター、オブアーツ

高森富士女史

幼稚園の實際的保育の新らしい問題に就いての講話は各位の御満足を與ふるものである。（二時間）

四 誤れる童話の使命と取扱法

紙芝居の理論と實際

童話作家協會幹事 文學士 尾關岩一二氏

尾關學士の新研究は誤れる童話の使命を論じ、正しい其取扱法を示し、且つ目下の重要な問題たる紙芝居の理
論と實際とを說破され、幼兒の藝術教育に正しい指針を與へるものである（二時間）

五 風變の新しい手技の實習

三つ田手技研究所 一二つ田花子女史
（幼兒手技の新研究なる三つ田女史が新しく考案せる立體的の手技、廢物利用の手技（羅紗、空箇、鋸屑等）
自然物利用の手技等の數多く、實際に役立つ保育資料が提供さる（四時間））

◎午後の部

六

幼稚園の遊技會、運動會に適切なる體育ダンス及
唱歌遊技、新作發表廿五種

久保氏は體育ダンス、舞踊を研究すること十數年。著書六十有種を算す。

久保舞踊研究所長
大日本新遊技研究會所長
大日本新遊技研究會講師

久保富次郎氏

かつて歐米各國に一ヶ年、外遊せ

七

幼稚園適切なる教育舞踊と幼兒音頭踊（新作發表二十有種）

東京、エリアナ、パブロバ女史に師事し且つ若柳流の名手也。其作は和洋を折衷し動的に、自然にりは毎年全國各地の講習に於いて等しく驚嘆されるところである。（八時間）

午前の部 金參圓 午後の部 金參圓 兼修金五圓

二食附金壹圓參拾錢にて指定旅館。大阪驛前、浮田旅館にて親切に世話をす。

七月末迄に、會費を添へ。午前、午後を明記し、主催宛に書留若くは振替口座大阪七一一四六番に申込むこと。手技の材料などの準備の都合上、なるべくお早く御申込

一一一
資 格
申 宿 泊 料 講 習 入

制限無し

主 催

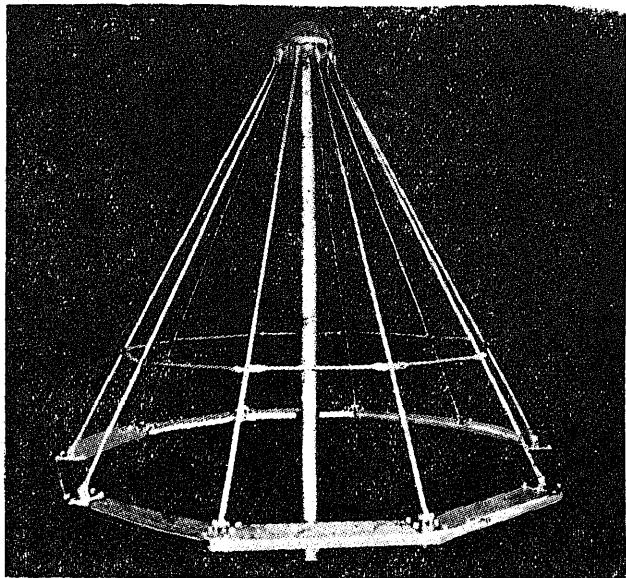
大阪市西淀川區野里町一 一二三三

研究所 大 日 本 新 遊 技 研 究 會
振替口座大阪七
北區南森町交叉點北
一 一 四 六 番
森町ビル二階

書著氏保久
次取會本

唱歌遊技と舞踊	體育ダンスと唱歌遊技
幼兒のおどり(其一)	體育ダンス(其一)
其二	其十
各各各各各各各各各各	金壹圓
壹六六六六六六六六	金半
拾拾拾拾拾拾拾拾	錢半
圓錢錢錢錢錢	半

今！御園の御設備に絶好の時期!!



新豫算のもとに、「あれも一臺備へたい」この思想が御座いませば、兎も角も弊館へ御相談下さいませ。

工手間も設備費も、割安にして能率的。従つて御施設は最も經濟的。幼兒の運動具・保育用品を研究し、製造し、販賣すること慈に二十有七年、堅牢にして行届いた工作は「フレーベル館の云々こ、内外の幼稚園のゼネラル・オビニヤンミなつてゐます。

- ◇ 波動迴轉塔 Ocean Waves
- ◇ メリーゴーラウンド
- ◇ 鐵製椅子ブランコ
- ◇ 太鼓梯子
- ◇ スモール・セット
- ◇ 大型二十人乗シーソー
- ◇ 箱積木
- ◇ ヒル氏積木
- ◇ コンビネーション運動具
- ◇ 枠登り
- ◇ 鐵製二人乗りブランコ
- ◇ 大型鐵製滑り臺
- ◇ 樂隊遊び用樂器一揃
- ◇ 人形芝居用舞臺・人形一揃
- ◇ 子供の家(社會遊び)
- ◇ その他新案各種運動具

八四一七五一八一一一七八三四五八〇
七五八五三一五五〇二〇五八〇
圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓

フレーベル・社会式株

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東
番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大

店本
所張出

この夏の保育講習會

期場講所

自七月二十二日 六日間 午後一時より四時まで
至同二十七日

東京女子高等師範學校

幼稚園に適切なる唱歌遊戯及び團體遊戯指導(二十二日より二十五日まで四日間)

東京女子高等師範學校助教授

戸 倉 ハ ル 君

一 保育の實際に關する質疑應答(二十六日より二十七日まで二日間)

東京女子高等師範學校教授

倉 橋 惣 三 君

金貳圓五拾錢。(本講習に御出席の方で遊戯の講習をお受けにならな

い方には、特に會費を金貳圓五拾錢だけ頂きます。)

本校寄宿舍(常構内)で宿泊の御便宜を計ります。(文部省主催講習會員及び日本幼稚園協會講習會員共)

費用 一泊金壹圓貳拾錢(二食つき)

聽講、宿泊いずれも六月二十日より七月十五日まで、本會講習掛死にお申込み下さい、御住所(及び奉職所名)必ず御明記置き願ひます。(會費は申込ご同時に日本幼稚園協會振替口座東京一七二六六番にお拂込下さい、宿泊料は御入舍の上でお支拂ひ下さい)

文部省主催幼稚園講習が七月二十二日より同二十七日まで東京女子高等師範學校に於て開催せらるゝ豫定に基き、その午後毎日右の通り本會主催の講習會を開催いたします。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

昭和九年七月

日本幼稚園協會

小石川區大塚町三五

第六回 夏季保育講習會

毎年開きます夏の講習が、いつも新しき點適切有益である事で皆様が喜んで下さいますので一層力を得て本年茲に一流の權威ある先生に御願ひ致しまして左の通り第六回目の講習を開きます

本年も五割引乗車の便利を取計らひ通用期間を昨年より早く長くいたして貰ひます

一期 日 七月廿八日より八月一日迄五日間

二、時間 午前八時より十二時迄
午後一時より五時迄

三、科目と講師

1. 幼稚園保育の本質(六時間)

東京女子高等師範學校教授 東京昭和保育研究所講師兼顧問

倉 橋 惣 三先生

幼稚園に於ける保育は其根本の本質に於て如何なるものであるか。如何なるものであるべきか。殊に保姆の持すべき心の用意 態度は如何にあるべきか等の重要な問題につき講せらる

2. 幼兒期に於ける日本精神の涵養(四時間) 東京文理科大學教授 文學博士 楠崎 浅太郎先生
楠崎先生は曩に日本教育的心理學と教育革新の本道を此の二大著書によつて最近我國教育界に大なる響きを與へられて居る折柄茲に先生の蘊蓄を窺ひ教育の基底である幼兒に日本精神の基礎を與ふるには如何にすべきかを闡明することは目下の急務であると思ふ

3. 性格の診斷と其取扱ひ方(六時間)

東京帝國大學助教授

青木 誠四郎先生

昨年の講習では時間の關係で十分に參りませんでした。何と云つても此の方面の唯一の權威者です今回は一々具體的に例を擧げて後理論的説明を與へ其應用まで進めていたります

4. 幼兒の繪の見方。導き方。及び繪の見せ方(四時間)

畫家として大家であり童畫家として實に造詣深く幼兒の書ける繪を見る保姆の眼識。導き方。繪本の見せ方については先生の右に出る方は殆どないと思ふも過言ではありますまいか、こゝに皆様と此の講演によつて幼兒生活を一層豊かにする途を求めていきたいと思ひます

5. 手技製作(六時間)

東京女子高等師範學校教諭

及川 ふみ先生

幼児の製作は先生を以て最も選を得たるものと確信します。
今回文部省で主催の保育講習に教授せらるゝものと全く別種のものをお願ひいたす事で皆様には最も
良いお土産を與へらるゝ事と信じます。

6. 律動遊戯及び表情遊戯の理論と實際(十四時間)

東京昭和保母養成所長 瑞穂幼稚園長

土川五郎先生

専ら幼児に適した新作二十餘種に低中高學年のものを加へて教授練習す

理論之部は1.2.3.4.の四科目 實際の部5.6の二科目

四、五、區 分 會 員

各三百名

瑞穂幼稚園 東京市品川區大井原町五、二〇八

省線大井町驛下車城南バスにて

原文は水神前下車二分

七、八、會 費

理論之部 參圓

實際之部 參圓 兼修五圓

九、割引乗車券

五割引往復券

會費を添へてお申込の方に御送りいたします。七月二十日迄にお申込下さいませんと間に合ひません

購入使用期間は七月十日より八月十日迄の豫定

市及近郊から省線でお通ひの方は毎日割引券を差上げます

九、申込

七月廿五日迄 東京市品川區大井原町五、二〇八 土川五郎宛

爲替又は振替東京六九二一四番により申込むこと振替の方は裏面に講習と記入のこと

一〇、宿泊

本校寄宿舎を充用す一泊二食金壹圓貳拾錢のこと前以て申込まれたし

昭和九年七月 主催

東京昭和保母養成所

責任者 土川五郎

東京市品川區大井原町五、二〇八
電話 大森二、二一〇番
振替 東京六九二一四番

保育夏期講習會

本年で第六回の保育夏期講習會を左記の通り開催いたしたいと存じます、本年は昨年の講習會に於ける皆様の御希望を参考として理論よりも實際を、量よりも質を尊び講師及科目に於きましても保育に理解ある權威者を依頼致しまして最も適切なる科目を選んでおります。幼兒教育に直接携はれる先生方は勿論其經營者及將來この方面に進出せんとせらるゝ方に御入會を切にお勧め致します。

昭和九年七月

主催佛教保育協會
後援佛教各宗々務所

要綱

期間

昭和九年七月二十七日より三十一日まで五日間(毎日午前八時より午後三時まで)

講師及科目

東京市小石川區表町傳通會館(市内電車傳通院前下車すぐ前)

幼稚園保育の眞精神

(四時間)

東京女子高等師範學校教授

堀

最近稍もすれば幼稚園保育の眞精神を忘れて保育の實際に携はるゝ人が多い様に見受けられます、先生が特にこの講題を掲げられたのも又故あること、存じます、それ故特に平常幼兒に接しておられる保姆さん方には是非聞いて頂かなければならぬこと、信じます。

佛教保育の實際問題

(二時間)

東洋大學教授 本會副會長

關

佛教保育の理論に就ては毎年の講習會に於て講ぜられておりますが本年は特にその實際的方面に就て御指導せらるゝこと、なつております。

幼兒の唱歌指導法

(七時間)

前東京音樂學校教授

梁

田 宽之 氏

本會第一回第二回の講習會に出講せられて皆様の非常な敬慕を受けました先生が再び出席せられて幼兒の唱歌指導につき前回よりも長時間に懇切に指導せらるゝこと、なつております尙戸倉先生の遊戯とも連絡を保ち講佛歌についても亦御指導せられます。

幼兒の遊戲指導 (八時間)

東京女子高等師範學校助教授

戸倉ハル氏

幼児に最も適した遊戯を眞實目に研究せられつゝある先生が特に本講習に出席せられて最近振付られたるものにつき懇切に御指導せられます。

一 幼児の生活指導

(五時間)

前帝都教育會保姆傳習所講師

ト 部 た み 氏

一 幼児に聞かせる談話法

(三時間)

幼児の發達より見た系統と各保育項目との聯絡ある手技の實際案及びその實習に就て指導せられます。

聞かせながら見せるのが幼児に對する談話法であります。童話界の權威者たる先生が平常御經驗せられつゝあることを基として幼児の談話法につき親切に御教示されます。

科外講話

講師、本會々長 安藤正純氏

副會長 富田敷純氏

淺草寺貫主 大森亮順氏

講習料 費員定申込所宿泊鐵道割引

金貳圓五拾錢也

貳百

名

申込期日

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所宛

申込所宿泊鐵道割引

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所宛

申込期日宿泊鐵道割引

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所宛

申込期日宿泊鐵道割引

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所宛

御注意

申込書御入用の方は左記本會夏期講習會事務所宛御申込下さい

東京市淺草區淺草公園淺草寺幼稚園内

佛教保育協會夏期講習會事務所

振替口座東京七八六六七番
電話淺草〔三三三〇番〕七二〇五番 内線三四番

第五回全國保姆夏期大講習會

期 間 八月六日より九日迄。自午前八時半、至午後四時半

會 場 大阪府立、大手前高等女學校

(大阪市東區大手前町、大阪府廳北)

科目と講師

◎午前部

一 幼兒の性能の鑑別法

東京帝國大學教授 文學博士 淡路圓治郎氏
（幼兒保育上、現下の緊要問題なる、この新研究は、必ずや、幼兒保育に關係ある各位の見のがし能はざる重
要事ならん（五時間））

二 幼稚園に於ける幼兒の性格理解と性格指導の問題

東京帝國大學教授 文學博士 淡路圓治郎氏
（正木教授は、多くの幼稚園に就いて、各種の實際的研究をなし、其の新研究を發表する、幼兒の實際教育に
當らるゝ保母各位のオアシスならん（四時間））

三 新らしい保育の問題について

平安女學院專門學校教授
（ランバース女學院教授 マスター、オブアーツ
附屬幼稚園主任）

幼稚園の實際的保育の新らしい問題に就いての講話は各位の御満足を與ふるものである。（二時間）

四 誤れる童話の使命と取扱法

紙芝居の理論と實際

童話作家協會幹事 文學士 尾關岩一二氏

尾關學士の新研究は誤れる童話の使命を論じ、正しい其取扱法を示し、且つ目下の重要な問題たる紙芝居の理
論と實際とを說破され、幼兒の藝術教育に正しい指針を與へるものである（二時間）

五 風變の新しい手技の實習

（三つ田手技研究所 一二つ田花子女史
幼兒手技の新研究なる三つ田女史が新しく考案せる立體的の手技、廢物利用の手技（羅紗、空箇、鋸屑等）
自然物利用の手技等の數多く、實際に役立つ保育資料が提供さる（四時間））

◎午後の部

六

幼稚園の遊技會、運動會に適切なる體育ダンス及
唱歌遊技、新作發表廿五種

久保氏は體育ダンス、舞踊を研究すること十數年。著書六十有種を算す。

久保舞踊研究所長
大日本新遊技研究會所長

久保富次郎氏

外遊せ

七

幼稚園適切なる教育舞踊と幼兒音頭踊（新作發表二十有種）

東京、エリアナ、パブロバ女史に師事し且つ若柳流の名手也。其作は和洋を折衷し動的に、自然にリズミカルに按舞し、教育的にして新味を生氣を帶ぶるやさしき舞踊である。天才的女流創作家なるこそは毎年全国各地の講習に於いて等しく驚嘆されるところである。（八時間）

午前の部 金參圓 午後の部 金參圓 兼修金五圓

二食附金壹圓參拾錢にて指定旅館。大阪驛前、浮田旅館にて親切に世話をす。

七月末迄に、會費を添へ。午前、午後を明記し、主催宛に書留若くは振替口座大阪七一一四六番に申込むこと。手技の材料などの準備の都合上、なるべくお早く御申込頂くと幸ひです。

制限無し

一一一
申宿料
講習料
泊込

資格

一一一

主催 大日本新遊技研究會

大阪市西淀川區野里町一 一二三三

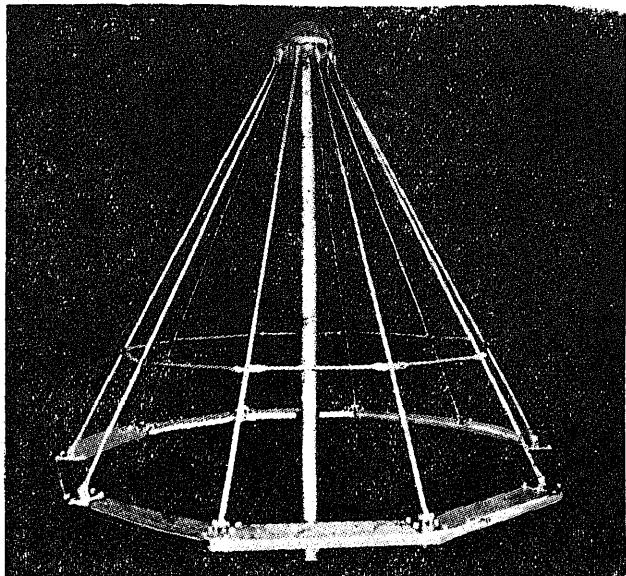
研究所

振替口座大阪七
北區南森町交叉點北
一一四六番
森町ビル二階

書著氏保久
次取會本

唱歌遊技と舞踊	體育ダンスと唱歌遊技
幼兒のおどり（其一 其二）	體育ダンス（其一 其二）
各各各各各各各各各各	各各各各各各各各各各
壹六六六六六六六六六六	壹六六六六六六六六六六
拾拾拾拾拾拾拾拾拾拾	圓錢錢錢錢錢錢錢半

今！御園の御設備に絶好の時期!!



新豫算のもとに、「あれも一臺備へたい」この思想が御座いませば、兎も角も弊館へ御相談下さいませ。

工手間も設備費も、割安にして能率的。従つて御施設は最も經濟的。幼兒の運動具・保育用品を研究し、製造し、販賣すること慈に二十有七年、堅牢にして行届いた工作は「フレーベル館の云々こ、内外の幼稚園のゼネラル・オビニヤンミなつてゐます。

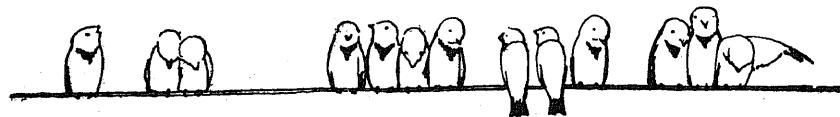
- ◇ 波動迴轉塔 Ocean Waves
- ◇ メリーゴーラウンド
- ◇ 鐵製椅子ブランコ
- ◇ 太鼓梯子
- ◇ スモール・セット
- ◇ 大型二十人乗シーソー
- ◇ 箱積木
- ◇ ヒル氏積木
- ◇ コンビネーション運動具
- ◇ 枠登り
- ◇ 鐵製二人乗りブランコ
- ◇ 大型鐵製滑り臺
- ◇ 樂隊遊び用樂器一揃
- ◇ 人形芝居用舞臺・人形一揃
- ◇ 子供の家(社會遊び)
- ◇ その他新案各種運動具

八四一七五一八一一一七八三四五八〇
七五八五三一五五〇二〇五八〇
圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓圓

株式会社 ルベーレ館

番七二八三(33)段九話電・路小川今・田神・京東
番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大

店本
所張出



號七第育教の兒幼 卷四十三第

—(次) 目—

口 繪	卷 頭(ひきつけられて)	倉 橋 懲	三:(一)
李王妃殿下の御臺臨を忝うして		倉 橋 懲	三:(二)
子供の文字意識		淺 黃 俊 次 郎	一:(五)
託児所の夏季保育施設		朝 原 梅 一	一:(一〇)
季節保育所施設標準		中央社會事業協會	一(元)
夏			
夏咲く草の花	本 田 正 次	(三)	
海は自然の大きな動物園	久 米 又 三	(天)	
貝類と海藻	堀 吉 田 のぶ 子	(聖)	
昆蟲談	三 越 弘 (西)	(堯)	
夏のおもちゃ	成 田 弘 (西)	(堯)	
研究發表			
幼稚園に於ける數觀念の養成について	坂 内 ミ ツ	(空)	
協同製作について	北 條 靜	(空)	
幼兒の服裝について(七)	成 田 順	(空)	
誰にも出來る實驗(三)	堀 七 藏	(空)	
夏休の講習を前にして	戸 倉 ル	(空)	
童玉女と猫の話	中 野 好 夫	(空)	
	(空)		

近刊

東京帝國大學教授 文學博士 淡路圓治郎先生著

幼兒性行評定尺度

四六版總布厚表紙
本綴、内容クリーミ、コットン八〇
斤、新縫九ボイン
ト活字、約一三〇
頁

本書は幼兒保育上最も緊切なる性行の評定に關する精細緻密なる新研究と、之れが剖切な體的に指示せるもの、幼兒保育に關係ある各位に絶好の指針として敢て一讀を推奨する所以である。

第一編 幼兒のための 人形芝居脚本

東京女高師附屬幼稚園保母 増田ふみ先生著

脚本十種、此の人形芝居は常に幼兒に新しい歡喜を以て迎へられる。卷頭寫眞オフセット七度刷舞臺裝置、及び同じく各種人形を收め、ボブリン布厚表紙本綴、體裁瀟洒。

第二編 自然おもちゃ

膳 賢規子先生著

幼兒保育上大切なお細工に於て、あらゆる自然物を利用し巧みに種々の形態を模せしむ。その數實に四百八十有餘種、敘説亦簡明、寫眞繪畫頗る多數。

第三編 幼稚園の手技製作

東京女高師附屬幼稚園保母 及川ふみ先生著

著者は東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て實際指導し來たれるものを各學期各月に配當し之を統整し、以て各幼稚園託児所等に於ける最も要なる手技製作の指導保育を遺憾ながらしむるやう、直接手をとりて導くが如く、親切に敘述す。

圓金二金 冊各送 生修 倉監 橋先

編四第

實驗 保育 學

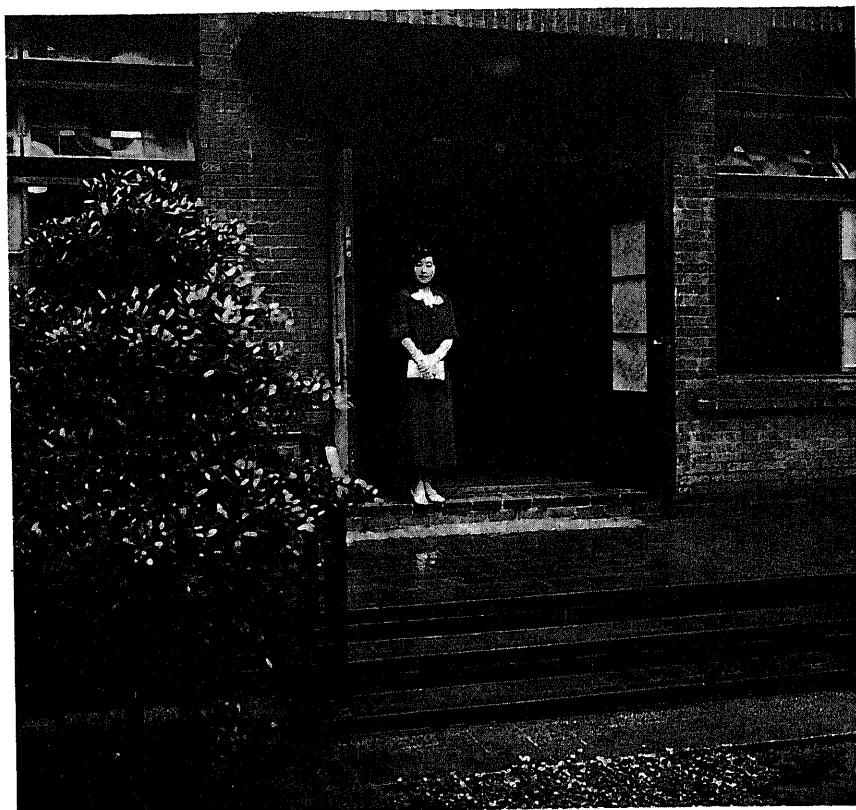
目白幼稚園保母養成所長 和田實先生著

著者は我國幼兒教育界の權威者にして、多年幼兒保育の實際に任り、學術的に實際的に幾多の尊き蘊蓄が凝つて本書を成したもの。小學校に於ける教育學の如く、實に幼兒教育界に於ける教育學としての輝ける寶玉であり、最新の保育指導書である。

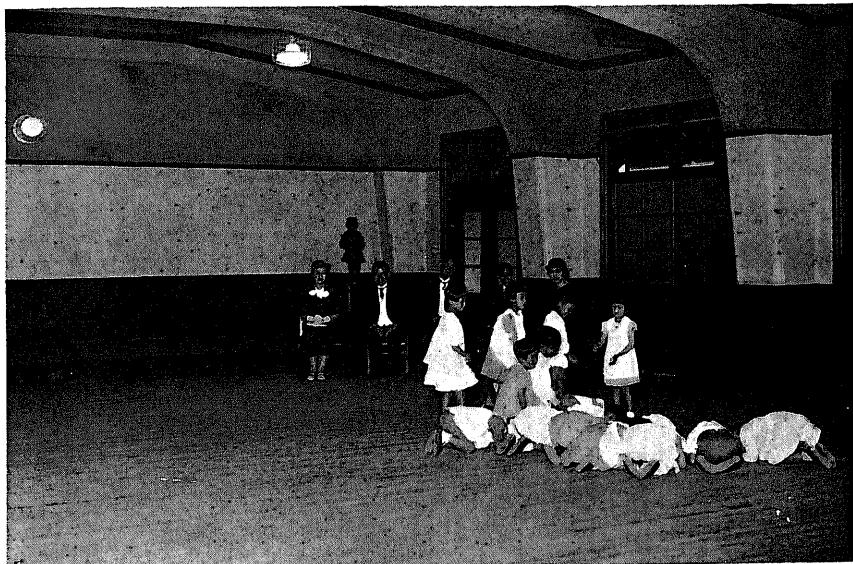
株式会社 ルベーレ

本店 東京 神田今川 小川路 三八二七番
出張所 大阪後備町五丁目六二番

李妃王子女方殿の下台臨



東京女子高等師範学校附属幼稚園にて謹んで寫



戯遊の児幼の日の臨台
(室戯遊園稚幼屬附)

幼児の教育

昭和九年七月

ひきつけられて

子さもがいたづらをしてゐる。その一生懸命さに引きつけられて、止めるのをも忘れてゐる人。氣がついて止めて見たが、まだすぐに始めた。そんなに面白いのか、なるほど、子さもこしてはさぞ面白からう、識らずく引きつけられて、ほえみながら、叱るのも忘れてゐる人。

實際的には直ぐに止めなければ困る。教育的には素より叱らなければだめにならぬ。しかも、それよりも先づ、取り敢へず、子さもの今、その今の心もち引きつけられる人である。

それだけでは教育になるまい。しかし、教育の前に、先づ子さもに引きつけられてこそ、子さもへ即くこいふものである。子さもにこつて嬉しい人とは、こいふ先生をいふのであらう。側から見てるても嬉しい光景である。

李王妃殿下の御臺臨を忝うして

東京女子高等師範學校
附屬幼稚園主事 倉 橋 物 三一

李王妃殿下妃方子女王殿下には、豫てわが附屬幼稚園に於ける幼児保育の實際を御覽下さるべき思召を仰せ出されあつたが、愈々本日、六月十六日、臺臨を忝うしたこゝは本園にござり光榮の至りである。

妃殿下には玖殿下(昭和六年十二月御誕生)の御母君として、限りなき御慈愛と共に、常にその御教養に御心を注がせられ、御参考となるべき書籍類なども廣く御涉獵遊ばされてゐる趣きを承つてゐる。昨年以來二回に亘り紀尾井町の御殿に私を召され、幼兒期教育のここに關し、李王殿下と御同列で御聽講給はつた折の如きも、種々御下問の間に深き御研究の一端をうかゞひ奉ることが出來て、まことに欽仰にたえなかつた。その妃殿下を親しく幼稚園にお迎へ申し上ぐるには、唯光榮を光榮とするだけでは済まない。私達職員一同は、何を如何して御覽に入るべきかに就て、無き智恵をしづつた。しかも、幼兒の眞の生活はありのまゝ以外にない。幼稚園としても、平生のまゝを御目にかけるこそ、有り難き臺臨の思召に副ふ途であることを考へた。

御休憩室の如きでさえ、せめてそれだけは本校の貴賓室にお通り願ひたいと思つたのを、それに及ばないといふ前以ての思召に従ひ、主事室を清掃して、お椅子を改めただけで御免し願つた程である。況んや保育室は全く常のまゝにした。ただ保育實習科の若き生徒達が、せめてものお迎へ心を以て、數日前から、日頃の掃除手腕を一倍に發揮しただけであつた。

午前十時校門より直に幼稚園に御着。玄関には十餘人の幼兒達がにこくこお迎へした。校長の御先導で、御休憩室に入らせられ、及川、新庄、菊池、小島、村上、小島各保母銘々に謁を給ふた後、私は直ぐ保育室に御案内申し上げた。

* * * * *

生憎の雨である。庭へ出ることの出来ない幼兒達は皆保育室にゐたが、各室とも幾つかの自由な「グループ」に分れて、いろんな仕事や遊びをしてゐた。

森の組(幼) 動物の切りぬき

川の組(幼) 粘土(著色) まゝごと

山の組(長) 遊 戲

動物園(大工仕事)
の支度(動物色塗り)

製作 市街(天塚附近)

海の組(長) 砂 箱 塗 繪

林の組(幼) 粘 土 水族館の支度

池の組(長)

妃殿下には絶えず御微笑をもつて幼兒達の間を御巡覽になり、屢々お立止りになつては幼兒の肩越しに優しくお話をかけになつたりした。幼兒達が平氣で無遠慮なお答へするのが却つて御興味を添へたか、お附の方々を顧みられてお笑ひ遊ばされるやうのことも度々あつた。私は一々の實際に即して、保育の趣旨方針を御説明申上げた。それに對しても、要所要所にお言葉を給はり、各室毎に、細々と御覧下さつた。ついで遊戲室で、唱歌遊戲を御覧になり、この間約一時間半、

御歸還の時刻が御豫定よりも遅れた位であつた。それ一つに幼兒の世界のもう純眞の力が御感興をおひきつけ申上げた爲
ご拜察するが、こうまで詳細に御覽いたゞいたことは、一同の深く感謝にたえぬところである。

たゞ一つの遺憾は、雨のために、遊園に於ける元氣縱横の自由遊びを御覽に入れることの出来なかつたことである。しかし、遊戯室のテレスに暫くお立ちになり、山や砂場や、運動設備などをよく御覽下さつたので、晴天ならば、如何に幼兒達が活潑として強い日光の下に活躍するか、又それが幼稚園として最も大切な部分であるかといふことを十分力を籠めてお話を申上げることは出來た。但しあのくるへとお可愛らしくお肉づきになつてゐる若宮と一緒に、日々に廣い芝のお庭にお出ましになるご承つてゐる妃殿下の御理解に對しては、室外保育のさみだれ講釋など、今更申上げる必要もないところであつたのである。

* * * * *

十一時四十五分、休憩室で御少憩の後、御機嫌麗しくお立ちになつた。その時、廊下にも、玄關にも、全園の幼兒達が列んでゐて、「さよなら～～」とお送り申げた。妃殿下には、その賑やかな大勢の子どもの聲を後に、若宮様のさぞやお待ち兼ねになつてゐる御殿へと、一路御歸還になつたのであつた。

子供の文字意識

東京女子高等師範學校
附屬小學校 淺 黃 俊 次 郎

一 幼児教育と文字

幼稚園教育に於て、幼児に文字を教へる必要があるかないかといふ問題については、かつて幼稚園協会の座談會で話し合つたことがある。この問題について、小學校教育の立場からは、「幼稚園が小學校教育の爲に強ひて、準備として、幼児に文字を教へ込む必要はない」。といふのが私の意見である。

子供に文字を知らせるといふことは、如何にも目に見えた知識を與へることになる爲に、如何にも教育したらしく裝ふには持つて來いであるところから、文字を教へ込んではさも子供を賢く育てたかの如き淺薄な自負に陥り勝である。が、健全なる幼稚園教育は、そんな輕薄な自負に陥つてはならぬ私は考へるのである。

けれども、子供によつてはいつこはなしに、自然に、文字を覚えるものゝあるといふことも、これ亦事實である。文字を覚えさせるといふやうな、知的な方面の育て方となるべく避けようとしても、それでも尚、今日の子供は文字といふものに可なり早くから興味を持ち始め、事實として文字を意識して行きつゝあるのである。然もそれが、誰に教へ込まれたといふこもなしに、幼児は生活としての自然さのうちに、文字に對する興味を意識を持つのは事實である。

生活として自然的に文字を覚えることが、今日の子供の生活として自然なものである限りに於ては、之を強ひて差し止めの必要の更にないといふこも亦私の持論である。

二 文字の存在意識と興味

幼兒は最も始めに如何なる場合に於て文字を意識し、如何なる意識の仕方をするものであるかといふに、家庭の父母兄弟が、文字を書いてゐるのを見てそこに驚異と興味を持つか、または人が文字、文章を讀んでゐるのを見てそこに驚異と興味を持つかに因つて始まるのである。故に、若し子供の身邊近く文字がなく、文字を読み且つ書く人がなくて、文字の存在と效用に少しの驚異と興味も持つ機會のない子供は、文字を意識することには出來ないのである。また、如何に多くの文字が子供の身邊にあつても、それを讀む人がなく、文字が讀まれることに對する驚異と興味を感じる機會がなければ、やはり文字を意識することは出來ないのである。

故に文化の低い農村地の子供は文字を意識し始めることが遅く、且つ稀薄であり勝ちであるけれども、文字を多く使って生活する家庭の子供や、都會地の子供は、比較的の文字を意識し始めることが早く、且つ意識の程度も高いのである。

今日の都會地の子供は、文字の文化環境に包まれてゐる。書かれてある文字に眼を觸れることが多く、文字を読み、且つ書きここを見る機會も非常に多いのである。そこで一般的に今日の都會地の子供は、四五歳頃から文字の存在を意識し始め、文字に對する興味を持ち始めるのである。

子供の能力——精神發達の如何にもよることはあるが、文字意識の如きは主としてその環境に發源するものである。

故に、いつかの座談會で倉橋先生も申されたやうに、今の東京の子供に云つては、文字は一生活環境物になつてゐるのであつて、子供の精神發達が、人が「文字を讀むこと」に對して驚異と興味を持つことが出来る状態にさへあれば、そしてまた、人が「文字を書くこと」に對して驚異と興味を持つことが出来る状態にさへあれば、今の東京の子供なことは可なりに早く文字を意識し始めるのである。

その文字の読みや書きに對して幼児が驚異を感じるかどうか、または興味を持つかどうかこのことは、子供の能力一精神發達の如何によるこことではあらうけれども、文字を意識するこか、文字を早く覚えるこかといふことは、子供の能力の如何よりはむしろ環境の如何から来るこであるらうと思ふのである。隨つて大都市の子供が早くから文字に目ざめ、幼稚園時代に既に多くの文字が讀めるこしても、それが子供の能力の高さ示すものであることは、一概には言はないのである。文字なきいふものは、もとへさうじ性質のものなのである。

三 最初の文字意識の三つの型

小學校の尋一に入學した児童の父兄に對して、子供の最初の文字意識の狀態を聞きたゞして見るこ、私が自分の家の子供の文字意識の狀態を觀察した結果を略々同様であることを識り得たのである。それによれば、一つの型は『讀む興味型』であり、第一には『書く興味型』があり、第三型として『讀み書き同時型』の三つの型を見るこが出来るのである。

讀む興味型 この讀む興味型いふのは、他人が書いてあるものを讀んでゐる事に驚異と興味を幼児が感取して、その驚異と興味から、手當り次第に字を指して『これ、なに?』と聞きたゞす。そして文字を段々に意識して行く型のものである。

幼児にしてみれば、大人達が讀んでゐるもの(文字)が、繪のやうでもありさうでないやうでもある所の「形あるもの」を、「ア」とか「メ」とかと讀むその事自體が、最初まことに驚異であり興味あるこに違ひないのである。

幼稚園に入つてゐる子供の中にも、繪本を見ながら文字を指して、先生に『これ、なに?』とその字の読みを尋ねるもののが随分多いこで、あらうと思ふ。そしてこの讀む興味型の子供は、同じ文字を幾回も幾回も繰返して読みを尋ねて、或る文字の形に或る音を一致させる修練を積み、文字を讀むここの意識の仕方で、文字を修得して行くのである。

書く興味型　書く興味型の子供は、言葉を文字で書き表はすことに驚異を興味をも懷くところから、クレヨンや鉛筆を持つて、とにかく或る自己流の勝手な形を書き、「これは、ア」とか、「これは、カ」とか勝手に読んで喜んで居るか、または、さても大人には解せない形を書いては、「これ、なに?」(何を読むかわかるか?)の意)といつて得意になつてゐるのである。若し我々がそれに對して、「わからない」と云へば、「これはサ」など、いつて聞かせてまた次の出題目な形を書く。「それはなに?」と子供に尋ねれば、「メ」とか何とか言ふのである。この一見まことに出題目で不確實な子供の作業に對して、世の父兄は一體さういふ態度を示して來たところであらうか。恐らく馬鹿氣た無智者の戯れ事としか觀てるなかつたのではないかと思ふのである。

私の家の子供は、長女と末子とが大體この書く興味型の文字意識であつたが、長男と次女とは大體読む興味型で文字を最初意識し始めたのである。大人の常識的な考へ方からすれば、子供の最初の文字意識は、凡て読む興味型であらうと思ふであろう。しかし事實は書く興味型で文字を最初意識し始める子供も多いのである。私はこの書く興味型の文字意識のあることをば、自分の子供を育てゝ見て始めて識つたのであつたが、實に私自身興味を感じたのである。故に私は書く興味型の子供が、自己流の勝手な形を書いて、それを自己流に勝手に讀んでゐるを見ても、決してたはけた子供の戯れ事として輕視しはしなかつたのである。不思議なところには、その勝手に書く字(?)といふものゝ形が、色々に書かれるのであるが、形が變れば子供の讀みも變るので、形の違ふものを同じに讀んだりはせず、音が違へば形も違つたものを書くのである。即ち一つの形に一つの音を當てゝ讀み、一つの音に一つの形を當てゝ書くのである。この點は完全な文字がそれぞれ形を持つてゐて、一つの文字に一つの讀みのあるといふ、文字の根源的な性格を意識してゐるところが觀取し得るのである。

読み書き同時型 この型の子供は、『読む興味型』と『書く興味型』とを併有するもので、書いてある文字の読みを尋ねつ文意を意識して行くと共に、見た文字を自分で書いて見るといふ興味をも有つのである。

四 意識型は個性と環境から

かくの如き三つの文字意識型は、然らばそこから生じて来るか云へば、第一にはその子供の個性からであり、第二にはその子供の環境から來るのである。『読む興味型』の子供は、概して『受容型』の性格の子供であり、『書く興味型』の子供は、大體『發表型』の性格の持主である。

而してこの「受容型」——讀む興味型の文字意識と、「發表型」——書く興味型の文字意識とは、どちらが良くてどちらが悪いなどゝ言へる性質のものではなく、随つて子供の文字指導から見し、どちらか一方の意識型に墮め込まうとするのは間違ひなのである。この點については、私共小學校の低學年教育に於ても十分に正しく認識してからねばならないことはあるし、幼稚園教育に於ても、強ひて文字を教授することは避けると共に、幼兒の自發的自然的な文字意識の心理状態を觀取して、私共が家庭で子供を育てるが如くに、漸次にそれべくの子供の文字意識を指導するには、今日の文字文化の中に育つ幼兒の教育に亘つて、むしろ大事な、必要なことではある私は考へるのである。

(六月三十日稿)

託児所の夏季保育施設

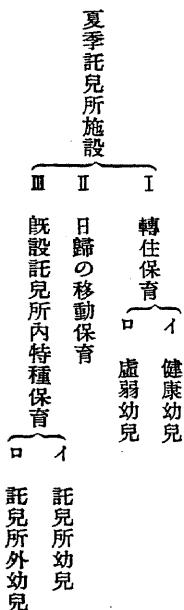
東京府社會課 朝 原 梅 一

一 託児所と暑中休暇

託児所が本來の目的を達する様に經營しやうとしたされますと、小學校や幼稚園などがお休みになりました、休暇なきは出來ません。なぜかと申しますと、託児所に来る様な幼兒の家庭は小さい家屋でありますて、僅に五疊敷か六疊敷かの家にしかも四五人も住まなければなりませんから幼兒は家の内では延び々々遊ぶことも出來ない様な家があり、又はトタン屋根なきの家で焼けつく様で堪えられない程暑い家もあります、こうした家に住む幼兒達を出來得る限り涼しい快な生活をさせるためには託児所に特有な夏季施設が最も必要なことになります。

こうした託児所特有な施設はこれまでどんなものがありましたか我が東京府下に於ける状況を擧げて見ますと、(1)夏季轉住保育でありますて、これには、(イ)幼兒の健康の増進、(ロ)虚弱幼兒の健康恢復及増進の二種類があります、而しこの二種は多くの幼兒中にかう事情の許すものゝみ選出されたものでまだ大衆的とは申されない所に缺點がありました、

それで之を大衆的なものとして多數の幼兒に利用せしめますには特にその託児所に設備を致しまして、轉住保育と同様な效果を擧げやうと努力して、ある状況でこれを表として上に示します。



二 轉住保育施設起源

我が國の託児事業は明治二十三年六月、新潟市東湊町に赤澤鐘美氏に依つて設置され、我が東京府下におきましては明治三十三年一月、東京市麹町區に野口幽香氏、齋藤峰子氏に依つて設置され後に四谷區元町に移轉したのが始めて其後九十二ヶ所施設を見るに至つたのであるから、或はこれ等の施設に於ても夏季事業をそれ々々試みられた事業があるかも知れませんが私共の知つて居ります事業の起源は、大正六年八月十日より二十五日まで十五日間、東京府社會事業協會の主催で府下數ヶ所の託児所が聯合して、千葉縣市原郡八幡宿町の海岸に轉住したことが始めでありまして、今其の幼兒の年齢を見ますと、三歳二名、四歳四名、五歳十三名、六歳十七名、七歳六名、其他幼兒の兄姉又は虛弱兒童で特に一所に轉住いたしましたもので八歳二名、九歳二名、十歳一名、十三歳一名、合計四十八名であります。

この様にして東京府下の斯業從事者の共同事業が經營され、幼兒の身心に好い影響を與へましたことは勿論のこと、その際畫面保育の任に當りました保姆さん達は其後の共同事業に對して深い暗示を與へられましたから、斯業關係者の親睦並に保育研究を目的とする集會の必要を感じまして、東京府社會事業協會に保育分科會を設けるこの濫觴を作りましたのであります。

更に大正十二年九月關東大震火災の翌年はまだ焼け跡に住宅の建設も思ふ様に出來ませんので特に府下の各團體經營の託児所に預つて居りました、虛弱な幼兒を轉住させる目的で大正十三年の八月一日から三十一日まで一ヶ月間、當時郡部であります和田堀ノ内村字萩久保方南に轉住いたしました。此地は多摩川淨水に臨んで遙に西方には富士山の秀峯を仰ぎ、附近には武藏野の昔を偲ぶ雜木林の點在する地で、空氣清澄、四邊閑寂、夜は蟲聲を草間に聞き、螢火の亂舞するを見る云ふ様な實に興味の深い地でありました。

この轉住に要しました設備は、震災救護事務局の委託に依りまして東京府が建設いたしました、小住宅附屬の宿泊所一棟を利用したのでありますて、(1)児童室二十五、(2)洗面所一、(3)事務室一、(4)醫務室一、(5)休養室一、(6)湯殿一、(7)足洗及洗濯場一、(8)炊事場二、(9)係員控室二、(10)食堂兼遊戯室一、(11)女中部屋一、(12)物干一、(13)物置三、其他門、柵、植樹、花壇、井戸、給水設備。炊事用備品一式、プール、金魚池、ランコ、滑臺、砂場、腰掛、築山、日除、樂器等が設けられてありました。こゝに收容した幼兒の定員は一日百二十六名死、七ヶ所の託児所から集められたものでありますて、その保育日課を擧げて見ます。

朝五時一六時、起床、散步、深呼吸、洗面。

朝七時—朝食。

朝七時三十分—十時、遊戲、運動、水浴。

朝十時—牛乳、終つて一同遊戯室に集合して、各團體交互に當番にして團體遊戲をなす。

十一時三十分—午食(野菜を中心としたる栄養食)

十二時三十分—午睡。

午後三時—洗面、間食、自由遊び(運動、水浴、遊戲、自由遊其他)

午後四時—温浴。

五時三十分—六時夕食、自由遊び。

七時—七時三十分、就眠。

日中は運動に便にして且衛生及風紀上適當なるタオル製チヨッキ、手拭地バンツを用ひ、夜間は米國寄贈の綿オル寝衣に

着換へしめ幼児の就寝後は時々打合會を開き保育上有益な意見の交換を行ひ相互の研究に努めました。(創立十週年記念東京府社會事業協會一覽)

三 虚弱幼兒専門の轉住保育

これも大震火災を機として起つた事業でありまして、財團法人兒童愛護會の一事業でありましてその場所は千葉縣長生郡一ノ宮町海岸でありまして、特に身體虛弱な學齡期兒童を收容して健康を及ぶ限り正常なものにしやうとする目的を以て設けられた一ノ宮學園で行はれたのであります。本園は大正十五年九月工を起し、翌昭和二年三月三十日竣工したもので總建坪數一千二十五坪で實に完備した建物及設備でありました。

幼兒の轉住保育は昭和二年七月二十一日から八月末日に亘る四十日間でありまして一幼兒につき一週間宿泊せしむることいたしまして、東京府管内の十七箇所の託兒所から幼兒を毎回六十名宛を收容いたしました、その幼兒は小兒科醫師の嚴密な調査に依つて虛弱兒と認めるものを選定されたのであります、その年齢は、(1)満四歳十一ヶ月十五名、(2)五歳十一ヶ月八十二名、(3)六歳十一ヶ月六十七名、(4)七歳十一ヶ月七名、(5)八歳十一ヶ月一名、(6)九歳十一ヶ月一名、合計實人員百七十二名でありましてその内に例外として少數の學齡兒童を加へたのでありました。

こうした家庭はさうかを擧げて見ます。

一戸一室の家に住む者九十五名(五七・六%)

一戸二室の家に住む者五十名(三〇・三%)

一戸三室の家に住む者十一名(六・七%)

一戸四室の家に住む者九名(五・五%)

更にその居住の家族一人に對する疊數を考察いたします。

一人一疊に當るもの三十八名(二三・五%)

一人二疊に當るもの八十八名(五四・三%)

一人三疊に當るもの二十六名(一六・四%)

一人四疊に當るもの七名(四・三%)

一人五疊に當るもの三名(一・九%)

等でありまして、虛弱幼兒を出す家屋がどんな家であるかを知ることが出来ます。

入園時に於ける身體検査の結果及入園中の獻立並に處遇の方法は之を省略いたしまして、退園の際に於ける結果を記します。(1)體溫に及ぼした影響は、總人員百七十二名中八十六名(五〇・六%)は入園當日體溫三十七度以上でありました。この體溫の上昇の原因は入園のため東京から千葉縣一宮まで旅行したからであります、翌日からは三十七度二分以下のもの百十四名、三十七度三分より三十七度五分のもの四十二名、三十七度六分から三十八度のもの七名、(第一班)であります。(2)體重に及した影響を見ますと、入園當時にくらべて體重の増加したもの七十五名(四八・七%)減少した者七十三名(四七・四%)、増減のないもの六名(三・九%)であります。この點は年少にして強健な幼兒を對照とするこれを缺くが爲に斷言することを憚るが、少くとも虛弱兒童に於ては一定の土地に移して規則正しい團體生活を營ませること初めは反つて體重が一定期間減少することがあり、然る後に漸次増加するものが多いことは既に一宮學園の學齡兒童に於て認めて居たが、この託児所の幼兒を十日間乃至一週間收容する様な短時日では他の長期に亘る林間學校の報告の様な結果は期待して居なかつたと記してあります、尙此外種々な詳細な報告がありますが之は省略いたします(昭和二年度一宮學園事務報告書)

更に山に幼児を轉住いたしました例として東京市社會局におきまして大正十四年度靜岡縣御殿場に東京市託児場の幼児を轉住せしめましたがその結果を小冊子として發表されて居りましたが今手許に之がありませんから省略いたします。が此事業は其後も毎年繼續されて二三年前からは、千葉縣北條に轉住され、昨年の如きも八月一日から一週間八百八十名の虛弱幼児の轉住保育が行はれました。

四 日歸移動保育

幼ない幼児を眞實の父母の手から離して僅に一週間でも保育すること云ふことは、父母も相當心配をいたしますし、幼児も家庭を離れることを慾しないものもあり、またこれ預る保姆の責任も極めて重大なものであります。ですから昨年行はれました東京市社會局の例を見ましても、醫學博士廣瀬興氏を始め他に二名の醫師、看護婦四名、保姆其他四十名にてこの事業に當られたのでありますて如何に注意を要すべきかを知ることが出來ます、従ひましてこうした虛弱幼児の轉住保育が如何に困難でありまた、多くの資金を要する點から經濟的に貧弱な私立の事業團體では經營の出來ない事になるのであります。

幾分行ひ易い事業として其日歸りの轉住保育は比較的多くの幼児に利用されることが出來ます、この事業は大正十三年七月二十五日から八月三十一日に亘り、三十八日間、大震火災に遇ふた家庭の幼児を對象とする託児所の幼児を當時西巢鴨町所在の廢兵院を借り受け東京府社會事業協會が聯絡を執り、東京府管内の託児所の幼児一日定員四百十五名を保育する林間幼稚園を開いたことでありますて一日託児所十四ヶ所の幼児を十四臺の市營乗合自動車を使用して託児所ご林間幼稚園ごの間を往復いたしまして運搬に力め、東京市及警視廳當局等の後援を得まして當初は苦慮すべきであらふ懸念されましたが、殆ど杞憂に歸し、幼児等の歡迎に限りない程の好成績を收めました、序にその際の日課を擧げます。

朝八時十九時事務所前にて下車來着順に洗面を了へ、林間休憩所にてミルクの配給を受け、

十時十一時 遊戯、運動、水浴、其他。

十一時 食事用意。

十一時半 食事(順次食堂に入る)

東京府社會事業協會より栄養食を供給され、

一時 午睡。

三時 間食(林間休憩所にて)

前同協會より適當なる菓子、果物の類を供給す。

三時半—四時 林間、運動、動物舎、逍遙。

四時 順次事務所前に乗車歸途に就く。

かくして保健衛生上充分の注意を拂ふため東京府濟生會から醫師を派遣されましたが、毎日四百名内外の幼兒の保育に於ても輕微なる患者が僅に二三名を見たばかりありまして、最初の試みとしての共同事業も大過なしに終了いたしました。けれども其後はこうした事業が繼續されませんでしたが、近年私設託児所の團體におきましては學齡兒童、幼兒を併せて轉住させる様な事業が澤山起りました、それは救世軍社會殖民館の千葉縣長生郡一松村三本への轉住保育、東京兒童指導會の多摩川河畔の上石原キャンプ、(加盟團體は二葉保育園、有隣園、知德會、帝大センツルメント、ベタニヤホーム、西窓學園、東京府社會事業協會經營南千住、大島、大井、王子、和田堀の各隣保館)、猿江善隣館は神奈川縣久良岐郡金澤町に、興望館、日暮里愛隣園及愛清館は千葉縣君津郡竹岡村に、各々一週間乃至二週間の轉住が行はれました。

五 記兒所特設の夏季保育

託兒所の幼兒と學齡兒童とを併せてキャンプ式に轉住して涼氣を追ひ、氣分を轉換せしめて健康を増進しやうと云ふ事業は前述の様に盛に起つて行く傾向はあります。一般的に大衆の利用する夏季幼兒保育施設が甚だ少ないのであります。言葉を換へて申しますと、同じ託兒所に通ひ乍ら少數の幼兒は轉住する事が出来ますが多くの幼兒は家庭か又は託兒所に淋しく残される事があります。此の缺點を補ふ爲に特に夏季に特有な設備を致しまして多くの幼兒を一様に保育する必要を感じるのであります。その方法をいたしまして、出来るなら託兒所内に(1)プールを作る事であります。この試みを致しまして大正十四年八月に淺草區田中町にある基督教淺草會館託兒所が遊戯室の床下をプールに作られて之を使用された事があります。其後屋内に水を入れることは普通の日本式住宅として面白くない様に考へられ之を利用されない様であります。プールは日光を必要とする點から屋外に作らなければならぬものでありますから御尤もの事を思ひます。そして幼兒を對象としてプールの側に人工的な砂濱にするためには(2)砂場を作らなければなりません。この様にして屋外にプール及砂場を作ります。これを川邊又は海濱の様に幼兒等に使用させますれば自然太陽に皮膚をさらしまして健康を増進する事にもなりますから、空氣と清淨でありますなら海濱や林間に轉住したと同じ效果が多くの幼兒に得られる譯であります。更にこの目的に使用する設備としては(3)託兒所の建物の構造から考へて、内側(床から天床への高さ)をお寺の建物の様に高く、そして出來るだけ南北を明けて通風をよくする様に作る事に注意すべきであります。尙充分を申しますと建物ばかりでなく、建物をこりまく、(4)植物も、桐とか、プラタナスとか、云ふ様な早く大きくなる樹木を植ゑまして暑中その下蔭で涼しい風を受け乍ら遊び得る様に植樹をなす事であります。こうした樹蔭が急に作る事が出來ませんでしたら(5)藤棚を作り、それも急に成長しなくて間に會ひませんでしたら(6)からす瓜、へちま、朝顔、等

のつるものを植へるのであります、これは初めから小さいのを必要な場所に植えたのでは幼児がさわるため成長を害するかも知れませんから、大きな植木鉢に勢よく作つて相當大きくなつたものを必要な場所に移植するのであります、そしてこれに觸れぬ様な方法を講ずるのであります、こうした日蔭も作ることの出来ない時にはあまり感心をいたしませんが

(7) 蔓籠(ヨシヅ)を以て日蔭を作るのあります。

こうした特設の設備を致しまして各々の託児所の幼児ばかりの保育でなく、託児所の附近の幼児をも臨時に預つて保育するところがこうした地区に對する適當な施設であります、唯々保育の實際に當りましては、プールを作つた時の水を取換へるところが相當困難でありますから泳ぐ様なプールにするよりも徒渉池として淺く水を入れて遊ばせるところにするが好いと思ひます、そして衣服は極めて薄いもので手足は充分露出して太陽にさらし、その着物も出来るなら託児所から貸與する方法が好いかと思ひます、昨昭和八年度にプールは出來ませんでしたが、多量な砂を以て砂場を作つてそれに水分を加へ、人工的な川瀬を作つて八月一日から三十一日まで、東京市荒川區尾久十丁目の尾久隣保館幼稚園で試みて見ましたが附近の幼児はたいそう喜んでこれを利用いたしました。こうした催には保姆傳習所の生徒さんなど一夏を犠牲にして加勢されたならきんなに好いところかなき勝手なことを考へることもあります。

要するにまだ託児所の夏季保育施設は大衆的なものは發達して居りませんが、今後盛になつて行く傾向は多分にあります云ふのは近頃東京市の小學校に於ては校庭内にプール設けられたものも澤山あり、殊に八王子市の如きは市内全部の小學校に附設されて居ります、この様に小學校内にプールなご設けられます事から幼稚園や託児所の方にも相當な影響を與へられるところと思はれますし、建物の構造も段々理想に近くなつて來つゝある様に思はれます、それにこうした事業を理解して寄附金をして設備の改善を助けられる様な篤志家もありますから今一息云ふ所であります。

季節保育所施設標準

中央社會事業協會保育事業研究委員會作成

一 目 的

成る可く多く分散的に設置するを可^シす。

季節保育所は地方産業の繁忙期に於て手不足なる家庭の

乳兒及幼兒を受託し之を保護すると共に母親其の他家族の勞働能力を高め延いては農山漁村に於ける生活の向上を圖るを以て目的とするこ^シ。

二 經營主體

經營主體は市町村、各種團體、私人、又は其の聯合の何

れを問はざるも市町村經營の場合は成る可く各種團體、私

人

に施設を委任するこ^シ。

三 開所及閉所の手續

季節保育所の開閉に就ては其の都度當局に報告するを可^シす。

五 設 備

特別の建物設備を有せざる時は小學校、同分教場、神社、寺院、教會、公會堂、青年會館、其の他適當なる場所を工夫の上利用すること但し成る可く次の設備を具へ且つ能ふ限り自然物の利用に努むること。

(一) 相當の廣さを有する運動場

(一) 雨天又は食事午睡のための部屋

其の目的の存する所に鑑み左記事項に注意して市町村に

四 設置場所

其の目的の存する所に鑑み左記事項に注意して市町村に

(二) 樂器、遊戲具及運動具、恩物、食器、寢具、衛生

用具等

六 従業員

季節保育所に於ける従事員の選定は事業の效果を擧ぐる上に至大の關係あり従事員としては主任者の外保母及助手を置き別に嘱託醫師を置くの要あり。

主任は斯業に相當理解ある者を選び保母には女子青年會其他婦人團體の幹部にして成る可く保育上の知識及經驗ある者を以て之に充て且つ小學校其の他の女教員の協力を求むること。

七 受託兒童

乳兒及幼兒を原則とするも必要に應じて低學年兒童をも受託すること。

八 開設の時期及期間

地方の事情に依り適當に之を定むること。

九 保育の實際

(一) 乳兒及幼兒は其の取扱ひを區別すること。

留意すること。

(二) 乳兒にありては成る可く人工栄養を避け適當なる

時間に母親をして來所授乳せしめ幼兒にありては給食を爲すを可とすること。

(四) 保育方法は常設保育所に準じて可なり。

(五) 保育時間は保護者の勞務の實狀に應じて適當に之を定むること。

(六) 保母一人宛擔當數は乳兒にありては約五人迄幼兒にありては約二十人迄とする可とする。

(七) 入所前醫師の健康診斷を行ひ開設中は個々の健康狀態に就き常に注意を怠らざること。

(八) 危險防止並安全施設に就き考慮すること。

一〇 經費

季節保育所の經費は經營主體並保護者の醸出する金品、市町村費及府縣、國、其の他後援團體よりの獎勵補助金を以て之に充つること。

(1) 乳兒及幼兒は其の取扱ひを區別すること。

○季節保育所実施参考

一 設備

設備に関する参考

季節保育所施設標準中「第五、設備」のところに於て、設備は「特別の建物設備を有せざる時は小學校、同分教場、神社、寺院、教會、公會堂、青年會館、其の他適當なる場所を工夫の上利用すること」となつてゐるが、普通の民家に於ても實施することが出来る。

小學校は、何れの小學校にも、机があり、黒板があり、其の他の色々の運動具なきがあつて、設備の點から云へば、最も適當である。只それらの多くは學童のために造られたものであるから、季節保育所に集まる乳幼兒のためには相當の工夫を要する。

寺院、教會がこの方面の仕事に使用せられるることは、所謂宗教の社會的進出の意味から云つても、又建物經濟の立場から考へても、誠に望ましことである。

普通の民家は、小人數の場合とか、殊に乳兒の場合には適當である。

一、乳兒、匍匐兒の場合

(一) 乳兒室……これには疊敷の室がよい。板の間又は土間の場合は最も簡単な方法で寝臺を造る。これには空箱の上に板又は戸を乗せて造るなきの工夫がある。但しこの場合、乳兒の轉落を防ぐための工夫を忘れてはならぬ。

(二) 匍匐兒室……これも疊敷の室がよい。板の間の場合は毛布又は裏塵を敷く。

(三) 授乳所……乳兒、匍匐兒の場合忘れてならないのは授乳所である。これは寺院、教會ならば内庭か玄關、學校ならば廊下等、母親たちが足袋はだしのまゝ這入れるやうなところにしたい。

二、幼兒の場合

(一) 運動場……之は學校のやうな場所であれば心配はないが、其の他のところでは溝や井戸、池や崖等に就て特に注意せねばならぬ。溝や井戸には蓋、池や崖には柵が要る。尙成る可く樹蔭のある場所が望ましい。

(二) 遊戯室……これは成る可く板の間にしたい。土間でもよい。

でもよい。

(三) 保育室……これは出来るだけ明るい室でありたい。

尙机や椅子は幼兒向のものを選びたい。幼兒向の椅子や机のない時は空箱を臺にして板を置くなぎの工夫がある。

(四) 洗面所

(五) 洗足所

(六) 便所……これは危険防止に特に注意せねばならぬ。

大人又は學童のための便所を其のまゝ使用するこことは甚だ危険である。板を渡して幼兒に適するやう改造すべきである。尙便所は屋外にも必ず一個所用意するこころ。これは假設の薦立のもので十分である。

(七) 午睡室……疊敷の室がよい。(季節保育所に於ける午睡は相當重要視せられねばならぬ)。

二 用 具

一、乳兒、匍匐兒の場合

(一) 寢臺……行李又は籠で造る。

子、絆創膏等。

用、○・二%）、流動カルボール（歯痛用）、生石灰、芥

(一) 運動用乳母車……リヤカーでもよい。

(二) おむつ棚……これは空箱なぎを利用して其の中に棚を造つて各受託兒毎に整理して置く。尙汚れたものは成る可く室外に置くこと。

(四) 告示板……保育上必要事項を記載する。受託兒童の氏名、生年月日、栄養方法、其の他母親の勞働場所等もわかり易い場所に掲示して置くこと。

(五) 醫療器具……體溫計（示度の正確を豫め確め置くこと）、灌腸器（二〇グラム）「イチヂク灌腸器なぎも便利」、冰囊、水枕、懷爐、綿棒、綿帶、ガーゼ、脱脂綿、ピンセット、舌壓器、洗眼器等。

(六) 薬品……重曹、胃腸藥、マイクロクローム（又は沃土丁幾）、グリセリン、オキシフル、オゾ（又はメンソレータム）、ピチロール軟膏、亞鉛華濃粉、オレーフ油、水銀軟膏、ミチガール、食鹽、石炭酸亞鉛華軟膏、リゾール水、アルコホル、アンモニヤ水、皓礬點眼液、○・二%）、

(七) 其の他……體溫計、身長計、卷尺、寒暖計、調乳器等。

一、幼兒の場合

(一) 遊具

(イ) ブランコ……これは大きな立木なぎを利用して造るのが便利である。

(ロ) 滑臺……滑臺として出来たものがあればよいが、

板に棧をつけて椽側なぎに立てかけてもよい。唯板が荒削りであるため刺をさすようないやうにしたい。

(ハ) 砂場……丸太を四角に組立て、其のなかへ砂を入れる程度にてよし。砂は小石貝殻なぎの交らぬやうにし濕氣を帶びさせねばならぬ。尙砂場には杓子、竹の箇、碗、小桶、板切等の用意が要る。

(ニ) 繩……繩引遊び、汽車遊びなきのため。

(ホ) 小旗……各種遊戯に用ふ。

(ヘ) 穂(大小)

(二) 保育用具

(イ) 樂器……ピアノ、オルガン、蓄音機(コードは子供向のものゝ他に名曲を數枚備へたい)

(ロ) 樂譜及唱歌遊戲集

(ハ) 積木……高價なものを見ひ求める必要はない。普通場の木片なぎを拾ひ集めたものにて十分。或は二三寸大のものを大工に造らせてよい。この他五寸位の長さに切つた竹を切口をよく磨いて用意して置くこと。

(ニ) 繪本……強いて新しきものを要せず。「コドモノクニ」「キンダーブック」「子供の友」等。

(ホ) 紙……折紙、切紙、切抜等のため色紙が要る。新聞紙、廣告紙なぎを利用してもよい。

(ヘ) 畫き方用具……畫用紙、畫帳、黒板、クレオン、鉛筆等。

(ト) 粘土

(チ) 鋸……切紙、切抜なぎのため。

(リ) 玩具……人形、まわら、道具、樂隊用具、紐、豆、小石、貝殻、柿の種等。

釘拔、金槌等。

(ト) 裝飾用具……繪畫(名畫が望ましい)花瓶、萬國旗、ボスター等。

(三) 醫療器具(乳兒の場合と同じ)

(四) 藥品(乳兒の場合と同じ)

(五) 事務用具

(イ) 受託兒名簿

(ロ) 出席簿

(ハ) 事務日記

(ニ) 保育日記

(ホ) 其の他

(六) 其の他の用具

(イ) 食事用具……茶碗、皿、箸、おやつ皿、盆、藥罐
釜、鍋、洗桶、スプーン等。

(ロ) 寢具……毛布、布団、敷布、枕等。

(ハ) 洗面、洗手用具……洗面器、石鹼、手拭又はタオ
ル(これは銘々に持たせたい)鏡、櫛等。

(二) 掃除用具……内外用具、はたき、ばけつ、雑巾、
屑籠、水撒、如露等。

(一) 洗濯用具……鹽、洗濯石鹼、洗板、干紐、干竿等。

(ヘ) 園藝及大工用具……鋸、鋸、シャベル、錐、釘、
斧、木工用具等。

(七) 參考書類。

經營に關する参考

一、準備に關する心得

(一) 先づ各村内の主なる人々に開設の趣旨並事業の必
要を理解せしめる事。

(二) 地方産業の繁忙を他所に見ぬ親切心さへあれば誰
にでも出来る仕事であると思はしめる事。

(三) 既に前から實施して居る所の様子を一二の有志を
して視察せしめる事。

(四) 他町村に於ける季節保育事業の效果及これより生
ぜる利益を説き聞かせる事。

(五) 開設の勞を取るべき中心人物(神官、僧侶、牧師、
方面委員、社會事業家、小學校長等)を前以て物色し
置く事。

(六) 府縣當局者が町村民福祉の増進のために保育所實施につき強い希望を有することを周知せしめる。

(七) 府縣當局は保育所に關する講習會を開き其の發達を促進すること。

(八) 府縣當局に於て奨勵金補助金の準備を有する場合は之を一般に承知せしめる。

(九) 慈善救濟の意味でなく隣保相扶、奉仕協同の作業たる觀念を以て出發すること。

二、從事員心得

(一) 大切の子供を預かるに就て凡ゆることに出来るだけの注意を拂ふこと。

(二) 常に自信を以て事に當りつまらぬ批評や批難に心を勞し目的的遂行を誤らぬこと。

(三) 七日、十日で終る短期の仕事に思はずこれが受託児童の心身發育の助けとなるは勿論農漁山村民生活の向上の原因となる自覺を有すること。

三、管理及實務心得

(一) 備品消耗品は成る可く節約すること。即ち萬國旗

は手製、積木は普請場の材木の切り残し、裝飾用ボスターは町村役場の掲示餘り、絲は小包の解き絲を代用する等の類。

(二) 入夫賃を無駄に使はないこと。
砂場用の河砂海砂の運搬、ブランコの作成などは主として青年團員の奉仕作業に俟つ等。

(三) 製薬會社、製菓會社、化粧品商店、其の他大商店より配布し與れる廣告手旗、紙風船、彩色入宣傳ビラ等を募集利用すること。

(四) 成る可く附添の子守、兄姉は謝絶する方針をとること。(おやつの配分を自當に來る子供がある)。

(五) 人手の少いのも困るが餘り多過ぎても困る(婦人會の催しなざにこの弊が多い)。

(六) 主任保姆は開所中變更せず保姆中一人は必ず樂器を扱ひ得るものたるべきこと。

(七) 奉仕事業たる性質上餘り長期に涉り關係者を倦怠せしめぬこと。五日は過短、一週間か十日が適度、二週間以上の開設は從事員の選任その他に就き十分留意

するこ^ト。

(八) 所定の開所時間、日限、日數に拘泥し肝心の必要期を逸せぬやう注意すること。田植は天氣次第のものであるから豫定の期間の役に立たぬ場合が多い。

(九) 凡て儀式的のこ^トは控目にして、殊に開閉の時に、

シルクハット、モーニング、白襟紋服、祝辭の行列等に依つて子供や親たちを倦怠させぬこ^ト。

(一〇) 平常着のまゝ出所せしめるこ^ト。

(一一) 受託兒には各々名前記入の徽章又は白布を胸に懸けさせるこ^ト。

(一二) 其の日其の日の出席者を確實に知り置くこ^ト。

(一三) 強風雨等のために田植休みの時は無論開所せぬこ^ト。但し誰か一人所内に留守居をするこ^ト。

保育時間割参考

順序	事 項	著 手 時 間	所 要 時 間	備 考
1	自由遊戯・洗足・洗手	登所より		
2	朝 神 唱	午 前	九時	
3	沈 黙	九時七分	三分	
4	唱 歌・お 話	九時一〇分	七分	
			二〇分	

(一四) 手工出来上り品はこれを裝飾用品に代用し、所内の目先を換へるこ^ト。

(一五) 事務日記、保育日記は成る可く詳細に記載し他の用に備へること。尙各種資料の整理を忽にせぬこ^ト。

四、開所に際しての心得

(一) 閉所後は設備品の取片付を迅速にし掃除をよくし手早く借用品を返却するこ^ト。

(二) 報告書の提出、補助の申請等を迅速にするこ^ト。

(三) 閉所後は慰勞を兼ねた協議會を開き従事員相互の感想・経験を語り合ひ来る年の計畫を立つるこ^ト。

(四) 受託兒の家庭へは受託状況の大要を報告し關係方面へ各種支出の報告を忘れぬこ^ト。

	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
遊										九時三〇分
自										九時五〇分
畫										一〇時二〇分
間										一〇時五〇分
點										午
由										戯・手
由										遊
歌										歌
・										・
退										所
所										挨
退										所
唱										拶
・										食
遊										戯
自										食
自										技
間										驗
點										

同 同 同 同 同 正午 後

○時四〇分
二時四〇分
三時一〇分
四時一〇分
四時二〇分

二〇分
三〇分
三〇分
四〇分
一時間一〇分

眼、耳の手入、爪切りをするもよし
洗手、戯を含めて
退所準備を含めて

保母の心得に關する参考

一、保母の使命

保母は母親になり代つて乳幼兒の心身を養護する重大責任者である。

眞の保母は、賢明なる慈母の精神、誠實なる女子の心

意、豊かなる童心、更に凡てを包む「愛」を有せねばならぬ。

を拂はねばならぬ。

(六) 受託兒の名は出来るだけ覚えるやうにしたい。受

託兒は其の名を呼ばれる事によつて保母になつて来る家庭での呼び名がよい。

母親は子供を愛する。しかしながら唯それだけではない。子供も又母親を愛するのである。愛し愛されて眞の保育の使命が達成される。

二、保母の心得及受託兒の取扱ひ方

(一) 保母は受託兒を母の心を以て取扱はねばならぬ。

(二) 保母は受託兒より敬愛されねばならぬ。

(三) 保母は豊かなる童心の持主でなければならぬ。

(四) 保母は常に朝らかでなければならぬ。

(五) 保母は受託兒に對して凡てのことに就き十分注意

かりが能ではない。

一、醫療的方面に關する參考

一、入所時の身體検査

- (七) 受託児が過ちをした時無暗に叱つてならぬ。叱る前に其の原因を考へそれを取除くやうに心懸けたい。
 (八) 如何なる出來事にも慌てゝはいけない。落ついて其の處置を考へたい。

(九) 受託児が一つのことに飽きた時直ぐ次のことを與へる用意がなければならぬ。

(一〇) 一人の受託児のために全體を忘れてはならぬ。

同時に全體のために一人を忘れてはならぬ。

- (一一) 受託児の過ちは出来るだけ他の受託児に知らせぬやうにしたい。

(一二) 一人の受託児のよい癖は他の受託児にも習はせらるやうにしたい。又一人の受託児の悪い癖は他の受託児に見習はせぬやうにすると共に其の受託児の悪い癖をも直すやうにしたい。

(一三) 新入生は必ず全體の紹介する。

(一四) 劃一的な考へを排して出来るだけ創作的に受託

児を導くやう心がける。子供のいたづらは彼等の創造的本能の表はれである場合が多い。無暗に叱るば

- (一) 體重、身長、胸圍、其の他一般検査。
 (二) 結核、トロホーム、百日咳、疥癬、毛虱、等にして傳染の惧れありてこれを豫防し得ざる時は入所を拒絶する。

(三) 麻疹、百日咳、水痘、種痘、の経過の有無を記録し置くこと。

二、受託中の注意

- (一) 登所時には必ず發熱の有無に注意すること、即ち額に手を觸れ、舌を檢し、又は檢溫をする。發熱せる児童は家にかへし或は嘱託醫に託し又は休養室にて休ませる。

(二) 顔面其の他に發疹のある場合は麻疹又は猩紅熱の心配がある。

口腔粘膜の粟粒大發疹(コブリック氏斑)、結膜炎、發熱は麻疹の前驅症狀である。

(三) 口腔内の發疹、扁桃腺肥大にはデフテリアの心配がある。

がしめ、安靜横臥せしむ。

(四) 耳下腺部の腫脹疼痛の場合は、流行性耳下腺炎(おたふく風)の惧がある。

(五) 咳嗽……最も注意しなければならぬのは百日咳であつて多く家庭にて陰蔽する惧がある。

ここに其の恢復期にあるものを注意する必要がある。この種の子供は舌壓器にて咽喉を壓して検すと特有の顔面紅潮、連続的咳嗽を爲すことが出来る。

有熱、後引性の咳嗽は扁桃腺部に舌苔なくともデフテリアの疑ひあり、有熱にして衄血を常に出し元氣なきものは、鼻腔デフテリアの初期である場合がある。

(六) 下痢せるものは必ず検温、便の消毒をする。便所の引手は十分消毒せねばならぬ。

(七) 腹痛……腹部を暖め安靜にする。嘔吐激痛あるものは直に醫師に通知する。便、吐物を保存して醫師に見せる。

(八) 鼻血……鼻部を冷す。綿栓を爲し、衣服をくつろ

(九) 歯痛……食物を残渣を去り濃き(10%)重曹水のうがひをする。尙止まらぬ場合は齶齒孔に相當せる綿栓に流動カルボールを浸し栓塞す(カルボールが粘膜につくと腐蝕火傷する故嚴重に注意すること)

(一〇) 出血……創傷の時は其の創傷が清潔なれば洗ふここなく直ちにマイクロクローム(又は沃士丁幾)を塗布し壓迫繃帶す。大出血の時は心臓に近き部を壓迫し濃き食鹽水を飲ませ直ちに醫師に送る。

(一一) 脱臼、骨折は經木其の他副木を當て患部を成る可く自然のまゝに固定し繃帶して醫師を迎へる。

(一二) ひきつけ……衣服をくつろぎ灌腸する。顔面に冷き霧をふきかけ、或は心臓部に芥子を張る。足部を湯タンポ等にて暖める。

便に注意。便の消毒、看護婦の手、其の他の消毒を忘れてはならぬ。

(一一一) 莖麻疹其の他癬疹……ピチロール軟膏又は石炭酸亞鉛華軟膏を塗布する。

(一四) 毛風…水銀軟膏を塗布する。

(一五) 眼脂の出るもの…1%硼酸水洗眼、皓礬水點眼。

(一六) 耳垢…オキシフルにて耳孔入口のみを清拭する。

(一七) 斑癬…ミチガールを塗布する。

三、其他

- (一) 開所中、蟻蟲、蟻蟲驅除を行ふこと。
- (二) 偏食の矯正に努力すること。
- (三) 歯磨の習慣、手洗の習慣をつけること。
- (四) 爪を切ること。
- (五) 便所は夕方閉所後必ずリゾール水（日中手洗に用ひたものにてよし）を散布すること。
- (六) 飲用水の良否に就き開所前十分調べること。
- (七) 器具殊に醫療器具を消毒すること。

昭和八年中に開設された季節保育所は全國を通じて總數五、七四五（昭和五年中の分一、五一九、但右は兵庫、栃木、廣島、香川、福岡、鹿兒島の六縣分のみは昭和四年開設に關する數字を便宜加算したものである。以下同様）であつて我國內地の全道府縣に普及し、就中最も多數なのは兵庫縣の七三五ヶ所（昭和五年兵庫縣最も多く四六三ヶ所）にして、山口縣の四八一ヶ所、三重縣の四二三ヶ所之に次ぎ、其の他京都、愛知、靜岡、岐阜、滋賀、宮城、福島、岡山、廣島、愛媛、福岡、佐賀、熊本、宮崎及鹿兒島の各府縣に於ては何れも百ヶ所以上の開設を見た。最も少數なのは沖繩縣の二ヶ所、東京府の五ヶ所である。之を昭和五年中の分ご比較するご、百ヶ所以上の開設を見た縣數は昭和五年中の六縣に比し昭和八年中に於ては十八縣に及び、昭和五年に於て保育所の開設を見なかつた沖繩縣も遂に昭和八年度に至り二ヶ所の開設を見たので、全國を通じ各道府

（中央社會事業協會調查）

季節保育所に關する調査

(一) 施設數

縣に發達擴充したものと云へる。

(二) 經營主體

經營主體別にみるこ次表の通りである。

總 計	私設 計	公設			經營主體別	施設數	比較增減
		村	町	市			
五、七四五	五、七四五	一、七一〇	一、七一〇	一、八六五	一一	二九	(+)増減(=)
二	二、五一九	(十)	(十)	一、九五六	一、九五六	一〇二	(+)増減(=)
二〇二	四八八二	三、〇六一	三、〇六一	三、二二一	三、二二一	三三二	(+)増減(=)
二五九	四八八二	三五二	三五二	四〇五	四〇五	二九	(+)増減(=)
二八	四八八二	六六三	六六三	六六	六六	一六八	(+)増減(=)
二五九	一五三	一六八	一六八	一六八	一六八	一一	(+)増減(=)
二二	一二	一一七	一一七	一一七	一一七	一一	(+)増減(=)
二六	一二	三三	三三	三三	三三	一一	(+)増減(=)
九五	四四	福岡	福岡	福岡	福岡	一一	(+)増減(=)
四五	四五	高知	高知	高知	高知	一一	(+)増減(=)
二六	二六	佐賀	佐賀	佐賀	佐賀	一一	(+)増減(=)
一一	一一	熊本	熊本	熊本	熊本	一一	(+)増減(=)
二〇二	二〇二	宮崎	宮崎	宮崎	宮崎	一一	(+)増減(=)
鹿兒島	鹿兒島	大分	大分	大分	大分	一一	(+)増減(=)
二	二	二五九	二五九	二五九	二五九	一一	(+)増減(=)
九七	九七	千葉	千葉	千葉	千葉	一一	(+)増減(=)
二六	二六	茨城	茨城	茨城	茨城	一一	(+)増減(=)
四五	四五	福井	福井	福井	福井	一一	(+)増減(=)
富山	富山	秋田	秋田	秋田	秋田	一一	(+)増減(=)
四五	四五	青森	青森	青森	青森	一一	(+)増減(=)
二六	二六	岩手	岩手	岩手	岩手	一一	(+)増減(=)
九五	九五	新潟	新潟	新潟	新潟	一一	(+)増減(=)
五九	五九	埼玉	埼玉	埼玉	埼玉	一一	(+)増減(=)
三七	三七	群馬	群馬	群馬	群馬	一一	(+)増減(=)
三九	三九	栃木	栃木	栃木	栃木	一一	(+)増減(=)
五二	五二	奈良	奈良	奈良	奈良	一一	(+)増減(=)
四三三	四三三	三重	三重	三重	三重	一一	(+)増減(=)
三四九	三四九	愛知	愛知	愛知	愛知	一一	(+)増減(=)

公營に係るもの八六三、私營のもの四、八八二であつて後者は前者の約五倍に當つてゐる。

公營施設中最も多いのは村營の六八四ヶ所であつて公營施設數の約八割を示し、町營の一六八之に次ぎ市營の一最も少ない。之を昭和五年度と比較するに市營のものに於て一九ヶ所減少を示してゐるが町營に於て一〇二ヶ所、村

(昭和八年十一月末迄に開設せるものに付調査せるものとす)

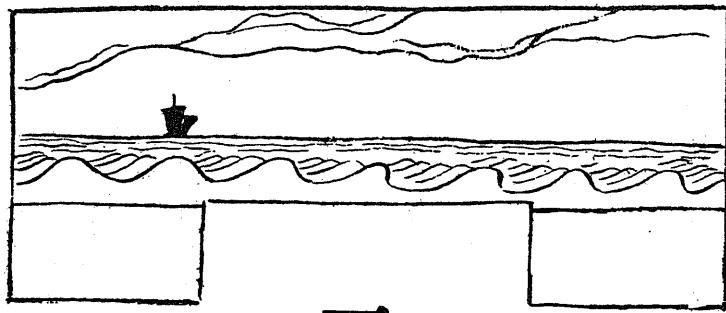
營に於て三三二一ヶ所の増加を示し、合計に於ては約倍數の増加をみ、私營に於ては團體經營のもの三、五七五、個人經營のもの一、三〇七ヶ所で合計四、八八二ヶ所、之を昭和五年度に比較するに、團體經營に於て一、八六五ヶ所、個人經營に於て九五六ヶ所、計に於て二、八二二の増加を示して居る。然してその程度が公營に於けるよりも寧ろ私營に於て多きをみた事は斯業發達の上からみて喜ばしい現象と云はねばならぬ。

尙之れが府縣別分布狀況に付いて見るに公設に於ては、市設のものは前述の如く僅か一一ヶ所にして福岡の五ヶ所、宮崎の三ヶ所、岡山の一ヶ所、三重の一ヶ所であるが、町設のものは一六八ヶ所を示し、その内靜岡の一九ヶ所最も多く板木の二七ヶ所之に次ぎ町設保育所を有せざるもの東京、京都、大阪、神奈川、長崎、新潟、埼玉、群馬、千葉、愛知、山梨、長野、岩手、福井、富山、鳥取、廣島、山口、和歌山、愛媛、高知、大分、宮崎及沖繩の諸府縣である。

次に村設は六八四ヶ所あり、その内三重の九七最も多

く、靜岡の六八、兵庫の五七之に次ぎ村設保育所を有せざる縣は千葉、愛知、岩手、石川、鳥取、島根及沖繩の諸縣であり、全體を通じ公設保育所を最も多く有するものは静岡の九七にして三重の九六之に次ぎ以下兵庫の六五、福岡の五六、栃木の五四、香川の四八等の順位であり全く公設保育所を有しないのは千葉、愛知、岩手、鳥取及沖繩の諸縣である。更に私設保育所に就て云へば團體經營のものは兵庫縣の四二九最も多く、岐阜縣の三七六之に次ぎ、以下山口縣の三五六、愛知縣の二四〇、佐賀縣の二一二等の順位であり、團體經營のの施設なき府縣は東京府のみである。次に個人經營の施設に就て云へば兵庫縣の二四一最も多く、三重縣の一六一之に次ぎ個人經營を有せざる府縣は東京、岡山及沖繩の諸府縣である。更に全體を通じ私設保育所の最も多いのは兵庫縣の六七〇であつて山口縣の四五六之に次ぎ以下岐阜縣の四〇〇、愛知縣の三四九、三重縣の三二七、佐賀縣の二三一等の順位を示し、全く私設保育所をみないのは全國を通じ東京府のみである。

(中央社會事業協會作製パンフレットに依る)



夏

夏咲く草の花

理學博士 本田正次

野に山に、路傍に庭園に、雪を戴く高山の頂に、波打ち寄する海岸の砂地に、夏は到る處に美しい花が咲き満ちて居ます。今それらの草花に就いて少しばかり御話致しませう。

夏は百合の花特に綺麗な時です。中でもヤマユリはその花の氣高いところ、香氣の強いところなで一番でせう。ヤマユリと云ひましても山ばかりでなく、野原にも澤山生えて居ます。雪の様に眞白い大きな花辦が思ひきつて廣くひろがり、その内面は黄赤色の斑點で飾られ、一莖に數花、多い時は十数花も開くことがありまして實に見事なものであります。地下に丸い大きな鱗莖がありまして、これを食用にするので料理百合と云ふこともあります。又エイザンユリ、ホウライジユリ、ヨシノユリ等と呼ばれる事もある様です。山や野原から掘つて来て、庭に移し植えてもよく育ちます。夕涼の時に眞白い花が闇に浮んで居るのを眺めるにも涼味があつて氣持ちのよいものです。赤い花ではオニユリがあります。これも勿論山や野原に自生があります。

が、矢張り花を眺める爲によく庭に植えられて居るのを見ます。莖に白い綿の様な毛が生えて居たり、葉のつけ根に珠芽が出来たりするので、花がなくてもヤマユリマユリを容易く區別が出来ます。花は黄色で紫黒の點があり、これも數箇から十數箇位、下向きに開きます。花瓣はよくそり反つて丁度丸い輪籠の様な恰好になります。地下の鱗莖を矢張り食用に致します。

オニユリによく似たものでコオニユリオニユリと云ふものが山に生えて居ます。オニユリよりも葉が狭く、又珠芽が出来ないもので區別されます。花はオニユリと同様に赤黄色の美しいものです。あまり人に知られて居ませんが、オニユリに比して優しみが多いので庭に移し植えたらと思ひます。海濱に生ずるスカシユリも黄赤色の立派な花を開きます。砂濱にも生えて居ますが、又岩上、断崖なぎの際アマツに生えて居るので、イハユリイハユリと呼ばれるこもあります。海岸植物の常として葉に光澤があり、花瓣の基部が狭窄して居て、お隣同志の間に隙間アラカナが見えるので、こんな名前がついたのです。園藝的の變種もなかなか多い様です。

東京の附近では餘り見られませんが、信州から西の方の山へ行くと、ササユリササユリと稱する桃色の花を開く優しい百合が澤山生えて居ます。この花の瓣にはヤマユリやオニユリにある様な斑點がなく、全部一様な桃色です。花も大きく、一二輪咲向アマツシタウカき加減に開く様は又さうない風情があります。ササユリに似て幾分小さい種類にヒメサユリヒメサユリと云ふものがあり。會津地方の山なぎに生えて居ますが、ササユリよりも一層優しい美しい花だと思ひます。よく東京の花屋にはこれが切花として出て居る様であります。

今度は少し高山に登つて見ますミクルマユリミクルマユリと云ふものが見られます。東北地方から北海道、樺太、千島なぎでは、左程高い山でなくとも、普通の山、或は平地にも生えて居ます。葉が一節から何枚も車の輪の様になつて出て居るから、車百合カマクラヒバと云ふのです。花はオニユリ、コオニユリ、スカシユリ杯カシユリハと同じ赤黄色で、之に暗紫色の斑點があります。白山、立山、八ヶ岳、木曾駒ヶ岳、御岳、白馬山なぎの高山に登つて見るが、その御花畠の一部に有名なクロユ

リが咲いて居ます。北海道なきでは平地に生えて居ますが、先づクロユリ云へば珍奇な高山植物として人々から考へられて居る様です。車百合の様に葉は三枚から五枚位輪生し、高さ三十厘米内外の莖の頂に一二箇の小さい花を横向き又は下向きに開く。花の本當の色は帶紫褐色で、決して名前から想像される程真黒のことはないが、他の百合の種類の様に派手な色でなく、なかなか澁い味のあるものであります。植物分類學上から申しましても、今迄述べた百合の種類ごか聊か趣を異にして居ます。

ノクワソウザウ、ヤブクワソウザウなど云ふものが山野に自生して居て、百合の花に似た黄褐色又は赤褐色の花を開き、前者は單瓣ですが後者は八重咲きです。ヤブクワソウの若い芽を早春摘み取つて食べる事があります。

ギバウシの種類もユリ科に屬し、夏の日に紫色の美しい花を開きます。タウギバウシ、ミヅギバウシ、スズギバウシ等の種類があつて、葉も花も觀賞用として價値があるのです。よく庭に植ゑられます。

キミカゲサウ一名スズランもユリ科に屬する優しい草

で、恐らく知らぬ人のない程有名な花です。本州中部地方から北にある山麓の原野等に一面に自生して居て、六月頃花の咲き揃つた時に、そこを通るごとに云へぬ佳香がただよつて來ます。こんなにまで皆さんから愛される花が實は有毒植物の一つであることは一寸驚くではありませんか。

次はユリ科以外の草花に就いてお話し致しませう。夕方河原なきを散歩します。マツヨヒグサやオホマツヨヒグサの黄色い花が一面に咲いて居て大變綺麗でせう。これは日没後でなければ開かない云ふ花ですから、夏の夕涼の觀賞には説向きの花です。宵を待つて開くので待宵草又は宵待草と呼ばれるのですが、これを俗に月見草と云ふものはよくないのです。本當の月見草と云ふものは、これに姿は似て居ますが、花の色が白くて、決してこれの様に黄色いものではありません。そしてこれの様に河原等にひそりで生えて居る事いふことは殆どなく、皆園藝品として栽培されて居るものですから、間違へない様にして下さい。何れにしても、是れ等待宵草の種類は、最初から日本に生えて

居た植物ではなく、皆アメリカ原産の植物ばかりです。それが明治の初、アメリカとの交通が盛になる様になつてから、我國に傳はつて、今では前記の様に河原は勿論、路傍、原野なぞ、どんな荒地にでも繁殖して居て、我々日本人大變親しくなつて居り、我々は皆待宵草を可愛がつて居ます。日米親善、友邦愛なぞといふ事は、こんな所にまで現はれて居るのです。

秋の七草の一つにかぞへられて居るナデシコも、本當は夏の暑い盛りに咲くものです。これも河原等に多いからカバラナデシコとも稱します。又よく大和撫子とも云はれて日本の若き女性の象徴とされて居ることは皆さんよく御存知の事です。大和撫子とは同じ種類に屬する西洋のカーネーション、支那のセキチク等と區別する爲の言葉であつて、カーネーションやセキチク等に比べて、我國の野生のナデシコが如何に氣高き氣品を具へ、且つ優美を示して居るかは説明するまでありますまい。

ナデシコ科に屬する草にフシグロセンノウといふのが山

野に自生して居ます。これも夏の草花としては美しいもの一つで、高さ六〇乃至九〇釐位の直立した莖の先端に、大きな朱赤色の五瓣の花を開きます。

夏といへばさうしても水邊が懸しくなります。水邊又は水中に咲く草花を少し探ねて見ませう。水中に咲く花の女王としては形から云つてもハスといふことになりませうが、私はヒツジグサ即ち睡蓮の花の美しく、可憐なのを好みます。カハホネの黃色い花も風情がないではありませんが、優しさがない様です。ジンサンサイの花は小さくてあまり人眼につきません。

リンダウ科に屬する水草にアサザとガガブタといふ二種があります。アサザは一見ジンサンサイに似て居り、花瓣の縁が絲の様に細く裂けた黃色い美しい花を開くので一名ハナジュンサンサイと呼ばれることもあります。ガガブタは花の色が白く、花冠が内面が僅かに淡黄色を呈して居ます。

オモダカ科に屬するオモダカ、サジオモダカ、ヘラオモダカ、マルバオモダカ、アギナシ、クワヰ、ウリカハ等の

花も夏から初秋にかけて、池沼、水田等の中に見られます。

皆白色三瓣の小さい花で水中から直立した花茎の先端に枝をさして咲いて居るのを見ます。

トチカガミ科のトチカガミやミヅオホバコの花もよく同じ様な場所にこの頃見受けます。イボクサの紅色の花、コナギ、ミヅアフヒの紫色の花も水邊で可愛いものです。八月頃になるご矢張り水邊にミソハギご云つて高さ一米以上になる直立した草に紫紅色の美しい花が長い穂をなして開きますが、よく孟蘭盆の時に切つて佛様に供へるので、所によつては盆花ご云つたり、精靈花ご云つたりして居ます。ラン科の植物でミヅチドリご云ふ草も夏に白い花を穂をなして開きます。名前の通り、濕つた原野に生えて居るもので、花に多少佳香があるのでジャカウチドリとも云ひます。矢張りラン科の白い花を開くものにサギサウご云ふものがあつて、山間の水田や湿地に生えて居ます。花瓣の縁が細く裂けて、丁度白鷺が舞つて居る様に見えるので、非常に上品で美しい花です。水盤なきに植ゑるご夏の涼味を添へる觀賞用として最上のものとなりませう。

今度は水邊を離れて少し野原の雜草を調べて見ませう。蔓性のものではヒルガホ、コヒルガホ等の淡紅色の花がよく開いて居ます。この類に海岸の砂地にはハマヒルガホご云ふのがあつて、あちこちを美しく彩つて居ます。到る所の山野にはホタルブクロご云ふ鐘形の淡紅色の花を下向きに開く草があります。原野にはコマツナギご云つてハギに似た小さいマメ科の植物が生えて居て、可愛らしい紅紫色の花をつけて居ます。小さい割には根がなかなかしつかりして居るので、駒でも繋ぎざめるに足るごいふ所から附けられた名であります。其の他マメ科のものではニハフヂ、メドハギ、ネコハギ、イヌハギ、タンキリマメ、イダチササゲ、クララ、フデカンザウ、ヌスピトハギ、クサフヂ、タニワタシ等色ごりごりの花が開きますが、普通のハギも八月頃になつて秋が近づいて来るご美しい花を開き始めます。心ゆくまでに大自然に親しみつゝ、自然にはぐまれた美しい草花を觀察し、採集するのに夏はその最も好適の時期であります。



海は自然の大きな動物園

(東京女子高等
師範學校教授)

久米又三

子供の折に鍬形蟲を飼ふ事に熱中した事があつた。ブリキで作つた箱の壁に細い穴を開けてもらつて、其の底に松の樹の甘皮を敷いて置く。甘皮が乾燥するのを妨ぐために時折水を吹きかけてやつた。蟲は自分達仲間で近くの山へ採りに行つた事もあるし、時に種類が不足した折には近所の店で買つた事もあつた様に思ふが、そんな種類の店で鍬形蟲なぞを賣つて居たものか今は思ひ出せない。然し集めて來た鍬形蟲には確か種類が三つあつた様である。形が小さくて幾分丸味のあつたのは、からだに似ず力が強いので、友達仲間で此れを太閤様と呼んで居て大いに敬愛したものであつた。角も長く太閤様より大きくて、體が扁平な種類があつたが、此れは案外力が弱くて役に立たないので平家と呼んで居た、外に源氏と云つたのが居た筈だが、さ

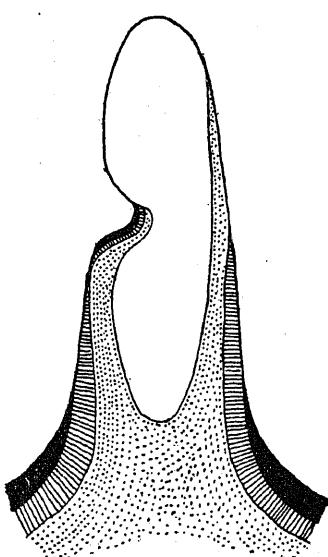
んな種類のものであつたかはつきりしない、鍬形蟲の飼養法は誰かに習つたものに違ひないが、仲々巧みに飼養が續けられたので、隨分長い間吾々仲間の中心になつてくれた。中心どころではない、其の頃の思ひ出は唯だ鍬形蟲に盡きて居ると言へる位である。こんな子供の折の話を、先日亡くなつた小兒科の青木博士に話した所が、青木博士も小さい時に一種の蜘蛛を飼はれたさうであつて、其の後二三日して其の蜘蛛を飼ふ小さい木箱をもつて來られて打ち興ぜられた事があつた。

鍬形蟲の飼養に較べるゝ少し難薄な事になるが、然し同じ位の喜を與へてくれたものに夏の海があつた。海岸の砂の上に寝転びながら砂の中に棲むダンゴ蟲を搜すのである。静かに手で砂を掘つて行くゝ、丸くなつたダンゴ蟲が

轉り出て来る。此れを砂をたゝいてならした所に置いて監視して居る。或る時間が経つと蟲は必ずむく／＼起きて、繊細に足を動かして逃げ出すのである。此れがなんか馬鹿に巧妙に仕掛けられた器械の様な氣がして居た。ただ其の事が面白いために、毎日苦勞をものゝもせずに、海邊に行つては砂を掘つて此の蟲を集めたのであつた。ダンゴ蟲以外のものでは、海岸に時折ひゞでや海膽の死骸を見たけれども、一體こんな動物がそこにはの様にして棲んで居るものか見當がつかなかつたので、海云ふものは容易に吾々の近づける所でない、そこが恐ろしいものである様な感じをいだかせて居た。今になつて思ふことは全く海に就ての知識が足りなかつたゝめであるし、又海に就て良い暗示を與へてくれる人が周圍に居なかつたゝめであつた様に思へる。

海が色々な興味ある動物の棲息所である事は誰もが知つて居る事である。然しながら漫然と海岸にいつて漫然と動物を捜したのでは、或は私が子供の折に感じた様な淋しさを味はないとも限らない。此れは大抵どこでも同じことであ

るが、其の海岸の廣いか狭いかの差はあつても、海岸の岩や砂や泥は決して無秩序に分布されて居ない。一つの陸地の突起の先端には岩礁がある。其の岩礁の外側には岩がく一つの入江の模型圖 入口の兩側と入江の中にある突出部に岩礁(黒)がある、其の外側に轉石(斜線)、其の外側が砂地(白)で入江の奥が泥地(白)になつて居る。



づれて出来た石や礫の層がある。其の又外側には砂地がある。此れが灣が入江になる灣が入江の口から奥に向つて同じ様な分布が見られる。即ち入口附近に岩礁があり岩礁に續いて轉石があり、轉石の奥には砂地がある。入江

の奥には川が流れこんで、其の附近一帯が泥地になつて居る。此の様な地質状態を専門的に底質と呼んで居るが、此の底質の辨別が先づ動物の棲息所をつきこめる第一の手掛になる。頂度百貨店へ行つて先づ求める品が何階にあるかを知る必要があるが如きである。前に云つたダンゴ蟲は陸地の砂に棲むが、海膽やひこでは海水にしたつた岩か轉石か底の砂地に棲むものである。

此の心得を得て海岸に立つて海岸の地形を眺めて見るに、先づ第一に足を向けるべき方向が決められる。大抵の興味深い動物は、例へばイソギンチャクや海膽の類は、岩蔭を利用して棲んで居る。波の静かな折に岩の上に立てて、岩の割目を捜して見ると、美しい色をしたイソギンチャクが静かに觸手を八方に伸ばして居るのが見當るだらうし、栗の様なさげくした海膽が頑固さうに岩の穴にしがみついて居るのを見ることが出来る。

然しあつこ有效に是等動物の棲息所を發見するには、潮の満干を利用すべきである。潮が干て、海面がすつと下つた折には、吃驚する程海岸の地形が變つて来る。そんな時

には平常岩蔭にかくれて見えなかつたものや、僅かに海水を通して眺めて居たものが、海の表面に露出されたり、少なくとも表面近くに現れて来る。潮が引くとイソギンチャクは觸手を引つこめて丸くなつて居る。棒か何かでつつくと水を出して尚ほ小さくならうとする。こんな折でないでイソギンチャクの様なものは中々採集が出来ない。此れを取るには、先づ周囲の岩から破壊してからねばならぬ。イソギンチャクの底に傷のつかない様に岩の小片と共にこれらたら先づ成功である。これを持つて歸つて海水をみたした水槽に入れてやれば、イソギンチャクは機嫌良く觸手を伸ばして、からだを膨らして来る。これを長く飼養するの割合に樂であるが、海水が常に循環する様な設備がなければ、先づ海水を一ヶ月もため置いた古いものを用意して置く。此の古い海水は中の種々な有機物が分解し沈澱されて居るために、新しく動物を入れても腐敗にかたむく憂が少ない。こんな海水であれば海水の補給のつかない所でもイソギンチャクは長らく生きて吾々を興がらせるものである。餌は餘り必要ではないが、魚とか蝦蟹の肉を少

量口にあてがつてやれば良い。一般に海の動物は、海水が循環する設備がなければ飼養が困難なもので、先づ長らく飼養することは断念しなければならないが、しばらく生時の状態を見るためには、例へば海膽の様なものは、海水を切つて海藻に包んで持つて歸るのが良い。

潮が干いた折に、岩蔭に立寄る機會があつたら、其の岩の外側にある轉石に眼を轉じて、裸足で海に入つて、石を起して見る。其の石の下には、たゞの貝殻として見て居た貝の類がはいつて居たり。別の種類の海膽やヒトデやクモヒトデを發見する。小さい動物では、教科書の圖だけで見たこのある様なものが、石の表の小さい穴等に入つて居たりする。又此の附近に海藻があつたら、海藻の根を分けたり表面を良く注意して見る。岩の下が覗けるならぞいて見る。海綿があつたりホヤが着いて居たり、蟹がはつて居たりする。此んな美しい物があらうかと思へる程のウミウシの種類が、涼しさうな艶を花の様にひろげてしまつて居るので見るであらう。

入江の奥の泥地では、又泥地特有な動物が居るものであ

る。潮の満ちた時には泥の中からだを出して居るが、干いた折にはすつかり縮んで泥の中に入つて居るから、唯泥の表を見たゞけでは動物の所在が判らないものが多い。

種類に依つては特有な泥の盛り上りがあつて少し憤れる。其の下に居る動物の種類の判別がつく。先づ斯の様な泥地で一番適當なのは蠍か何かを持つていて、大體の見當をつけて泥を掘るのである。然し泥地に棲むものは多くは體の柔いちぎれ易いのが多いから充分叮嚀にしなくてはならない。此の泥掘りでウミシャボテンでも掘り當てたら素晴らしい。掘り出した時には縮んで居て泥にまみれた汚たないものだが、持つて歸つて水槽にでも入れて、蓋をして暗くしてやるご、やがて膨れて來て、始め五寸位のものが一尺四五寸位にまでなる。そして表面から澤山のボリップを出した所は實に美しい。尚美しいことは、暗室でこれをつゝいて見るご、からだ全體からぼつこ光を出すことである。

尙ほ此の外に、海の動物採集として、舟の上から覗きを使用して海底のものを熊手で採る方法や、潜水夫を使用して尙ほ深い所をさぐる方法や、底曳き云つて深海のも

四
一

櫻太へ行きませんか

主催 東京女高師内華太兒童教育研究會

名稱

會場 樺太豐原中學校內(豐原町)
昭和九年自八月五日四日間

期 日 暦和九年至八月八日四日間
講習要員 一 丰業生義理科教育の眞髓

論著要功	二一
作業主義の國語教育	淺坂
主義の國語教育	黄俊
次郎郎	次郎郎

四三
景作業
観地主
理主義の
算術教育
地理教育
教育

課外講演
一 権太の概観。二 権太の教育。三 権太の事業

島内見学 甲班（樺太東部廻り）
八月九日、樺太廳博物館、王子製紙會社工場、樺太廳中央試

驗場視察。八月十日、知取町を経て海豹島に向ふ。八月十一日、毎朝鳥の妻心計ツ、ニコツ、ニコツ、鳥の妻息伏熊観察。

日 濱野島、櫻木村、日暮伊、鳥の林、島根県、多
八月十二日、敷香町に於て網場、土人生活、木材流送状況

ノドラ地帶視察。八月十三日解散。(以上見學費約二十五圓)

八月九日、眞岡町パルブ工場、樂碧水產試驗場視察。八月十日、（横河西部方面）

〔備考〕 日、多蘭泊アイヌ土人部落、本斗町視察。本斗町ノリ其内直航船更あり。(以上見學費約六圓)
〔解散〕

聽講料(但し樺太島内居住者は聽講料を要せず)

特典 汽車汽船買五割引
使用期：七月二十三日より八月八日まで

(使用期) 七月二十三日より八月十八日まで (旅館特約会期)

中島内生徒兒童成績品並に本島高山植物陳列自由觀覽
申入期限は昭和九年七月二十日

申込方
申込所……東京女子高等師範學校内兒童教育研究會

三
聽講料は必ず捐善口座一東京五九七〇四番・東京女子高等師範學
附屬小學校内兒童教育研究會を御利用下さい。

(1) 學校名
田名
(3) (往復に限る)の要不要。
(東邦四國)

(2) 講習名
（4島内見学（東部廻り）の希望區別。

五
倉費領收書に代へて、認請汽船汽船引附證を振替による申込付と同時に發送いたします。但し口頭による直接申込は直ちに融資引換の上差上げます。

のを探る方法があるが、専門的になるからはつきり、海岸に簡単な顯微鏡でも携帶された場合は、昆蟲網の様なものに紐をつけて舟で海の表面近くを引いて見る面白い。引いたあこで網の底を海水で洗つて見るさまぐれなプランクトンが入つて居る。夜光蟲等もこんな方法で採集したる。多い時には一萬二萬位のものは容易に採る事が出來

此の様にして海岸に立つて、海岸の地形の辨別が一通り出来たら、海の動物の棲息所は、既に百貨店の案内圖の様に眼の前に展開された。同じ事である。動物園や水族館は動物の世界のほんとに僅かの一斷面に過ぎない。手を出して親しく觸れる事も出来ない水族館の一室で、動物を見るより、百貨店の様に繰り広げられた自然の展開を、僅かな努力で知識をもつて親しく眺め親しく触れる事が出来る

なら幾ら楽しいか知れない。幼なかつた時に、歟形蟲やダントン蟲に熱中した楽しい記憶をたぎりながら、楽しい夢を

見る幼児に接せられる人々の前に、海を語ること以上の如くであります。何かの御役に立てば幸であります。

忽七版

東京女子高等師範學校
教授・附屬幼稚園主任
倉橋惣一新著

▲六版三百餘頁頗る美本
▲口繪十六枚・插繪多數入
▲保育法の實際實景紹介
▲定價二圓五十錢送十六錢

幼稚園 保育法 具備

○倉橋先生保育眞諦

倉橋先生保育真諦 日本のフレーベル倉橋先生の代表的名著茲に出来。發行後僅に數ヶ月にして既に七版を突破し、我が國保育界の明星として一齊に大歓迎を受け愛讀又熱讀さる。東京女尊院の園児等は先生を「おぢさん」と稱して相敬慕す。此の倉橋先生の保育法の真諦即コツを悉く本書に披瀝さ

○現代の保育法原論

日本のフレーベル倉橋先生の代表的名著茲に出来。發行後僅に數ヶ月にして既に七版を突破し、我が國保育界の明星として一齊に大歓迎を受け愛讀又熟讀さる。東京女高文部を「おぢさん」と稱して相敬奉す。此の倉橋先生の保育法の眞諦即コツを悉く本書に披瀝され、本書は懸願數年も其を完成されたる新著にて、現代に於け最も完備し且系統ある保育法論である。倉橋先生は稀に見る純真的教育者と著書少く系統ある力作は本書のみ。

○保育界耆宿の力作

著者は幼兒教育並に家庭教育の第一人者として裏に畏くも此點に御關心深き
御前講演の榮に沿され又屢々官家よりの御招聘ある我國保育界の耆宿にて、
本邦第一の御講師として兩陛下御前講演の榮に御承認されたる者也。

第一編 幼稚園保育法の一七幼稚生

王事ご文部省社會教育官などを兼ねられ人間味豊かな人格者として定評の士である
活の教導
四保育案の採りどころ 二自由遊びから仕事へ 十おかげり

教育に於ける目的と對象

第三形態 四幼児生活へ教育を 一児童生活の自己充實 一無案保

保育案の實際
十九、保育院の外生創造活性化性質
七六、流れゆく一
三方日
三二、大人形の家を中心として
大賣出し

五 幼兒生活の充實指導

第三章 幼稚園の朝 保育過程実際

東洋圖書株式會社

京東市神田區神保町一丁目
番十三〇二号 招贊東京

〔書良の備必須必〕

東京女高師教授倉橋惣三先生
附屬幼稚園主任

同校保姆新庄よしこ先生共著

洋繡天金上裝
菊判四八〇頁
定價三圓八十錢

日幼稚園史

色特

內容目次

- 一、二十年苦心の結晶漸く完成す
二、草稿千餘枚插繪數百整理成る
三、日本幼稚園史として比類なし
歴代 皇后陛下行啓の榮を得し我が國幼稚園本山の大記念塔。

第一編 沿革及施設史

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 第一章 幼稚園開設前史 | 第一節 明治文化の建設 |
| 第二章 幼稚園開設 | 第二節 幼稚園開設の機運 |
| 第一節 幼稚園開設 | 第三節 幼稚園戯場 |
| 第二節 幼女子園師範學校附屬 | |
| 第三節 設立後の経過 | |
| 第四節 開園及開業式—皇 | |

第三章

- (二) 女子師範附屬幼稚園
節 節 節 節
幼稚園創立當時の規則及
建物庭園及職員
保育科目及保育用具
憶 憶

第五章

14

- | | | | |
|---------|---------|---------|------|
| 其後の普及發達 | 章 | 章 | 文獻 |
| | 小豐田美雄女史 | 功績者 | 公令 |
| | 西信八氏 | 中村正直氏 | 關村三氏 |
| | 保育文獻 | 松野くらら女史 | |

文獻

兌發社會貿合式株書圖洋東

東大

番七三〇一京東替振・目丁一町保神・區田神市京東
番六五五九三阪大替振・地番八二目丁一町寺堂安内・區南市阪大

貝類と海藻

堀のぶ子

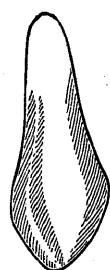
これからいよいよ海水浴の期節になります。小さい子供さん方も砂遊びに、海邊あさりに、色々興味ある生活を送るこころと思ひます。そこで東京近くの海邊で時折目にふれる貝類と海藻について書かっていたゞきませう。先づ貝類から、一枚貝の方を先に上げて見ます。

一 いがひ科

潮が引いた岩の割れ目や凹みなどに捕つて附いてゐる貝で、或人は猪の耳のやうだがらいがひ云々なさう云つた事を聞いて居ります。これにも數種あります。



ひがひ
いがひ
いのかひ
せこがひ
なさう云つて、殻質
厚く、楔形
をなし、長
さ十粂ばかり。
黒褐色



ひがひ
くわじく
岩の割れ目で水の中に
ある時は、特に紅の美
しく見える貝です。
けがひに似てるが、毛が短少で、殻頂の内面に薄い隔板

の表皮をもつて居るが、往々動植物なさの着生してゐる事があります。貝絲(足より出でるもの)を出して、岩などに着生してゐますが、何處の海でもよく見られるものあります。

(一) けがひ。いのかひのすつさ小形なもので、形も色もいのかひによく似てゐますが、貝殻に棕梠毛状の毛を密生

してゐます。

(二) ひばりがひ。けがひに似て、毛が少く、色も淡くて紅色を呈してゐます。

(三) くじやくがひ。

を具へてゐます。

ニ はまぐり科

殻の蝶鉗は大抵兩片に三ヶ宛の分開せる歯を持つて居て、種類が頗る多く、形、彩色、彫刻等も變化が著しいものです。普通見るものは

(イ) はまぐり。之は説明するまでもないでせう。

(ロ) あさり。之も潮干狩でお馴染の物であります。殻の表面に縦横布目状の彫刻があり、色も薄茶、黄褐色、紫、灰色等、様々であります。また模様も斑紋に實にいろいろあります。

(ハ) おきあさり。蛤に大變よく似てゐて、殻がもつと厚く、總體が扁平で、三角形に近い形をしてゐます。色は白色、淡黄色の地に、放射状の帶又は線紋を持つてゐます。九十九里の北の方なきで、蛤と一緒にこれるが、肉は蛤より強い。大きさは四種ばかりあります。

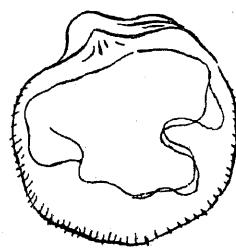
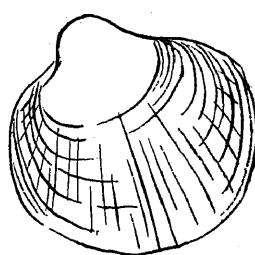
(ニ) おきしじみ。よく波打際に打ちあげられてゐるのを見ます。貝殻が圓くて高く、しかも厚く、殻の内面の周圍に細い歯を持つてゐます。殻の表面は淡褐色で細い筋が澤黃褐色で、縁に添つて濃い褐色の筋があるだけです。それ

山あり、内面は白く、縁邊が淡紫色をおびてゐます。

三 うばがひ科

(イ) うばがひ。これは干した肉を干物屋で見る事が出来ます。一名ほつき貝とも言つて、罐詰として知られてゐます。生きたまゝの物は九十九里濱以北、三陸地方で見られます。大變に大きな貝で、長さ十種から二十種にも達します。大變に大きい殻で、脹れた橢圓形をしてゐます。暗褐色の表皮を被つてゐて、肉は非常に美味で軟いものです。

(ロ) しほふき。これも潮干狩であさりによく間違へて、子供達が採るものであります。殻の形もざつと圓く、殻頂が高く、表面があさりのやうに、色々な色や模様がなく、



で少し慣れた者には一目で見分けがつきます。肉は食用となるが味はよくありません。

(ハ) ばかりひ。殻が他のものに比べて薄く、形も長く、殻頂もひくい、長さ七八厘、表面は黄褐色で、殻頂から放射状の黒褐色の模様があります。足が長く、赤く屈曲しています。肉の味はよくないがその貝柱が喜ばれて使はれます。

四 あかがひ科

あかがひ。これはまた酢の物、鮨等に大變喜ばれる貝であります。大變圓つこい貝で、表面は暗褐色の鱗片狀の表皮を被り、四十條内外の放射肋を具へ、その縁邊に齒狀の刻目を有し、蝶鉗線は一直線をなしてゐます。

五 かき科

かき。海邊を散歩して、かきの殻又はその破片が目につかない事は殆どない程、かきは廣く散布してゐる貝であります。非常に美味な貝で、養分があるのことで、本邦ばかりでなく、歐米でも食用貝として重ぜられてゐます。

左右兩片はこれまで上げた貝の様に、等しくなく、左片は深く身を入れ、右片は平に蓋のやうについてゐます。殻は幾つかの層からなつてて、表皮の方から離れるやうに見える内韌帶を有し、肉痕は中心の後に位し、蝶鉗に歯なく、他物に附着して生活するので足は發達してゐません。

六 ほたて貝科

(イ) ほたてがひ。これは貝殻として海岸に打ち上げられて居るのを見ること東京附近では殆どありません。大きなものは鍋として、小さなものは皿として使はれてゐます。これは青森、北海道等、北の方に多く産するもので、貝は右片は深く、左片は扁平です。往々兩片を開閉して海中を跳躍する事があるさうです。蝶鉗線は一直線をなし、中央に韌帶を容れる孔があります。殻の表面は淡紅褐色で、内面は白く、中央に大きな柱の痕があります。大部分のもので二十厘以上に達するものがあります。頂點から放射状に多くの溝があり肉柱は大きくて、甚だ美味であります。

(ロ) いたや貝。いたや貝の小さな殻がよく海邊に打ち上

げられてゐるのを見ます。昔から杓子などに使はれて居ります。ほたで貝に非常に似てゐますが、小さくて、十種に達するものは稀であります。

殻の放射線が十三條位で、ほたで貝より少い。之は南海に産し、肉はやはり美味であります。

(ハ)つきひがひ。江の島あたりに行くと、貝の皿を賣つて居るが、あれは月日貝です。圓くて扁平、表面は平滑にして光澤強く、一片は紫褐色、一片は淡黃白色であるため、月日のやうに感じて、さう名づけられたものでせう。

七　まで貝科

またがひ。殻は長形で、圓筒をつぶした様な形、長さ十

糧ばかり、幅は一糧半位

です。滑な角質の表皮を

被り、普通の二枚貝類

は大分形が異つてゐます。淺海の砂中に鉛直の穴を穿ちて棲息してゐます。潮干狩にいつた時など、その穴に少量の食鹽を入れると、躍り出るのは稻毛あたりでも時に見るこ

とが出来ます。勿論肉は食用になります。

以上は一枚貝に屬するものですが、巻貝類で目につくものは、

一　ひざらがひ



橢圓形で、長径が一二糧から三糧位あります。内側の腹足で岩に附いてゐます。中央に八個の板殻が節状にあつて、徐々に岩上を匍匐し、之を離すと、玉むしの様に腹部に向つて彎曲するものです。

二　うのあし



しあのう

大體は圓錐狀

をなすが、頂が

低く、周圍は不規則に切れ込ん

で居て殻頂から

十條内外の放射射

かさ貝は巻を半開きにしたやうな形であるが、その周縁は不正な橢圓形をしてゐます。よめがかさも岩についてる貝類で、殻頂が少し前方に傾いて居る笠状のもので、色は褐灰色であり、大きさは五種ばかりあります。

四 きくのはながひ



うのあしによく似て居るが、形がもつと正しく、濃褐色の地に白色の放射脈がはつきり三ついて居

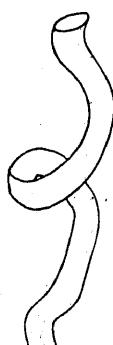
形をしてゐます。

五 になばい、長さ一種ばかりの小螺で、海邊に多く產し、波浪に晒されて紅、紫褐色等の美彩を放つものです。

海岸の砂中に混在してゐます。

六 あはび

これは説明するまでもなく、よく御承知のもので、やはり巻貝の一種であります。螺旋塔が大變に低くなつて、殻口が大きく殆ど全部を占めてゐます。



一〇 おほへびがひ、管状の貝殻を持つて居て、蛇が巻きついて居る様な形

をしてゐます。太さ

小指程で、海岸なき歩いてもあまり完全

あはびに酷似し、小形で、長さは六七種、肉は食用となり、美味であります。

八 きさび

長さ一種半、高さ八耗ばかりの巻貝であります。螺旋は約六回、體層大きく、縫合の直下が稍々脹れてゐます。色

は灰青色で、細かい模様があります。子供等はこの殻でおはじき遊びをするものです。

九 だんべきさび

大形のきさびで、直徑四五種、長さ一二種ばかり、螺旋は七回、縫合の直下が凹で居ます。表面は滑で、淡褐色の地に黒色又は暗褐色の火炎状の模様があります。肉は食用になります。

七 こじゆし

一一 みみずがひ

へびがひよりも遙に小さくて、高さは六種位、殻頂は普通の螺旋状を呈するが、下の方は次第に離れて不規則になつてゐます。色は灰白色又は淡褐色であります。

一一 くまさかがひ

低い巻貝で、直徑は五種、高さは三種位あります。殻の

表面に他の二枚貝の貝殻を膠著させてゐる一風變つた貝を見ることがあります。

一三 つめたがひ

大形の巻貝で、殻の直徑は十種に達するものを見る事があります。體層は非

常に大きく、球形をなしてゐます。殻質

として、一枚貝類の殻頂に孔をあけます。打ち上げられた貝殻に直徑三耗位の孔のあいてゐるのを見る事があるのはこの貝のしわざであります。卵は七八月の頃、波打際の砂上に卵嚢となつて點在してゐる、半月形、灰黒色のびるくしたものであります。

一四 たからがひ

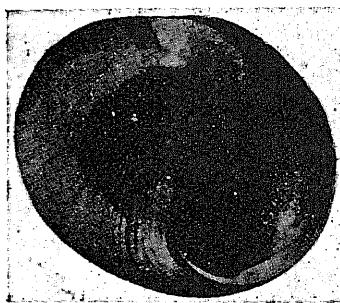
巻貝の體層だけが非常に大きく發達して、縁邊と體部の向ひ合ふ所に齒を生じ、表面は滑で美しい色や斑紋を持つてゐるものが多いのです。主に本邦の南部の方に産するが、細工物裝飾品玩具等に用ゐられます。種類が非常に多いけれども、こもんだから、めんだから、ほしだから等はよく見うける種類であります。

一五 ほらがひ

山伏が持つて歩くほらがひは大島、臺灣等の海で産する大きな巻貝であります。

一六 ぼうしうぼら

直徑は五六種、長さは二十種位あつて、ほらがひに似ていが、子供達が喜んで玩ぶ貝であります。この貝は酸を出



ひがひためつ

色は白地に赤褐色の美しい斑紋を持つてゐます。

一七 やつしろがひ

大きさは二十厘米位から十厘米位あります。體層は非常に大きい、殻には横に並んだ溝が通つてゐます。淡褐色の地に濃褐色の斑紋があります。

一八 あくきがひ

魚の脊骨のやうに、貝の下の方が突起になり、體もその突起にも澤山の脊骨から出る魚の骨のやうに突起がで出ます。ほねがひの一類であります。

尚貝類は非常に多いので、さてもこゝに挙げた位では九牛の一毛位といふ所であります。しかしこれ位にしておいて海藻について述べて見ませう。

八月中旬過ぎに、少し波の高かつた翌朝、海邊に出て見るこゝ、色々様々な海藻が打ちあげられてゐます。ちよつと見るこゝ、あまり澤山な種類もない様であるが、少し丁寧に見るこゝ、實に様々なものがあつて、紅藻類などはさしても美しいものがあります。

海藻の標本を作るには、採集した海藻を鹽シラヒか何か大きな

器に淡水を満し、此の中に入れます。するご形も生きてる様になり、枝ぶりをよく整へて下に臺紙を入れます。そして臺紙ごと水から上げて上に布をかけ（不要になつたぼろで結構）、新聞紙の間に入れて上から重石をおく。始は一日に一回位づゝ新聞紙を乾燥したのを取換へれば、一二週間に海藻は自分から出した糊で臺紙にびつたり貼り付いて立派な標本が出来ます。布は上の紙につかない爲であるから、乾いたならば取去ればよいのです。普通中部地方で見られるものは

一 緑藻類

(1) あをさ、干してあをのりといつて賣られて居ます。

體は綠色の薄片の葉状で、周縁に波状の皺があります。大きさは普通十厘米から二十厘米位で、干潮線近くの岩や他の海藻上に群生してゐます。

(2) あなあをさ、あい、によく似て居るが、葉面に小孔が多くあります。

(3) あをのり、あをさと同じく、本邦沿岸各地に産します。常に圓盤狀の根を有し、糸狀の莖を出し、長さ二十厘米

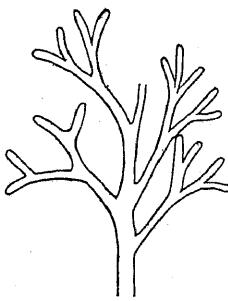
に達する物もあります。莖は中空圓柱狀であります。

(4) みる、模の模様にみる、使つてあるのをみる、ことが

あります。根は圓錐狀で、

あります。この四種類も皆よく似てるが、分けて説明し
て見れば、
ですが、淡水をかけるか、雨ざらしにする、深紅の色が
あせて、黄白色になります。之を煮てさかし、型に入れて
固めたものは、こうろてんです。之を凍らしたものが寒天で

圓柱狀の莖が出てるま
す。規則正しく數回叉狀



に分れ、各枝は更に扇狀
に擴つて房狀をなし、幾
本も莖が出る、全體が丁
度模様にある、みる、同じ

(イ) てんぐさ。根は糸狀に分岐し、體は扁壓にて細く、
不規則の枝を出し、枝は又羽狀に數回分岐してゐます。全
長二十纏に達するものは大なる方で、根元の枝は先の方の
より順次に長くなつてゐます。

(ロ) ひらくさ。てんぐさよりも莖が太く、やはり扁壓で、
て、先にいつてもあまり細くならないものです。色もみる
色といつて、暗緑色であります。

(ハ) たまみる、質はみるの様であるが、球狀をなしてゐ
て、直徑二三纏のものが多いやうであります。

二 紅藻類

(1) てんぐさ類

寒天を製する主要原料で、てんぐさ、ひらくさ、おにく

さ、ひぐもぐさ、いゝいあじ等あります。深紅の美しい物

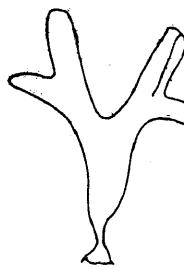
(一) てんぐさ。
(ハ) おにくさ。ひらくさに似て、莖に中肋があり、分岐
した枝はてんぐさやひらくさに比し、少く且不規則で
あります。

(ニ) いりのあじ。之は前の三種に比べる、すつと外觀

が美しくなく、枝は檜の葉のやうに細い筋からなつてゐる、粗慥で、然も一種の黄白色の海綿が枝について居るので、體色が乾くと白色の如く質が軟骨様であります。ちよつと破片を見るといきなりのあしこいふ感じがするものです。

紅藻類でなほよく見るものに、次のやうなものがあります。

(2) つのみ



細として壁なき塗るに用ひられます。莖は扁壓で短く、

幼きものは芻子型、大き

なものは、二三回叉状に

分岐し、先端が圓く、幅
三極、長さ十二三極位に
達します。之もよく探れ
る一種であります。

(3) こうぢのまた

色が紅が濃くて叉状に分岐する有様なきは、つのみに
よく似てゐるが、莖が細く長いものです。

(4) さきかのり

莖はつのみの様に薄く幅廣く分岐した枝が廣く先の方に小枝を出し、先が圓くなくて切つた様になつてゐます。
鮮紅色で美しいものです。

(5) かばのり

つのみの様なのが、莖から數枚出て、枝の先がつのま
たより細小に分れてゐます。

(6) すきのり

てんぐさに似て居るが、枝が不規則に分岐し、各枝は羽
状又は叉状の小枝を出し、不規則に見えます。

(7) むかでのり

海邊で時々見掛ける物です。之は薄い幅廣い莖に小枝が
對生して、丁度むかでの體に足が出来る感じのするもの
で、長さ二十極位に達します。

(8) をごのり

刺身のつまに使ふ綠色の海藻がをごのりであります。體
は圓柱狀で細く、枝は叉状に、或は羽状に、不規則に出で
小枝をつけ、小枝は又一二回分岐します。長さは三十極か
ら一米に及ぶものがあるさうです。採集した物を少量の石

灰を混ぜた水で煮れば、美しい鮮緑色に變つて質も稍々硬くなり、前述のやうに食用になります。

(9) ふのり

衣服の洗濯等に糊として用ゐらるゝものです。之も紅藻類の一種で、體は中空叉狀に數回分岐せる葉を有してゐます。主に南の方に產するが、日常使はれるためこゝに擧げたのです。

(10) なみのはな

打ちあげられた海藻の中に、鮮紅色の細かい種類を見る事があります。體が薄く扁平で、非常に美しいもので、長さは七八纏あります。

三 褐藻類

海岸に打ち上げられて一番多く見るのはもくの種類である。

(1) ほんだわら

各地の沿岸の深所に生ずるが、時に打ち上げられて居る事があります。全長は一米から一米にも達するが、大抵はその一枚位を見る事が多いのです。葉は披針狀で、縁に浅

い缺刻があり、中肋なく、氣胞は小豆大で、先端に小さな突起があります。莖は三稜形で下の方は捻れています。ほんだわらは御承知の如く正月の飾りに使はれるものです。

(2) いそもく。長さ十二三纏より三四十纏に達し、もくの類としては小さな種類であります。莖は細く圓く、小葉は長刀狀をなし、氣胞は短柄で倒卵形であります。

(3) ジョロモク。大きさ三十纏位から一米位のもので、左右に枝を分ち、枝が皆同一面にあります。小葉は扁平で、

小さく披針形で、氣胞は柄を持つて居て長卵形、先端が尖つてゐて、體の上部にばかり附いて居ります。

(4) あかもく。黃褐色を呈し、大きなものは五米にも達するものがあります。葉は細長く扁くて中肋を有し、下部は幅廣く、上部のものは幅も丈も小さくなつてゐます。斜に切れ込みがあつて互生し、氣胞は、圓柱狀で頂上に小葉をもつて居ります。

(5) おほばもく。之も打ち上げられて居るのをよく見るが、非常に大きなもので、全長は二米に達します。莖は圓柱狀で叉狀に分岐し、葉は幅二纏、長さ一三四十纏に達し、

切れ込みなく、中肋が明で、厚く硬いものです。氣胞は大きくて少く扁壓で、長徑三稜、短徑一・五稜ばかりあります。そしてその頂上に小葉を有つてゐます。

是等も、類の外に、よく見るものがあります。それは

(6)あらめ。ミ

(7)かじめ、ミであります。

兩方とも五十稜から一米位に達するもので、わかめに似てゐるが、莖が太く長く先の方に葉がついてゐます。あらめは莖の先が二叉に分れ、その先に皺のある幅三稜位の細長い葉をつけてゐます。あらめは厚さもかぢめより厚いものです。かぢめは莖の先が一つで、その先にわかめに似た葉を持つてゐます。

(8)うみごらのを。黒褐色の總状であつて、葉は杉の葉

のやうに細小で、鱗片狀について居るが、莖の方に行

くと小枝を出して附いてゐます。獸の尾の様な形をしてゐるのでこの名がある譯です。

(9)うみうちわ

今迄挙げたものミ全然形が異つて、扇を開いた様な形を

し、縁邊は半圓形で切れこみなく、圓い縁に添つて數個の輪狀の生長線があります。質は厚くて硬いものです。

この他ひじき、わかめ等は食料品としてよく知られて居るが、今挙げたやうなものは主に肥料沃度の原料として多く用ゐられるものです。

以上で極めて有りふれた海藻の種類を挙げたつもりであります。百聞は一見に如かずですから實際採集して、標本などに作つて見るミ、大變よく解るし、興味も出て來るものであります。尙ほ生活の狀態繁殖等については述べなかつたのですが、是等について研究すれば一層の興味がある事ミ思ひます。唯小さな海產物學者が澤山出來る事を期待しながら以上貝類ミ海藻ミに關して解説した次第であります。

先月號の東京昭和保母養成所主催夏季保育講習會

の廣告中土川五郎先生のお遊戯の時間は四時間ミなつてをりますが十四時間の誤りでございました

から御承知下さいませ。

昆蟲談

附 東京女子高等師範學校 吉田 弘

一 地球は昆蟲の世界

前世紀に巨大なる爬蟲類が大いに繁榮し、暴威をふるひたることは、生物學が吾人に教ふる所であるが、身長十米以上に及ぶ巨體を思ふ時、如何にそれが不經濟のものであるかを考へる。然し乍ら我等自身、即ち人類の身體が、巨大に過ぎることとは考へないやうだ。それでは果して適當なる大きさかぎうか。今日の世界全體の生活難は、限りある地球上のエネルギーを分配するに、人類の身體があまりに巨大に過ぎること考へなくてよいだらうか。

かういふ意味に於て、昆蟲類は最も適當なる大きさかも知れない。しかも生活様式は極めて多種多様であつて、地上を歩行するもの、空中を飛ぶもの、水中を泳ぐものなど、到底人類なきの及ぶ所ではない。もとより現代の人類は、智能の癡によつて、僅に空中の飛行といひ、水上の航行

いひ、それを眞似ることは出来るやうになつたが、これで世界を支配してゐるこ考へるはどうかと思ふ、寧ろ考へ様によつては、地球は昆蟲の世界だいふことが出来る。今日地球上にすむ、動物の種類の全數は五十三萬五千二百三いはれるが、その中昆蟲の種類の數は三十六萬種だいふから、全動物の四分の三は昆蟲だいふことが出来る。この四分の三といふは、種類の數であつて、個體數ではないが、もしも個體數を取つて見たらぎんなものだらう。蝶なら蝶、蚕なら蚕といふものゝ個體數は、非常に莫大なものであるが、凡べての種類の昆蟲がそのやうなものであるから、昆蟲全體は個體數は大したものであるこ考へられる。人のすまぬ深山や高山なきに登つて見ても、昆蟲の見られないはない位だから、その數からいつても、地球上の住所の擴がりからいつても、大したものであることがわかる

だらう。がゝる意味からして、この地球は昆蟲の世界だといへるゝと思ふ。

一 蟻くべき脚の力

蟻には翅がないが昆蟲の一種である。蟻の活動するのを見ているるゝ、蟻が小さいものだから、これは蟻に取つては大山だなゝ思ふ所でもさんく登つてしまふし、水には縁の遠いものであるが、蟻に取つて大きな海だなゝ思ふ所でも、都合がよければさんく渡つてしまふ。これさいふのは身體の大きいさに比して、その脚の力さいふものが偉大なるものだからである。自分より大きい蟲を、ひつぱつてさんく歩く所なゝが、時々見られるのもそのためである。

では一體蟻の脚の力は、さの位のものか。蟻ミ人間の速さ、蟻ミ自動車の速さを比べた所で、これは比較にならぬ。そこで一秒時間に、それぐの身長の何倍を走るかを比較して、跳躍する距離である。さんく跳ばして見て、身長の何倍を跳ぶかを計算して見ると、如何にすばしこい跳躍振りであるかとわかるだらう。アカバッタは身長が一時の四分の三であるのに、四十時も跳ぶそうだから、身長の五十倍以上をこぶわけだ。身長五尺五寸の人が、それと同じに跳ぶのには、五十間近くも跳ばねばならぬこいふわけだから驚くべきものではないか。

一時間に100哩即三三〇糠を走る競走用の自動車である、一秒間に體長(さいふのもおかしいが)の二十四倍走ることになるから、これなきく比べて見るゝ面白い。

これは或る人の觀察したもので、黒蟻が自分の體よりも大きい蟲をくはへて、垂直に昇つた時の速さであるが、一秒間に二呎を昇つたまゝ、蟻の大きいさは一時の四分の一であつたまゝいふから、これは身長の四十八倍を一秒間に昇つたことになる。それが垂直に、しかも自分の體よりも高い蟲を咬へての話であるから、大したものである。この様な觀察を各自でやつて比較して見たら面白いと思ふ。

又測定して見て面白いのは、バッタの類が強大な後脚で、跳躍する距離である。さんく跳ばして見て、身長の何倍を跳ぶかを計算して見ると、如何にすばしこい跳躍振りであるかとわかるだらう。アカバッタは身長が一時の四分の三であるのに、四十時も跳ぶそうだから、身長の五十倍以上をこぶわけだ。身長五尺五寸の人が、それと同じに跳ぶのには、五十間近くも跳ばねばならぬこいふわけだから驚くべきものではないか。

然しあいつても、跳び方の名人（名人といふのも變だが）は蟻ではあるまいか、蟻が身長の何倍位跳ぶかは、自分も計算したこないし、そんな計算を見た事もないが、

何百倍と跳ぶに違ひない。假りに五〇〇倍跳ぶとするこ、人間は一糸近くを跳ばねばならぬから、一里の道を行くにも、四五回も跳べば、先方へ行きつゝいふ次第である。

又コメツキ蟲といつて、これを仰向にねかすと、頭と胸部の間をまげて急にのぼし、その力で高くはね上がるのがあるが、これは脚の力の中でいふわけには行かぬかも知れぬが、あのはねあがる高さを蟲の體長と比べて見るも面白いだらう。それも今思ひついただけで測定して見たことはないが、體長二纏位のものでも、三十纏は優にはね上がるに違ひない。假りにその數字を使つて見るこ、體長の十五

昆蟲は脚の力と限らず、全身の力といふものも大したものである。體の大きさに比べて力が大きいといふこも、確かに昆蟲の生活を有利にするものだ。かういふこも、昆蟲類が地球上に大いに繁榮してゐる一理由になるかも知れない。

甲蟲類は昆蟲の中でも、力の強いものである、これらに絲をつけて、重いものを引っぱらせ、體重の何倍位をひつぱるかを計算して見るこ面白い。そして人間の力と比べて見るこ、如何に昆蟲の力が強いかとわかるだらうと思ふ。

或る人が散弾を袋に入れて、昆蟲の上からかぶせて、これをもち上げる力を實驗してゐるが、それによるこ、體重六ガレーン位のものが約十一オンス半を持ち上げたといふ。この割であるこ、重さ三噸の象は二百五十噸といふ、小さい汽船位のものを持ち上げねばならぬし、六十噸といふ十六貫にあたるが、この程度の人は五千石即ち五噸を跳び上がらねばならぬ。日本では地震の關係で、三十米以上の高層建築を造ることが出來ぬ様に、法律できめてあるから、二十五米といへば、日本では高層建築の方である

こ思はれるから、日本人は誰でも、一跳びで高層建築の頂上まで、跳び上がれるといふ勘定である。

三 驚くべき昆蟲の體力

持ち上げねばならぬ。

これは體力といふよりは、打撃に對する抵抗力といつたがよひご思ふが、或る雑誌で見たことあるが、人間は二十呎の高さから落ちる。筋肉も骨も關節もやられるそうだが、二十呎風は同じ高さから落しても平氣で逃げて行く。そうだ。この二十呎は人間の身長の三倍半、二十呎の六十倍である。所が昆蟲になる。甲蟲や毛蟲は百呎落しても、平氣だいふが、この高さは昆蟲の體長に比べる。千六百倍に當るといふ。

二十日鼠の六十倍といつても、一米七十釐の身長の人間は、百米の高さから落ちても平氣でなければならぬし、千六百倍の昆蟲の割による。一千七百米以上の高さから落ちても平氣でなければならぬ割である。だからもしも人間の體のそした抵抗力が、昆蟲と同じになれば、飛行機に乗つて地上に降下しようとするにも、飛行機が地上二千五百米位まで下りて來れば、落下傘は不要だいふ事になるから、そなつたら實に航空界的一大福音といふ譯である。

四 昆蟲の花の色や香への反應

ある學者は、昆蟲は果して花の色や形でよばれるかどうかを見ようとして、ダリヤの花の上に、紙をかぶせたり、葡萄の葉をかぶせたりして、中心の管狀花の所だけを出して置いて、昆蟲の反應を見た。そなつが、その何れの場合にも、昆蟲は普通の場合と變ることなく、集まり來つたといふ。そこでその學者は、花の形や色といふのは、昆蟲をよぶには役立たぬと極論したが、それは言ひ過ぎの様だ。

現にモンシロテフについていふ。黃色の花よりも、白色の花の方へ多く集まるのである。これは花の色に反應するものと見ねばならぬからだ。では何故に、モンシロテフは多く、白色の花に集まるか。これに對し、大根の葉が幼蟲の好餌だからといふ人もあるが、昆蟲をそれほど高等扱にするのはどうかと思ふ。自分の生んだ卵からかへつた幼蟲が大根の葉が好きだなど、兒孫のために美田を買ふ様な心掛が、この昆蟲にあるならば、これは人間以上の代物だ。又白い花の中にある。保護色になるから、好んで大根の花に集まるといふ人もあるが、之こても同じことだ。こゝに居れば、敵の眼を逃れ得るなき、人間も及ばぬ

様な戦略家であることは考へられないからだ。ではさういふ理由で、多く白い花に集まるか、これは學者によつて實驗されたことであるが、暗箱の中に昆蟲を入れて一方からは強い光、他方からは弱い光を入れて試みた所による。昆蟲は明るい方へ集まるといふ。即ち黄色の花よりも、白色の花の方が光が強いから集まるのだ。説明すれば、この説明はつくのである。

だから前の學者が考へた様に、昆蟲は花の色に反應しないといふのは、獨斷に過ぎることがわかる。やはり花の色にも引きつけられるし、花の香にも引きつけられるこ見ねばならぬ。或る昆蟲學者が陶器類を賣る店の前を通る。ある一つの花瓶に多數の蜜蜂がたかり、中にはその死骸があはいであつたといふ。これは不思議と調べて見る。甘いやうな芳香を放つてゐたといふ。これは芳香に引きつけられ、あくまで蜜をさがして餓死するに至つたものと考へられる。芳香がある所には蜜があるからな。昆蟲が判断するのではなく、唯盲目的に芳香に反應することが、昆蟲の花に集まる本能的な行動といへるのである。

香氣に對する昆蟲の反應は、單に花に對してばかりでない。モンシロテフは十字花の植物の葉の產卵するが、これもやはり、自分の子の食料になるものだなさの意識をもつてなく、その香氣に引きつけられるものと考へられる。それはいろいろちがつた植物の葉であつても、これに芥子油を注ぎかけると、モンシロテフが凡べての葉に、產卵する。この實驗で明にされてゐる。つまりこの昆蟲の產卵の行動は、葉の形や色によつて支配されるのではなく、その香氣によつて支配されることが面白い。

これを要するに、蜜を吸ふ間は、花の香のみに反應し、產卵の期になれば、產卵すべき植物の葉の香のみに反應し、產卵を終れば葉の香に對する反應を消失して、再び花の香に反應するに至ることは面白い理學である。人間が種々の香氣を感じ、これを識別するのとちがひ、自身の生活に必要な香氣にのみ、反應するといふことが面白い。かかる反應があればこそ、昆蟲が夫々の種族を繁榮せしむる事が出來るのであつて、天地自然の好趣が窺はれて面白いではないか。

夏のおもちゃ

おもちゃ屋の店番をしてゐるふうに、儀よく列んでゐる日本の人形や西洋の人形の着物が、夏らしい雰囲気に着更へられると、

澤山の玩具のうちには、隅の方へお引越しをするものも出来て、そのあとへ、水遊び

砂遊びのお道具が一杯陳列されます。

懶とうしい梅雨があがると、もう夏ですね。さうなると、幼ちやんお嬢さん達は、

お風呂へ入つても、ポンプでサニウとお湯を飛して見なくなるのです。

お庭の木陰では、可愛い小形の船に水を汲んで、お洗濯の真似が始まるし、シャベルで桶つた砂をふるいで越して、砂遊び

運んだり、子供の世界は朝かに忙しくなります。

まして海水浴へでも行つてこらんなさ

い、さういふお道具で尙の事面白く樂しく

お友達と遊べます、静かな川でヨットを浮

べるもよし、帆を上手に張りますと、そ

風にもゆるやかに滑りますし、大きい坊ちゃんでしたら愉快に走る、乾電池か蒸氣のモーター・ボートが良いでせう。

色々なお道具を書いてみませう。

○ヨット 木製 (六拾錢より拾五圓)

帆一枚二枚三枚、マスト一本一本

○ボート 木製 (十五錢より壹圓貳拾錢)

◇幼兒用 浮べるだけで形狀は種々

セルロイド製 (拾錢)

◇ゴムの動力にて尾を動かし走るもの、

◇金属製 (拾八錢より五拾錢)

螺旋燐を燃して走る ポンポン丸

○砂遊び道具

◇シャベル (拾錢より貳拾錢)

◇フルイ (拾參錢より四拾錢)

セシマイを用ひ、航空母艦、商船、遊

○モーター・ボート
◇乾電池使用 (參圓五拾錢より拾圓)

覽船、潜水艇等色々あります。

◇蒸氣用 (參圓より大圓)
毎年新しい、スマートな形のものが出て

来て、波さへ静かなら、かなり長く走

ります、御自分で組立ての方には部分品もあります。

○ポンプ 木製 (參拾五錢より五拾錢)

愛らしい色彩。

○タンク型 (壹圓五拾錢)

◇め組 昔のポンプ (七拾五錢より九拾五錢)

金属製

◇バケツ型 (五拾錢より)

セシマイ

◇セットになつてゐるもの

◇セットになつてゐるもの

(參拾錢より壹圓五拾錢)

◇砂車 (六拾錢より參圓六拾錢)

動物の型に切つて可愛らしいものがあ

ります。猿、スワン、獅子とか奇麗に彩色してありますから、砂を一杯つめ

て、がらがら曳いたら、どんなに嬉しかでせう。

○箱庭セット（収拾五錢より七拾五錢）

簡単なものですから、皆さん喜びます。

○撒水車（六拾錢より収圓五拾錢）

街で見かける自動車に乘せたのや、木の人形が曳いてゐるのや種々。

○水遊びお道具

◇塩 木製（五拾五錢より収圓六拾錢）

内部には美しい金魚が描いてあつて丈夫に出来てゐます。

◇バケツ ゴム製（拾錢より収圓）

◇同 ブルキ（貳拾錢より）

◇同 ニューム（貳拾參錢より）

◇如雨露（収拾錢より五拾錢）

◇柄杓（八錢より拾錢）

◇噴水（収拾五錢より五拾錢）

鶴、龜、鯉、水車等ゴムを長くして高所から水を落すと、とても勢よく噴出して涼しげなもので。

◇泳ぐ動物（貳拾五錢より四拾錢）
蛙、鰐等がゼンマイにより愉快に泳ぐ。

◇ゴム水ピストル（拾五錢）

◇水中花（拾錢より貳拾五錢）

コップ、瓶に入れますと奇麗に開いて、

本當の花のやうです、日光に透して見るとそれは美しいしのです。

◇魚釣り（収拾五錢より五拾八錢）

空氣を入れて浮べると人でも乗れそうです。

◇ゴムスワーン（収拾錢より六圓五拾錢）

お様先で大勢で水遊びが出来ます、折疊ですから、何所へでも持参できます。

◇ゴム浮輪（拾五錢 収拾錢）

そう大きくなりませんから海で浮いて泳ぐわけにはいきませんが、小さい方の玩具です。

お嬢さん方は、お飯事が大好きでせう。

夏になると皆さん涼しげなガラスで出来たお道具がよく使はれます、果物セット、ク

す。それから冷蔵庫もあります、お飯事に

も、かういふお道具が揃うと、尚嬉しいですね。

◇飯事セット ガラス製（収拾錢より収圓）

◇飯事セット ニューム（収拾五錢より収圓）

◇冷蔵庫（六拾五錢より収圓七拾錢）

近頃は玩具にもゴムが澤山使用されますが、バケツ、浮輪のふうなものです、危険

が少く安價ですが彩色が奇麗にあがらないのが殘念です、然しお子様が使つて安心です、ブリキ製のように手を切る事はありません、ブリキも餘り安いのは切り離して、せん、ブリキも餘り安いのは切り離して、端をまるめてないのがありますから注意が肝要です。

彩色も此頃大變良くなつて、色も悪く

なく直ぐ落ちような事はありませんが、幼

い方は何でも口へ持つて行きますから一番大事な事です。

ゼンマイはよく巻き切る事がありますか

リームセット、ハイカラるのが澤山あります

ら八分位の所で止めて大事にして下さい。

前に硝子製のものを書きましたが破損し易く、破損すれば危険な物ですから、餘りお勧め出来ません。

避暑地にお出になつても、雨でも降りますと退屈ですから、大勢で遊べるゲームものが入用ではありますか、小さい方もお兄さんに教つて遊べば、楽しみなものです。

闘球盤（倉園九拾五錢より）

カロム（六圓より）

ブーレーゲーム（參園より）

トランプ（八拾錢より）

チエッカー（六拾錢より）

西洋の手品材料（拾錢より種々）

尚、夏の夕を飾るのに花火があります。

（三越玩具部）

文部省 催育講習會

東京女子高等師範學校

自七月二十二日 至七月二十七日

講師及學科目 東京女子高等師範學校教授

（一）保育項目の實際（八時間） 東京女子高等師範學校保母 及川ふみ

（二）アロジエクト手技實習（十時間） 同

（一）我が國に於ける幼稚園の變遷（四時間）
（注 意）

（一）講習員は手技材料費その他雜費として一人に付約金一圓を要す。

（二）講習員にして當校寄宿舍に寄宿する者は必ず七月十五日迄に當校寄宿舍宛に申出づべし、但し費用は舍費、食費、書食を除くを合せ、一日金壹圓貳拾錢の割を以て前納すること。

講習員資格 幼稚園保母及幼稚園教育關係者

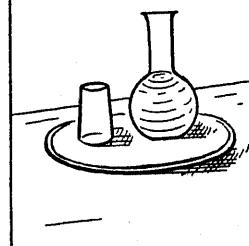
取扱上の注意

（一）受講希望者は前各項熟観の上學科目、會場、職氏名を具し地方長官に申出づべし。

（一）地方長官は講習員を選定したるときは講習を受くべき學科目及其の職氏名を記載したる選定書を七月十五日迄に夫々當該開設大學總長、學校長に差出し講習員を開講當日迄に講習會場に出頭せしむべし。

（詳細は七月五日の官報を御覽下さい 尚右官報には自二十三日となつてゐますが、自二十二日の誤りです、地方長官宛で文部省から正誤が通知されてゐる筈です）

研究發表



幼稚園に於ける數觀念の養成について

大和郷幼稚園 坂 内 ミ ツ

一、研究の理由

私は次のやうに考へて居る、小學校の教育は會席料理を食べさせるやうなもので、むしろ強制的に食べさせて全部食べた兒童には十點をつけ、八分目食べた兒童には八點をつける。幼稚園の教育は園遊會に招いたやうなものである、子供は食べたいものだけ食べればよいのであるが食べさせる方では考へなければならない、五歳には五歳の心理に

あつた獻立をせねばならず、六歳には六歳の心理に叶つた獻立をつくらねばならぬそうして毎日毎日の獻立が系統的でなくてはならぬ、園遊會の間でも或る子供はおすしだけ食べて満腹となり或る子供は毎日くおだんごだけしか食べぬ子供があるかもしれない、それを適當に誘つてせめてこんな御馳走が出て居るといふ事だけは知らせねばならぬ、これが誘導保育ではあるまいが、其御馳走の内で一番忘れ

られ易いのは數の觀念である。數は石垣を積むやうに下から一つ一つ系統的に積むのでなければ上に進む事が出來ない、そこで保育者は數については系統的に數の範囲、進むべき順序を考へておかねばならぬ、所で幼稚園には固定教科書は勿論施行規則の内にも極めて大綱を示されたに過ぎない、小學校に附屬して居る園では本校との連絡上きめ易いのであるが、私立では何を標準にしてきめてよいかわからない、殊に私の園の如く七十三名の修了児が二十一校に分れて入學するやうな所ではさうの小學校によつてよいかわからなくなる、小學校でも此頃は一年生の學習の出發し方は學校によつて大變違つて居る、いきなり抽象數の計算をさせ反復練習する處があるかと思ふ、一學期間は實物ばかりを取扱つて抽象數は一切取扱はぬといふ學校もある、私共はいづれを標準にしたらよいのであるか。

一、學齡前にはさうまで理解さすべきものかそゝで己を得ず自分の信ずる處によつてきめたものを一つ持つて居らねばならぬ事になる、今私の考へて居るのは

A、量の比較、測量

B、年齢の一つ下の數までを明確に
數へるだけでなく直覺、分解綜合、すべての點より其數を理解せねばならぬ。

C、5までの直覺
20まで順に數へる事
實物につりて又抽象的に
10の逆數へ方

D、興味の養成
實物について充分會得してから抽象にうつる事が肝要。

數學は面白いものだと思ひ込ませ度い實際數の事は單純でこれ程面白いものはない。

一、幼稚園に於ける方法

(長さ、廣さ(面積)大きさ(體積)重さ(重量))ビネーシモン法では四歳児のテストに量の比較が出て居る。

1、保育項目のいづれに屬するものか

五項目は勿論自由遊何れの場合にも練習が出来る
が、こちつけたやり方は避け自然に練習させ度い。

2、どんな機会に取扱ふべきものか

團體的に取扱ふ。

個人的に取扱ふ
自由遊び、手技等の時即ち砂場、まゝごとに石拾ひ、
じやんけん取(花一もんめ)、石けり繩はね、毬つき、
墓石、おはじき等。

3、どんな方法で取扱うか

Aの場合

色鉛筆を長さの順に列べさせる。

丈くらべなるべく身長に差の少ない人を一人指し
を一人一人見たゞけでは完全な觀察は出來ない、其取
扱つて居る瞬間を見るに恰も一齊教授でもあるかのや
うに見えるが、取扱ふ人の心持は違うのである、團體的
に取扱はねば系統的に進みにくいのである、個人個人
によりて不公平になる。幼稚園に於て公平にいふ事

を考へないでよければ神經過敏にならずに済んでざん
なにか樂であるが、個人個人を思う時にざうしても公
平でなければならぬ、個人的だけに取扱つてしまふ
公平にいふ事は常人には不可能である、即ち朝集つ

長さのあてくら 有り合せのもの何でも。
お辨當の重さの比較

同形異重のものゝ比較 同形の箱をつくり外形を同一に
し重さを違へたものを持つて重さの順に揃べます、十歳の
テストには3g、6g、9g、12g、15gの五種が用ゐられて居る。

歩測、目測、測量

机の長さ、保育室の廣さ、遊戲室の廣さ等。

た時、おかげりの前、手技や觀察の前後、お話の間等に
ある、時に團體的の仕事したり一時に同じやうな
仕事をしたりする間に個人を洞察する事が出来る個人
を一人一人見たゞけでは完全な觀察は出來ない、其取
扱つて居る瞬間を見るに恰も一齊教授でもあるかのや
うに見えるが、取扱ふ人の心持は違うのである、團體的
に取扱はねば系統的に進みにくいのである、個人個人
によりて不公平になる。幼稚園に於て公平にいふ事

B、Cの場合

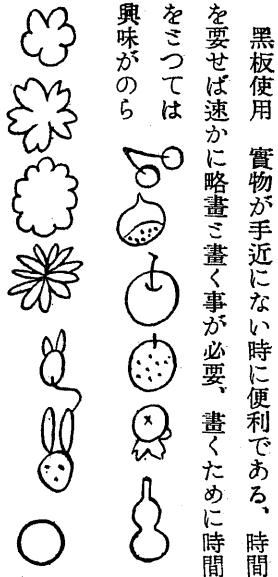
實物について

指使用 屈伸の練習を兼ねて數へ方、逆數へ方に用

ひる、加減乗除の練習にははじめから用ひぬ事。

實物使用 磨石、おはじき、木の實、貝石、等手

近のもの、十二分に取扱はせ度い、排べ方をさせ直接記憶を連絡して面白く遊べる。朝顔が盛んに咲く九月のはじめには朝の内に一つ咲いた鉢、二つ咲いた鉢三つ咲いた鉢順々に列べさせ鉢數の比較をさせる(1)面白い。

黒板使用 實物が手近にない時に便利である。時間を要せば速かに略書き事が必要。書くために時間をそつては興味がのら 

で興味をひく、殊に名數を覚えさせるには最も好である。
度々使用しないものである。

實物をはなれて

指を使はぬやう注意する事、一數を加へる時 $3+2=5$ 3に2を加へ(いつても一)(二)(三)(四)(五)と數へた
がるがそうでなくもは頭に入れ2をだし四つ五つと數へ
て行くやうに導き後にはすぐら(1)答へられる處までに導
か度い。

Dの場合

談話に仕組んで、上手な黒板書又は名數器によつて面白くお話しながら數へさせれる。お月見の話、鼠が果實を引く話、朝顔の成長する話など、べらもお話をつくられる。數を澤山數へさせ自信心を増させる。

黒板一つばかり○を書いたり、おはじきなどを一百以上も數へさせたり。いろいろの方法がある。

1. 配當について

ぬ、おだんごせんべい、□がきゅわ、△おむすび。

名數器使用 時間がかゝらず繪には著色してあるの

氣根よく反覆練習せよ。一度わかつたからくて安心は出來

ね、其時の調子で理解力のよい人になつたり極めて悪い人にありたりする、右左を確實に覚えさせるのでも人によつては百ペんも其餘もくり返さねばならぬ。

系統的に計畫せよ 二年保育、こはまだ早いこ思つて居る内に時が過ぎる、一年保育では忙はし過ぎる。

修了期に迫つてあわてるな、終りに近づいてから回数を多くするので人學準備教育でもして居るかと誤られる、私共は常に幼兒の年齢相當の心理的發達をして居るの否かを反省して進んで行くべきだと信ずる、一日中の或る一瞬間を見て一日中そうして居るかと早合點し或は教授的であることを誇り、或は子守こ選ぶ所がないこ罵る人もあるがそんな認識不足の説に心を動かす必要が無い、所信に向つて進むべきである。

在園中は何一つ見えぬやうで宜しい、修了直後に其效果があらはれなくともよい、小學校低學年に於ける成績等で樂觀したり悲觀したりするのは早計である、一生の内何時か其潜勢力が勃然として力を現す時のある事を信じ喜んで愉快に子供を遊んで居ればよいこ思ふのである。

御注意までに

七月二十二日より開催の文部省の講習受講者は、手技用具として西洋鍼、メートル尺、小刀、糊、鉛筆の御用意を願ひます。

七月二十二日より開催の日本幼稚園協會主催の遊戲の講習に御出席の方は運動服（普通の洋服にてもよろしい）運動靴の御用意を願ひます。

協同製作について

東京市立
淡路幼稚園 北條 静

「あくら蛇におぢず」。ご申しませうか。私の様な者が研究發表等ご餘りに厚顔ましい次第でございますが、「研究」

言ふ生活的意義が、いさゝか無視されて居る様に拜見するのであります。

こいふ言葉を、幼稚園らしく離れて、日々の生活を皆様の前に御目にかけ、御忌憚なき御批評を贈り、今後ごも御指導戴かう。今回女子師範に於て立てて戴きました様な次第でござります。

一 個人手技製作と協同製作

今日幼稚園の手技につきましては色々の研究が行はれ、各方面で手技要目、手技配當表ご言ふ様な物が作られて居ります。所がそれ等は誠に行きごとき過ぎた、いわば「保育虎の巻」でありまして子供側から見ます。唯作る。作られる。ご言ふ事が本體となり、その手技の中で子供をどう生活させるか。子供の創造力をどう發展させるか。ご

第一箱。次は籠。次は御家。ご言つた様にその間には殆ど何の關係もなく、小學校の教材の様な具合で、一様に同じ物を作つては家へ持つて歸へる。ご言つた全く個々的な個人手技製作が幼稚園の手技の大半をしめて居る様であります。ところが幼兒の實際を見ますのに、電車を作れば動かさずには居られない、更に乗つて車掌に、御客様にならずに居れない。あの幼兒生活性。又、椅子を並べては汽車を作り、紙切れを切つて直に切符が出來。空箱をかゝへて「御辨當、おすし」ごやりだす、あの子供の發展性。これ等を手技の中に取り入れる事は出來ない物であらうか。汽車なら思ふ存分乗つて走れる物を。何々の積りよ。で我慢してもらう代りに、その積りの物を手技ごとして取り扱ふご言ふ事

はざんな物であらうがご考へるのであります。

しかし子供が充分に生活し、發展する爲には、ある「大

いさ」「廣さ」を求める譯であります。従つて從來の個々

的な個人製作をそのまま大きく廣くして行くと言ふ事は當

然不可能な譯でござうしても團體として大きく廣くして行く

より外ないのであります。

こゝに協同製作が生じるのであります。

即ち協同製作とは幼児の生活性發展性を尊重し、それより出發して製作の目的である題目を定めます。

その題目を充分満たす爲に、次々へ製作を發展させて行く方法なりります。例へば子供の最も興味を感じるあ

の汽車遊びを製作の目的と定めます。汽車遊びから直に浮ぶ物は、あの切符賣場。プラットフォームあの賣子の聲。

御菓子を買つた賣店等々そこにはおすしがあり、御辨當があり、牛乳があり、新聞もあつた。

そう言つた次々に浮んで来る品々を手技として取り扱つて行きます。同じ箱を作るのでありましても、只譯もなく作られる場合と、おもしりを入れる折がなくては

こ言ふわけで作るのとではそこに生活的意義を持つ事に於て非常な差を生じると思ひます。

而して之れが賣店を作り御辨當やを作り、子供の生活中に入つて行くのであります。

二 題目の選擇

題目とは一體何かと申しますと誠に妙な言葉を用ゐましたが、製作の目標であります。これは大體二つの方面から選び得るに存じます。即ち、

1、幼児の生活環境から生じる「社會興味」の中より選ぶ。

例 汽車遊び、商賣遊び、等々。

2、季節、年中行事等の社會條件の中より選ぶ。

例 お節句、御祭、等々。

社會條件より參ります題目はいさゝか定まつた形にもなりますが、子供の社會興味より選びます題目は誠に定めなく、限りない物であります。かつて、ツェツペリンが飛んだ當時、子供の繪は面白い程されどツェツペリンが飛んで居ました。又、最近に於きました、肉彈三勇士が出るや、子

供の遊びは忽ち勇士となりました。あの幼児性をさらえて、その事、その子達に最も適合した題目を選ぶべきであります。

物から作り出します。動物を作れば必然的に檻も。えさも。こ進んで行きます、そして自由に活動出来る動物園が出来上つて行く譯であります。

三 製作過程

次に製作過程を名附けましたが、どんな具合に製作が進んで行くかご申します。

1、題目の選擇。この製作になれて参ります。幼児自ら題目を選びますが、大體は保姆があれを仕様しまつて目標を定めます。

2、幼児を話し合ひ題目の中に幼児をひき入れる。即ち幼児にその題目を理解してもらうのであります。

3、誘導性のある、題目の中心となる仕事より始める。

4、幼児の創造性を誘導して仕事を發展させる。

5、題目の發展性及び幼児の興味次第で進展、繼續する。

例へば動物園を言ふ題目を定めます。動物園について色々話しあふ時、ある子は象の鼻を。ある子は御猿を。又變つた子は茶店の事を考へたり。それぐくに動物園の何かを考へて居るのであります。この中からまず最も中心となる動

保母はどんな位置に居るべきかご考へますのに。

1、題目について充分研究をなし製作方法、發展コース等をしつかりつかんでから着手する。

2、機會をもられて幼児の創造性を巧に誘導し仕事を發展させる。

3、幼児の創造性を方法に於て充分立體化してやる。

等その名の示します通り誠に保母は常にその仕事の一協議員として幼児と共に活動して行く譯であります。更に幼児の創造性は實に天才的の物ではあります、極めて内部的に申しませうか、外に向つて發表する、方法として表現するといふ點になる。大變むずかしいのであります。そこで保母はすべてに於て幼児より一步先にその製作を完了して居なければならぬ譯であります。

唯保母の手段方法は最後の物であつて、まず幼児にあた

つて見ると言ふ事を考へ度いのであります。

五 協同製作の特色

かくの如くこの製作が非常に生活的であり、誘導的であると言ふ事を申し上げましたが尙實際致します時に見出します特色を二ツ三ツ上げます。

- 1、製作に対する「厭」を感じない。
- 2、束縛なく常に自由である事。
- 3、製作上の事物に對し、觀察的態度を持つ。
- 4、幼児に創作の餘地を與へる。
- 5、互に協力し、結果の偉大さを見る喜び。
- 6、日々の生活がきれぐにならず、幼児自ら製作の時を作れる。

等々色々あげられる存じます。幼児は新らし物好きで申しませうか、變化を好む性質を多分に持つて居りますの

で、方法、材料等誠に千變萬化、多種多様なこの方法はそれだけでも充分幼児に受けられるのであります。

六 製作上の注意

けます事は仕事の分擔と言ふ事であります。
いろいろが實際上には殆ど感じない極く自然な事であります。これが自分の仕事を與へられればこそやり度くないのと定まつてない何でも外の人をして居る事が、やり度くなつて参る幼児なのでござります。
しかし私共は(申し上げては失禮ですが)三角結果の美を尊ぶ爲にこそすれば仕事の上手な、創作力の豊かな子をより多くさせて仕舞ふ傾があります。そこで保姆の爲に、幼児一覽表、或は個人日誌等つけて、一製作中に幼児全體の力を等分に入れる様に致して居ります。

尚この製作は入園後少くとも一學期位経ちません(不適當で年少組の一、三學期及び年長組がこの製作期か存じます。

七 題目の實際について

(A) 季節及び年中行事より取りたる物。

◎御正月の遊び

イロハ歌留多。(文句も繪も幼児が作りあげる)

この製作を致して居りますご、ごなたからも御質問を受

双六。(自由畫、切紙等を基に、廻り双六、飛び双六)

自分達の手で作った歌留多、双六等で遊ぶ事は誠に興味ある事である。

を作る。

◎雛祭り

先ず雛人形から始めて、御道具から、御供物に至るまで、あれやこれやと發展する。

空箱等利用し、立體的な物を作れば、立派な雛段が出来上る。

◎端午の節句

鯉幟り一揃ひ。模造紙をつぎ合せて實物大の幟を作れば、庭に立てるに充分立派な幟が出来る。ふき流しも、風車も、作らずには居られない。

鎧。兜。一揃ひ。

茶ポール等で作る。一枚一枚に各自の手が入つて興味深い物が出来る。

◎七夕祭

一般的的な物故、説明をはぶく。

◎御祭

御祭の御花、提灯を作つて室の人口にさげ「保育室通り」

軍配團扇。

おみこし 骨組は保姆の工夫で作り上げ、裝飾を子供の製

ふれ太鼓 作とする。

獅子舞ひ

花がさ。まんざ。團扇(おみこしあふぐ爲の)等。

子供は提灯のついた保育室通りを通る度毎にあれも、これもと、望が増して、誘導から誘導、御祭の光景そのままで取り入れられた譯である。

◎七五三の御祝ひ

室の一隅に御宮を作る。
その兩側に飴屋を作る。

御宮から發展して神主の帽子、御供物、御賽錢箱等々發展する。

飴屋も單に袋を作り、飴を作る製作に止らず賣買の遊びへ發展し、財布等の必要も生じる。

◎大角力

角力場を作る。

最負々々の角力を作つて勝負させる。

◎スキー場

スキーパー人形。山小屋。樹木。

(B) 子供の社會興味より取りたる物

◎動物園

保育室を一時動物園とする。

動物作りから出發して、柵。柵。園内の樹木。茶店（更

に茶店の品物）。出入口。切符賣場。更に動物の餌。動物園に遠足する御辨當。等々（まで限りなく誘導される）。

◎釣り

室の一隅に海邊を作る。

御魚を作つてはなす。

釣り竿をかついでは、幼兒の大公望が出掛ける。

魚の餌。^{えさ}入れ。びく。ついには網まで作り度いと言ひ出す子供達である。

一時間十錢等これが立ち、何時の間にか釣り堀になつたりする。

◎J.O.A.K

マイクロフォン、ラヂオセット等々。

單に放送の遊びとして活用されるばかりでなくまゝじて遊びの家具として利用する。

◎人形遊び(特に女兒)

人形メリーサンを中心とする仕事の發展。

メリーサンの家の室内裝飾。家具。調度。

メリーサンの服飾。

◎兵隊遊び(特に男兒)

帽子。ランドセル。劍等々。

或時は將校に、或時は一兵卒に、服裝をつけて遊べる喜びは限りない物である。

終には水兵さん、巡査に改造する子も出来る。

◎商賣遊び

吳服屋。本屋。花屋。菓子屋。八百屋。玩具屋。下駄屋。時計屋。等々

商品。店頭の裝飾。賣買ひ遊び。更に賣出しの廣告くばりから、チンドン屋までくり出す。

◎デパート。ストア。

商賣遊びが發展し、幾つかの店が總合して、デパートに

なる。食堂。エレベーター、商品券。会計場。包送紙。色々の方面へ進展する。

◎食堂

食堂内の裝飾。

食品。食器。コック。ウェイターの服飾。

更に出前等。思はぬ方向へ誘導される。

◎汽車遊び

賣店。新聞賣り。改札口。切符賣場。驛の辦當賣り。等に關連して賣店の品、賣子の品等製作は限りない。

以上は今まで致しました製作をほんの並べたに過ぎない物であります。實際致します時には、次から次へと、誠に興味深く進んで行くのであります。如何に誘導されるかと言ふ顧路。生活と製作のつき合ひ。等につき御説明申し上げるべきであります。生活そのものを主體として居りますこの製作に於ては「實際」以外に現はし方がないので、こゝには唯「製作の姿」と言つた様な、極く外觀的な物だけ記して御許し戴く次第であります。

尙一つ一つの方法につきましては、又後の機會に書かせて戴く事として、唯方法としては常に「實際に最も近く」したがつて、出來得る限り「立體的」。「活用的」を第一と致して居ります事を御了解戴き度いと存じます。

さうか製作を幼児のお細工と言つた小さな物として仕舞はずに製作即生活、生活即製作といつたもつと大きな活用的な物として行き度いと願う次第であります。

誠に御はすかしい次第でございますが、以上が私のつたない發表でござります。何卒御教導の程を。

尙當日實物として持參致しました鯉幟りは真鯉、緋鯉、共に模造紙全紙三枚つないで作りました物で長さ約二間。それに真鯉は黃色のいろ繪具。緋鯉は墨で書きまして、いろを切紙ではつた物であります。

全部幼兒の手になる物であります。それが風をはらんで空を泳ぐ姿を御覽に入れ度いと思ひますが、寫真も取りませんでしたので……。たつた一つ「御祭」で作りましたおみこしが寫眞に致して置きましたので、ほんの御愛嬌にの

せさせて戴きます。

これは角力場を屋根だけ塗り更えて工夫した物で、妙な形をして居りますが、四方は金紙に鳥居等切紙で裝飾し、おかざりは輪つなぎをさげました。極めて簡単な物であります。



告會 八月號休刊

本誌八月は休刊し、九月に於て兩月號を合冊發刊することにいたします。

皆様いよく御健やかに、このよき夏を楽しくおすごしになりますやう御祈り申し上げます。

昭和九年七月

日本幼稚園協會

ますが、總て子供の手で致しております。

御江戸神田のいわゆる「神田ツ子」の意氣を御覽下さいませ。

以上研究二編は研究發表會(雑錄参照)に於いて發表されたものであります。

幼兒の服装について(7)

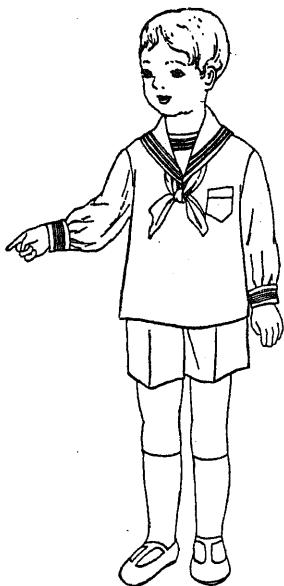
東京女子高等師範學校教授 成田順

六月號に引續き男兒服について記しませう。

出來上りの圖は水兵型の上衣に半ズボンをつけたもので

す。

五歳用假定寸法 身長 九八
胸圍 五一 檼



パンの類。

紺又は黒等。

子クタイには練孺子・羽二重・クレップデシン等を用ひ
色は白・黒・紺・淺黃等が多く用ひられます。

② 型紙の裁方

身頃 簡単に圖のやうに裁ちます。

1、丈 三六檼、身長の $\frac{7}{10}$

2、ゆるみ 四檼。

3、衿ぐり 前は胸圍の線迄下げる。

4、肩幅 胸圍の線迄、故に普通の肩幅より少し廣く

なります。

5、脇の線 裾で一・五檼程廣くします。

ヘッドの類冬期用としてはサーボ・メルトン・ホームス

① 用布の種類

夏期用としてはボブリン・ギンガム・麻・インディアン

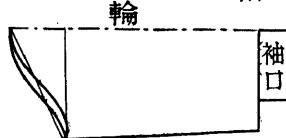
ヘッドの類冬期用としてはサーボ・メルトン・ホームス

口は六纏 深さは七纏。

身頃



袖



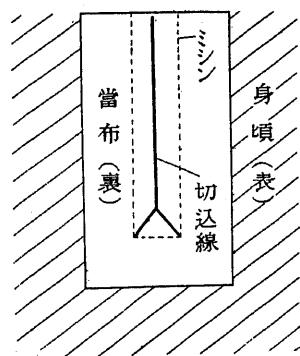
3、一一・五纏。
カフス

カフス

③ 布の裁方
丈 八纏 幅 五纏。

裾に折代四纏 其他は一纏づゝ取ります。

④ 仕立方



1、胸明の始末

頭が入るだけに
胸闇の線より下
へ七纏程あけて
斜布で縁を取る
か又は次のやう
にする。

當布 幅五纏

丈凡そ 一三纏

當布の周圍を
ミシンをかけて

○・五纏折つて

袖
1、丈 二八纏。

2、丈・幅共に胸闇の $\frac{1}{4}$
肩の重り 肩幅の $\frac{1}{2}$

2、山の高さ 袖ぐりの $\frac{1}{5}$ 又は $\frac{1}{6}$
冬物即ち地厚のものは山を高くする。

おく。次に圖(1)のやうに身頃の表胸明の位置に、

當布の表の中央を合せ、周囲〇・五厘はなれてミシンをかける。次にミシンの角に向つて切込を入れる。

圖(2)のやうに縫目を割つて裏からこてをあて、當

布を裏へ返し、割つた筋へ落しミシンをかける。

2、胸にボケット附

ボケットの形を作り位置を定めてつけます。

3、肩合せ

4、衿

衿の表布に飾紐をのせるまぬやうにミシンをかけ

ます。飾紐の太さにより間隔を考へ三本並行して手

さはよくつけることが大切であります。

三本の中一本は裏布共にミシンをかけておくと洗

濯をしても裏布が出ないでよいと思ひます。

(衿と袖口共につける飾紐は冬はジャバラでもよい
が夏の物には細いテープ或はキャラコを細く折つて
用ひるのが洗濯にも都合がよい。

表衿の色によつて 飾紐は白のみに限らず黄・赤・青。

縁・茶等を用ひる。しかし何をしても白が最も上品である)。

裏の衿と稍々張り加減に表衿に合せ三方を縫ひ、表に返してから飾紐の一本のミシンをかけます。

5、衿附

衿がゆるまないやうに身頃と斜布で挿んでつけ、

斜布の他の端を折つてまつりつけます。

6、脇縫 袋縫

7、裾の始末

8、袖及び袖附

袖下を袋縫とし袖口を縮めておきます。次にカフスに飾紐をつけて輪なし表側につけて裏側にまつりつけます。

袖附の注意は前にも述べたやうに山のあたりは袖をゆるめに袖下の方は袖がゆるまないやうに注意してつけます。

9、胸當

胸當に飾紐をつけ三方を縫ひて表に返します。左身

頃の方は奥をくけつけておき右身頃の方はスナップ
さめに致します。

10、仕上げ

11、鉤ホック及びスナップ附

12、ネクタイ附

練繻子又はクレップデシンの斜布（幅凡そ一〇糀丈
凡そ六〇糀）の端を細く三つ巻にし、結んで二つに切
り、一方はこぢつけてしまひ、一方はスナップざめ
に致します。

以上は裏のつかない單について記したのであります
裏附の場合は次のやうに致します。

裏地には普通黒又は鼠の毛繻子・スレー・キ或は新毛繻
子を用ひます。

裏布の裁方

身頃 文は型紙通り其他は表と同様。

袖 文は表より一糀長くし其他は表と同様に裁ちま
す。

仕立方

1、胸明の始末

表裏の布の表を中心にして胸明の寸法凡そ七糀程をな
るべく浅く縫つて切込を入れ表に返します。

2、ボケット附

3、肩合せ

表裏各々前後の肩を合せ割りにてをあて縫代をこぢ
ておきます。

4、衿及び衿附

表衿に飾紐をつけ三方を縫つて表に返し、表身頃に
のみ衿をつけ裏身頃は折つてまつりつけます。

5、脇縫

表裏各々前後の脇を合せ割りにてをあて縫代をこぢ
ておきます。

6、袖及び袖付

表裏各々袖下を縫ひ割りにてをあて裏をゆるめに縫
代をこぢらせ、袖口の方を縮めておきます。次に單
の時と同様に袖口布に飾紐をつけ地質によつては袖
口に心布を入れ袖の表の方に口布をつけ裏の方はま

つりつけておきます。

次に身頃の袖ぐりを表裏合せて縫をなし一枚見なして袖の表の方をつけ裏の方は丈を稍くゆるめにして袖付の縫目にまつりつけておきます。

7、裾の始末

表を丈の標通りに折返し千鳥掛にてこめておき裏は

二種程短く折り奥まつりにしておきます。

8、胸當

單の時と同様にします。

9、仕上げ

10、鉤ホック及びスナップ附

12、チクタイ附

前と同様に致します。

半ズボンは前號にくわしく記しておきましたからこゝでは省略致しておきます。

次に示す圖はプラウスマツリヅボンです。二歳位から六

歳位迄の男児の遊び着でつりヅボンは丁度女兒のつりスカ

ートに相當するものであります。

三歳用假定寸法(身長
胸圍 八六
腰围 四八
褲)

八六
腰围
四八
褲



ンについてのみ述べませう。

① 用布の種類

アルバカ・セル・メルトン等薄地の毛織物。

② 型紙の裁方

1、丈 四七種(身長の $\frac{5}{10}$)

2、ゆるみ 八種。

3、袖ぐり・襟ぐり 肩幅の $\frac{1}{2}$ を中央にて取り出來

上り圖により袖ぐり襟ぐりを定めます。

4、DC線 裾より身長の $\frac{1}{10}$

5、BCはABの $\frac{1}{3}$ 半ズボンの時と同様に前跨上

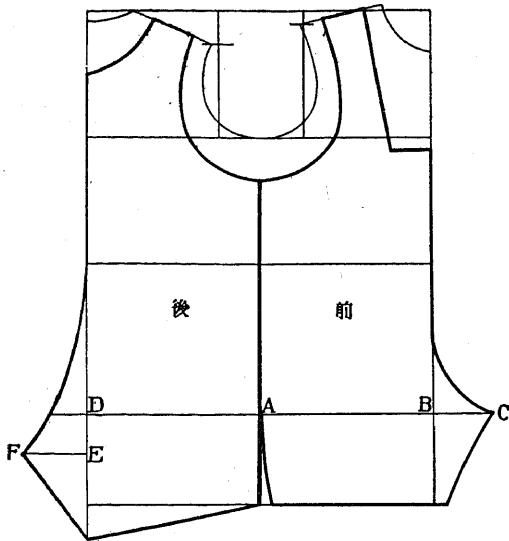
ブラウ
スについ

ては前號

に記しま

したから

こゝでは
つりヅボ



⑤ 前脇下の線を引きます。

6、前脇の線 裾で一纏つめます。

7、D-Eは凡そ四纏。

8、E-FはB-Cより一・五纏多く。

9、後脇上 ウエストラインよりF點に向つて圖のやうに線を引きます。

- ⑥ 10、後脇下及び裾 D-Eの延長線上に前脇下の長さに等しく後脇下の長さを取ります。
次に裾の線を圖のやうに引きます。
- このつりヅボンはウエストご半ヅボンの型さを四纏程重ねて作つてもよろしいのです。

③ 布の裁方

裾に二纏前の上に持出し見返しあして四纏他は一纏乃至一・五纏の縫代を入れて裁ちます。

④ 仕立方

1、前上の始末

前の上を〇・五纏折り更に一・八纏の持出しあして折つてミシンをかけます。

2、前の中心・前脇上の始末

前號半ヅボンの所で説明したやうに前脇上に一〇纏程の明を作り其の上下は左右を合せ割りミシンをかけておきます。次に明の所に當布をあてゝミシンをかけます。

3、後上の始末

後の上には見返し布をつけます。

4、後の中心・後跨上縫

後の跨上は充分のばしておいて左右合せて縫ひ割りミシンをかけます。

5、臀當

臀當の取方・附方は前と同じです。

6、脇縫

前後の脇を合せて縫ひ前の分に折つてミシンをかけます。

7、跨下縫

前後の跨下を合せて縫ひ割つておきます。

8、裾の始末

裾を折返してミシンをかけるか千鳥掛又はまつづておきます。

9、衿ぐり・袖ぐりの始末

衿ぐり、袖ぐりには斜布で見返しをつきます。

10、仕上げ。

11、釦附・穴かぎり及びスナップ附

圖のやうに釦をつけて穴かぎりをなし。肩布がずらぬやうにスナップでブラウスにこめておきます。

倉橋主幹今夏の講習

七月二十二日——二十七日	文部省講習	東京
七月二十八日——二十九日	昭和保姆養成所講習	東京
八月二日——四日	朝鮮保育協会講習	京城
	その後朝鮮巡講	
八月二十日——二十一日	滋賀縣主催教育講習	大津
八月二十三日	中央融和協会講習	東京
八月二十四日——二十五日	恩賜財團愛育會議習	東京
九月上旬	大阪市保育講習	大阪

誰にでも出来る実験 (三)

東京女子高等師範学校教授 堀 七 藏

一 大きな石鹼球

直徑が十纏もあるやうな大きな石鹼球を吹くには粘氣の強い石鹼液をこしらへねばならぬ。小皿に湯ざましを入れ、その中で洗濯石鹼をこすつて、適當にねばつた石鹼液が出来たとき、麥稈なぎで吹いて大きな石鹼玉が出来たらば、それでよいとする。石鹼液が水ぼつといき、よい石鹼玉が吹けない。あまり石鹼液が濃いき、石鹼玉に青赤なぎの色が出来るまで、大きく吹くことが出来ない。

湯ざましをコップに入れ其中に洗濯石鹼をきらんだものを入れ、よくかきませてさかす。そして白砂糖を一つまみ入れて置くがよい。砂糖はねばりをつけるのである。之は

三 石鹼の膜

針金で輪をつくり、石鹼液の中に入れて出すき、針金の間に石鹼の膜が出来てゐる。若し針金の輪に絲をわたして置き膜の一方を破るき、其絲は他方に引寄せられるもので

二 三十も出る石鹼球

石鹼液のこしらへ方として最もよい方法である。石鹼玉を吹く管として厚紙をまるめたものを使ふもよい。管が太く石鹼液が多くついてゐるき、とても大きな石鹼玉が吹ける。

針金でいろいろな形をつくり、石鹼の膜をつくらせる。まさに面白いものが出来。これは表面張力の実験として、理科では屢々実験せられるものである。

四 青寫眞の液

青寫眞の原紙を買ふとすれば、問題ではない。しかし手軽に青寫眞の液をつくれば申分がない。それには枸橼酸鐵アムモニウムと赤血鹽が必要である。何れも二十五瓦づゝ購入すれば澤山である。先づ枸橼酸鐵アムモニウム二十五瓦を六十立方厘の水にこかして硝子瓶に入れて置く。また赤血鹽九瓦を六十立方厘の水にこかして、これも亦硝子瓶に貯へる。この二液を等量に混合して、新しい筆で紙に塗つて暗處で乾かせば、青寫眞の原紙が出来る。青寫眞をこるとき紙に塗り、その濡れた儘のものを使つてもよい。

五 葉の青寫眞

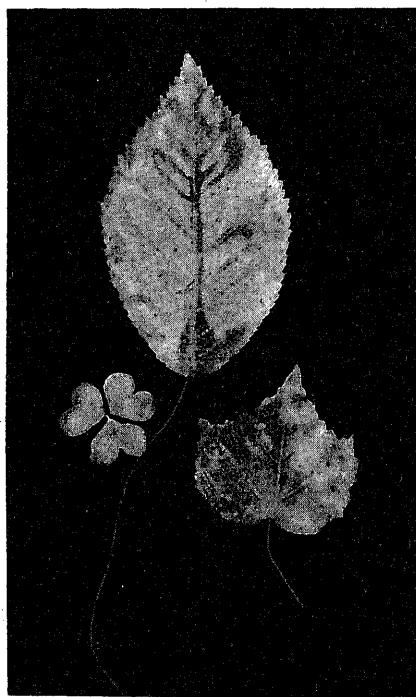
青寫眞の原紙つくり、其上に、かたはみ、菊、さくら、つばき、のこぎり草、しだ等、種々の葉、成るべくうすくて縁にぎざぐざがあり、形の面白いものを組合せて並べるがよい。そして日光

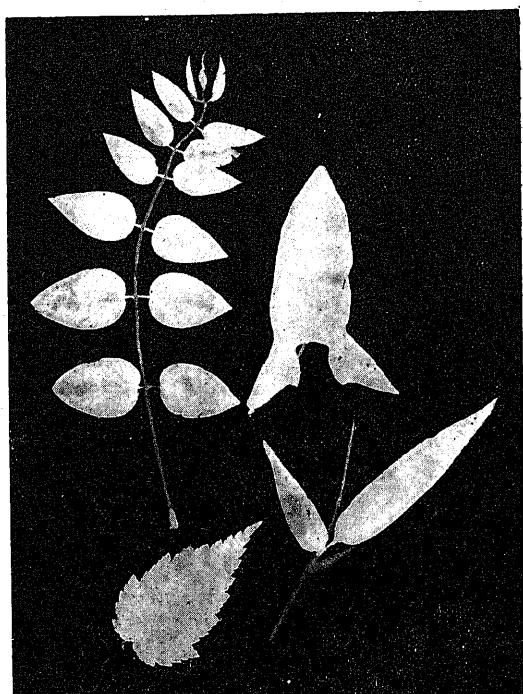
で焼くと、葉のない所は青くなる。適當に焼付けられたとき、水で洗ふと立派な葉の青寫眞が出来る。

六 卵の懸垂

成るべく深いコップか、硝子圓筒を準備する。それから食鹽と生卵と赤インキを用意せねばならぬ。

先づコップ(ドロップなさ)の入つてゐた硝子圓筒ならば至極結構である)の半分位な水に、鹽をこけるだけこかす。鹽はテーブルソルト(食鹽)でなくてよいので、普通の鹽で





のである。脱脂綿なごを傳はらせるやうにして少しづゝたらし込むやうに入れる。そしてコップに九分目位満す、するご鹽水ごインキ水ごは境が出来て、上下になつてゐる。その中に生卵をソット入れる。するご生卵は真水には沈み、鹽水には浮くから、インキ水ご鹽水ごの境の所にこまる。沈みもせず、浮上がりもせず、コップの中程の所に懸垂してゐるので、まことに見事である。

七 卵の検査

水一立の目方は一匁。之に百瓦の鹽を全部さかせば、一〇%の食鹽水が出来る。此一〇%の

よい出來るだけ濃い鹽水をつくり、その中に生卵を入れて見る。するごキット生卵は濃い鹽水に浮く。生卵は普通の水には沈むものであるが、濃い鹽水に浮くものである。海水に生卵は浮くか沈むか。兎に角濃い鹽水をこしらへて深いコップに半分位まで入れる。その濃い鹽水の上に、赤いンキで著色した水を徐々に鹽水ごまさらないやうにそぐ

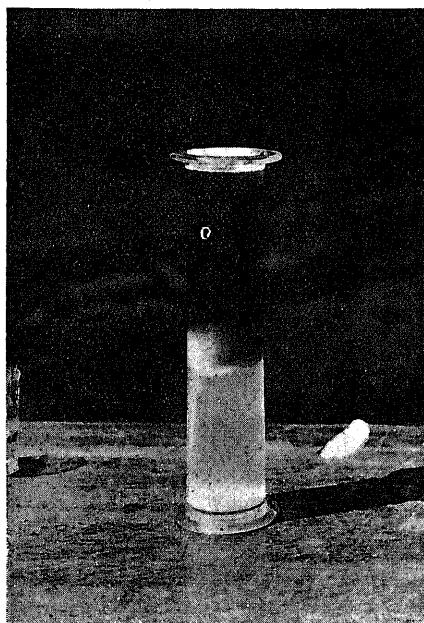
卵の新古の検査が出来る。

スは「誰でも人のした後には眞似が出来る」といつたといふ話これはコロンブスのアメリカ大陸發見をそねんで悪口した人々をやり込む爲め、コロンブスが諷刺したのである。

生卵を出来るだけよく振つて黄味をくづす。コロンブスのやうに卵を破らなくともよく立てる事が出来る。又生卵の鈍端に錐で小孔をあけ、そこから水銀を一滴たらし込み、その孔を半紙で貼つて見分けのつかないやうにすれば卵の起上がりが出来る。

八 卵の起上がり

昔コロンブスは多くの人々にむかつて食卓の皿についてゐた卵を立てる事が出来るか尋ねた。するべの人々はわれも「卵を皿の上に立てよう」と試みたが、誰も立てる事が出来ない。そこでコロンブスに向つて「では君が立てられるか」といつたとき、コロンブスはコツコツ半熟卵を皿に打つけ、殻を破つてその卵を皿に立てて見せ、「これこの通り」といつた。するべ皆異口同音に、「そんなにすれば誰でも立つさ」と嘲笑するが如く言つた。するべコロンブ



夏休の講習を前にして

東京女子高
師範學校助教授 戸倉ハル

希望に満ちた新學期を迎へたのもついこの間と思はれますが、早夏休も目の前に迫りました。暑いことは厭はしいのですが長い夏休は誰に取つても歓迎されるものであります。さうしてあなたでも御考になることは休中のプランだらうと思はれます。或は保健の方面に、或は精神的修養

方面に、昨年一昨年も、毎夏を顧みます時今年もまた研究心に燃える皆様方の涙ぐましい御活動が思ひ出されて、道のためこは申しながら感謝に堪えません。中にははるぐ上京され受講されるお方も多々あります。かうした熱心な方々のために私の希望の一三を申し上げて御参考に致したいと存じます。

一 気分の轉換に

私どもはいつも指導者の立場にありますので若い人でも年寄のやうな氣持になり勝るものであります。また何時

も何かしらに縛られてゐるやうな生活に置かれてゐるものであります。それを全く轉換して例へ數日でも教を受ける日を持つことは若い日に立ち返つて誠に愉快なことであるし、尙かうした若い氣持ちが私共の生活に望ましいこであらうと思はれます。

二 受講中は誠心誠意やつてほしい

近頃は色々な講習が目まぐるしいほどたくさんにあります。講習を受けよう考への方はよく調査研究して自分に最もよく適した講習を選ぶやう心掛けなければなりません。さうして選んだからには真剣に勉強することが大切だと考へます。それをあれは何流だとか、或は何派だとかいつて批評の眼で眺めたり、あんなことは直接いらぬなごく食はず嫌ひをしてあまり熱心にやらないこすれば結局収穫が少くなつて折角の講習が身につかなくな

ります。皆さんのが可愛い、お子さんが平素ここへに皆様をよく真似るやうに本當に子供になり切つて、指導者の一つの手のあげ方にさへ注意して全部を取り入れるやうにすることが賢明な道だと思はれます。

三 實施は土地の状況

児童の發達程度を考慮して

さて澤山の材料を取り入れてお歸りになつたら今度は自分で十分練習し、吟味し、批判した後これを自分の土地、自分の子供に適切な材料か否かを慎重に考慮した上初めて実施していくべきのです。例へ六年の材料といはれても、これは自分の子供には三年が適當だ信じられて、泽山それでよし、又中には都會に適する教材もございませう。それを其のまゝ田舎に實施するやうなことは深く慎まなければなりません。要は折角の材料を鵜呑にして欲しき思ひます。

四 研究を永續して欲しい

三伏の暑さに汗を流す尊い努力な單なる運動會や學藝會

の材料させずに絶えざる研究と實施とに依つて本當に子供のためにその心身を伸ばす日々の糧としていたゞきたいのです。さうすれば講習會で受けた材料も努力も生きて初めて價値があるのだ信じます。

五 精神的修養の機會たらしめたい

講習の直接目的は新しい知識や技能の收穫が主でありますが副次的目的である講師の人格に接することや會員相互の刺戟や其の他生活環境から受けるすべての衝動がこれ程自分を磨く上に役立つかわかりません。私は講習の大なる價値は直接目的よりはこの副次的の方面から受けた方が大ではないかしらご考へられます。

又次の年の恵まるゝ日まで一年間この氣持を持ち續けて研究して頂きたいと祈ります。

王女と猫の話

—カレル・チャベック—

中野好夫譯

東京女子高等
師範學校教授

二

さてその猫の名前はスーザンといひましたネ。こうろが

王女様はブシーださか、ティビーださか、タフィーださか、

キティーださか、フラッフださか、トブシーださか、プラッ

キーださか、ダーキーださか、その他それは／＼いろんな

名前をつけてお呼びになりました。なにしろこの猫が第一

のお氣に入りだつたのですもの。王女様が朝お目覺めにな

るご、もう小猫は王女様の羽根蒲團の上に、まアるくなつ

て、ほんとに何か仔細らしく咽喉をゴロ／＼鳴らして居り

ます。それから一緒に顔を御洗ひになつて——エ、王女様

より勿論猫の方がすつミ丁寧ですごも、ほんの前足さ舌を

使ふだけですけれども。そして王女様が一日中いろんな御

悪戯をなすつてすつかり真黒におなりになつても、スーザンはいつでも綺麗な顔をしてすましておりました。

でもスーザンはやつぱり猫は猫でありました。たゞ他の

猫達には出来ない、王様の冠の上でまるくなつてお晝寝

をしたり致しますが、そんな時には、スーザンはウト／＼

しながら、私の遠縁の獅子伯父さんは恐い獸の王様よ、な

んてそんなこゝを思つてゐたかもしがれませんネ。イエ／＼、

そうぢやありませんでした、丁度その時一匹の鼠が穴から

顔を出しましたが、スーザンはそれを見つけるが早いか、

ピヨイミ一飛びに鼠をつかまへて、丁度その時は生憎王様

は廷臣達を御集めになつて、大變難かしい御相談の最中だ

といふのに、さも鼻高々ミ王座の前に捕へた鼠を持つて参

りました。

丁度王様は今二人の家來の言争ひに裁きをおつけになる
さいふさしさでした。なにしろ一人とも自分が正しい
と信じてゐるのですから王座の前に對ひ合つて、お互に怖
しい權幕で言争つて居りました。丁度口論が絶頂になつて
時でありました、スーザンは一人の間に鼠を置く。サア
貰めていたいものでそこではないばかりの顔付で二
人を順々に見ました。一方の家來は猫なぎには目もくれま
せんでしたが、今一人の方はすぐに片手を伸してやさしく
スーザンの顔を撫で、やりました。『成程』と王様はお首肯
になりました。『こちらの男が正しいのに違ひない、あの
男は人の手柄をチャンと見て、ねぎらつてやることを知つ
てるやうだ』。そして間もなく果してその通りであつたこ
とがはつきり判りました。

王様は御殿に二匹の犬を飼つておられました。一つはバ
ーフォー君、今一つはバフィー君と申しました。初めてス
ーザンがお部屋の敷居から顔を出しました時、二匹の犬は

うな顔付で、お互に顔を見合せました。そして言ひ合せた
やうにスーザンの方へとんで参りました。スーザンは一寸
壁の方へ退つて、尻尾の毛をまるで篠の様に逆立てました。
もしもバフォー君とバフィー君がも少し利口な犬だつた
ら、猫が尻尾の毛を逆立てるのは何んな時だか、ちやんこ
知つてたでせうね。ところが二匹ともあんまり利口な犬で
はありませんでした。そこでクン／＼鼻をならしてスーザ
ンの身體中を嗅ぎにかかりました。第一番にバフォー君が
出て参りました。がアツと思ふ間もなく鼻の頭をイヤミい
ふ程引搔かれて、キヤン／＼鳴きながら、バフォー君は尻
尾を卷いて一目散に駆け出しました。恐ろしく駆けだした
もので、まる一時間といふものはどうしても止まりません
でした、そして十日間といふものは恐くて恐くて慄えが止
まりませんでした。

バフィー君はそれを見る、一寸ビックリ致しました
が、こんな時でも弱身を見せてなるものかと思ひました
ので、『ヤイ、このお化け、ふざけた真似をする』と承知しない
ぞ。俺はな、途方もない大聲で吠えることを出来るんだ、

お月様だつてブル／＼揺え出さうてんだぞ』。そしてこの通りだといはんばかりに、バフィーノ君は力一杯に吠え立てましたので、まるで四邊一面何里四方の間は窓ガラスが大きな音をたてゝみんな壊れてしまひました。

でもスーザンは眼の色一つ變へませんでした。そして

いだけバフィーノ君に吠えさせておいて申しました。『成程ね、あんた一寸吠え方を知つてるわネ。だけさ私が一度フーッつて唸つて御覽。蛇でさへ恐がつてブル／＼揺え上るんだよ』。そう言つてスーザンは思ひ切り恐ろしい勢でフーッミ一唸り致しました。でバフィーノ君の背中の毛は一本残らず逆立つたほどでありました。

でも今度は自分の番にあるバフィーノ君も負けずに申しました。『うん成程、相當なものだネ。だが僕の馳けるのを見せてやらう』。そしてスーザンが面喰つてゐる間に、バフィーノは獨樂のやうな勢で、まるで大きな御殿がグル／＼廻り出すほど駆け出しました。

スーザンもこれにはビックリしましたが、そこは何食はぬ顔をして、『成程ね、あんたの早く走るこことはそれでよく

判つたわ。でも私はね、あんたより百倍も強い奴がやつて來ても、こうして逃げるんだよ。ホラ』。そして一ツ、二ツ、三ツ、三跳びするもつそこにあつた高い木の天邊まで駆け上つてゐました。バフィーノ君は仰向いて見るだけでもうクラ／＼眼が眩むばかりでした。

でもやつと氣を取直して申しました。『だがね、犬らしい犬はそんな木登りの眞似なんぞしないんだよ。まあ、僕のすることを見るがいゝ。僕の鼻は恐ろしく利くんだぜ。丁度今お隣りの國の女王様がお畫の御馳走に鳩を焼いておられるんだ、そして僕等の明日の御畫の御馳走は鷺鳥の焼肉だぜ、ヘン、チャーンミの鼻で判るんだ』、スーザンも負けずにクン／＼鼻を鳴らしてみましたが、勿論何の香もしませんでした。犬の鼻といふものは恐ろしいものだミスーザンも内心驚きましたが、そこは負けてゐないで、『相當なものね。だけさ私達の耳に比べたらそんなこなんでもないわ。ホラネ、今私達の女王様が床の上に縫針をお落しになつたわ、それからお隣の國ではもう十五分ばかりする

ごお畫の鐘を鳴らすミコロだわ、チャーンミの耳に聞え

てくれるのよ。』

「これもまたバフィーノ君を驚かせましたが、ここで負けではないよ。『うん、成程、成程、だがね——そうだ、そうだ、僕達はもう喧嘩するのはよそうちやないか。何にも恐がることはないから、降りておいでよ。』

するミスーザンは申しました。『勿論あんたなんぞちつとも恐くないわよ。でもね、そうだわ。あんたこそ私を恐がらなくともいいわ。だからこゝまで登つてらつしやいよ。』

『ぢや直ぐ登つて行くぜ』、バフィーノ君は申しました。『だが僕が登つてゆく前に、友達交際の挨拶だ、犬のやうに尻尾を振つてもらひたいネ』。そう云つて、バフィーノ君は風を切つてアン／＼鳴るほさ尻尾を激しく振りました。

スーザンも負けずに一生懸命に振つてみましたが、一向うまく動きません。それもその筈でした。神様は大にだけお教へになつたのです。でもスーザンは恐がつて降りなかつたと言はれては面目に關はることですから、木をかけ降りてバフィーノ君側へ参りました。『私達がネ、仲好しなつた時には、こんな風に咽喉を鳴らすものよ。あんた

もお友達だから、してくれるわね。』

そこでバフィーノ君は咽喉をゴロ／＼鳴らしてみました。が、情ないこと自分でも恥しくなるやうな變な唸り聲が出て来るばかりであります。『サア、君おいでよ。門の所へ行つて人間共に吠えつくんだ、さても面白いぜ』。

『でも私そんなことよく出来ないわ』。スーザンはそう静かに申しました。『でもあんたさへ構はなきや、私と一緒に行つて煉瓦の上からいろんなもの見物しないこミ？』。

『すまないけどもネ』、今度はバフィーノ君が閉口して申しました。『僕、さうも高い所へ上るミ、頭がフラー／＼するんだよ。それよりも一緒に兎を追駆けに行くのはどう？一番よかない』。

『兎ですつて』、スーザンは申しました。『そうね、私兎なんぞ捕へられないわ、足が短いんですもの。だけども、そう／＼、あんたさへ一緒に來てくれるんなら、小鳥が澤山捕へられる樹を教へてあげてもいいわ』。

バフィーノ君はすつかり閉口して、考へこんでしまひました。がやがて大聲で、『ネ、スーザン、僕等、こんなにし

ててもつまらないぜ。いゝかい。僕はやつぱり森の中だつて、街の中だつて、犬は犬なんだ。そして君は木の上だらうが、屋根の上だらうが、猫はやつぱり猫なんだよ。でも

ね、この御殿ぢやネ、そしてこゝのお庭ぢやネ、僕等は犬でもない、猫でもない、たゞのお友達にならうぢやないか』。まあそんな譯で、一人は大の大の仲好しになりました。

お互に真似つこをして、スーザンは王女様の跡を小犬のやうに追駆けてみたり、バフィーノ君はバフィーノ君で、スーザンが鼠を捕へて王様の足下に持つて來るのを見ると、自分も塵埃箱や往來から汚い骨の切端なぎをくはえて来て、さも得意そうに王様の前をかけまはりました。勿論スーザンの場合違つて、バフィーノ君には何のお褒めの言葉も御座いませんでした。

一度、大變闇いある晩の事でありました。バフィーノ君は犬小屋で眠つて、皆さん、勿論王様の犬ですから、西洋杉こゝホガニーでこゝへ立派な犬小屋でした——夢を見て居りました。なんでも一匹の兎を一生懸命に追ひまはしてゐる、何だか軽くバフィーノ君の鼻の先をなでるもの

があります。『オヤッ』バフィーノは夢から覺めて飛び上りました。『誰れだッ!!』

『シッ!!』聞覺えのある聲がしました。『静かにしてるのよ』見るこそそれはスーザンであります。暗闇の中にスーザンの身體は漆のやうに眞黒でありますたが、蒼い眼ばかり唯ならぬ様子でギラ／＼と輝いて居りました。そしてそれは／＼小聲で申しました。『私ね、今お屋根の上に坐つて、いつものやうにいろいろなこを考へてたの、するさネ、私の耳にサ、——ホラ、妾の耳さてもよく聞えるの、知つてるでせう——ズーッミズーッとお庭の端の方で何だか人の足音みたいなものが聞えて來るぢやないの』。

『フム』バフィーノ君は思はず乗り出しました。
『静かによ』ミスーザンは小聲で叱つて、『ネ、私きつこ泥棒だと思ふわ、ネ、一緒に行つて捕へないこ?』

『ワン、ワン、ワン、勿論だ!!』バフィーノ君はもうすっかり有頂天になつて叫びました。そして二人はまつしぐらにこび出して、お庭の中へ忍びこみました。

外は真暗闇で、バフィーノ君は先に立つて走らうと思ふ

のですが、暗さは暗いし、すつかり度を失つて、一足毎に

躓いたり轉んだり、それはそれは大變でありました。『スザン、スザン、僕は暗くて一寸先も見えないや』。バフィーは焦れつたそうに申しました。

『私はネ、夜だつて晝と同じに見えるわ。だから私が先行つてよ。あんた私の香を嗅いでらつしやいね』。そこでスザンが先に立つてゆくこゝになりました。

『オヤッ!!』突然バフィーノ君が大聲に叫び出しました。

『誰かの足跡の香がするぞ!!』バフィーノ君は鼻の尖を地面にピッタリつけて、まるではつきり眼でも見えるやうに、いつの間にかスザンを置き去りにして、ドン〜奥の方へ進んで参りました。

『シツ!!』暫らくするこ息を凝らしたスザンの聲が聞えました。『るたわ、るたわ!!そら、あんたの直ぐ前よ』。

『イヨーッ』バフィーノは大聲に叫びました。『ウウウウウウ〜!! 出て來い!! ウウウウン!! おのれ、このルンベンが、不届者めが、大泥棒が、ウウウウウ、かみついてくれるぞ、引裂いてくれるぞ、しづくちやにてくれるぞッ!! ウウウ

ワンワンワン!!』

泥棒はそれだけですつかり吃驚仰天して、一目散に逃げ出しました。バフィーノ君は逃がすものかと後を追駆けて、ふくらはぎに食ひつくやら、ゾボンを噛み裂くやら、脚に跳び上るやら、到頭小股をすくつて引くりかへしてしまひ、ガブリミ片方の耳たぶに食ひつきました。それでも泥棒はやつこ起き上るこ、命からゞゝ大木の上へ逃げ登りました。サア今度はスザンの番ですね。泥棒の後から大急ぎで駆け登るこ、背中に跳びつく、頭を搔く、首頸をかきむしる。イヤハヤ散々がありました。

『ワンワンワン!! 嘘んだまへ、殺しちまへ、はり倒してしまへ、しつかりしろ、逃がすな、ウウウウウワンワン!!』『ウワーコ!! 降参だ、降参だ!!』到頭泥棒は泣聲をあげて、木の上からバタリと落ちて、地面にヘタ〜と坐りました。そして兩手を高く擧げて、哀れつぱい聲を出して、『どうか、皆さん、殺さないで下さい、後生ですか。ホラ、この通り降参してます。』といへでも貴方がたのいゝ所へ連れて行つて下さい』。

そこで二人は愈々引擧げにかかりました。スーザンが先頭に立つて、尻尾をまるでサーベルのやうに眞直にピーンと立てゝ、その後からは泥棒が両手を挙げたまゝで、一番後はバフィーの君が鼻をビク～動かしながら、さも得意さうにやつて参ります。半分ほき歸つてくると、この騒ぎに眼を覺ました警護の人達が灯を持つてドヤ～出て来て、この行列に加はりました。さてこんな風にしてスーザンとバフィーの君は意氣揚々と泥棒をお城へ連れて参りました。王様女王様までお目覺めになつて窓から御覽になつて居られました。たゞ一人王女様だけは何が起らうぢちつとも知らないで、朝になつてもスーザンがいつものやうにやさしい顔で、それはまるで夜中に何一つなかつたやうな静かな様子で、王女様の枕許へやつて來てまあるくならなかつたならば、朝の御飯も忘れてお寝みになつて居りました。

スーザンはまだ～いろいろなことを知つて居りました。でも一々それをお話して居りますと、このお話に限りがなじこになりますから、ほんの一寸だけお話を致しませう、スーザンは時々小川へ行つて前足で上手にお魚を捕へまし

た。それから胡爪のサラダが大好きでした。まだそれからいけないこ堅く命令けられてゐるのですが小鳥を捕ることが何より大好きで、しかも捕へておいて何食はぬ顔ですましてゐるのがいつもスーザンでした。それから大戯遊戯がお上手で、それはそれは一日見てゐても飽きることはありませんでした。スーザンのこをもつこもつこ知りたい人は、どうかざれどもよろしいから他の猫を見てやつて下さい。みんなどこかスーザンに似てるのですから、みんなほんとに面白い戯を澤山澤山に知つてゐて、皆さんのがめたりなんぞさへしなければ、誰れにでも喜んで見せてくれますよ。(つづく)

雑録

去る六月二十三日(土)二十四日(日)の兩日東京府女子師範學校附屬小學校幼稚園主催の下に、左記要項のとおり、幼稚園保育に關する研究發表會が開催されました。主催者側の方々の周到なる御用意、研究發表者、講師の方々の御熱心、梅雨空の蒸し暑さにもめげず堂に溢れるば

かりの來會者の意氣、三拍子揃つて、誠に盛會でした。斯道の爲本當に喜ばしいこの様な會を是非度々持ち度いものと思ひました。

研究發表會次第

第一日 六月二十三日(土)

一、保育及び小學校の授業公開

午前八時より午前十時まで

一、研究發表會

第二日 六月二十四日(日)

一、保育及び小學校の授業公開

午前八時より午前九時まで

(一) 研究發表

低學年に現れた幼稚園保育のすがた

本校訓導 岩橋島鶴吉

園外保育について

福島鶴吉

幼稚園協同保育の一方案

東京市竹町幼稚園保母 岩城清子

幼稚園の圖案について

東京市竹町幼稚園保母 岩城清子

幼稚園と小學校との連絡問題

東京市鐵砲洲幼稚園長 久保田龜藏

特殊幼兒の保育と其の誘導について

東京市鐵砲洲幼稚園長 久保田龜藏

(二) 質疑應答

東京市中ノ町幼稚園保母 齋藤小靜

(三) 講演

生物と環境

東京市視學 岡崎常太郎

本校主事 野間忠雄

(四) 質疑應答

講演

幼稚園といふもの

(五) 質疑應答

演

日本幼稚園協會編輯

幼兒の教育

金參特等面一圓貢
金貳二等面一圓貢

會長 東京女子高等師範學校長

東京女子高等師範學校長

吉岡鄉甫

主幹附屬幼稚園主事

附屬幼稚園主事

倉橋惣二

日本幼稚園協會規則

昭和十九年七月十五日發行

卷之三

第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

雜誌發行(每月一回)

第三條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス

一、保母就職及招聘ニ關スル仲介

二 關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス

タル事件

第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ用金參照
五錢ヲ輸出スヘシ、會員ハ無料ニテ本

會長一名 會務ヲ總理ス
會長、會務ノ二事務

幹事若干名
ラ掌理ス

平義員 萩千名 重要ナル事件ニ關シ

第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモ

第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年

第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。

第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ

第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ

第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分

一、幼兒教育二關スル講演會及ヒ講習

更スルコトヲ得ス

[版十四]

[版二十]

[版六]

[版五評好]

音 樂 教 育

奈良女高師教諭兼訓導 幾尾純先生著

寫眞入頌歌說 定價二圓五十錢
四六版三百頁
送料十六錢

私の唱歌教授

東京高師訓導兼教諭 青柳善吾先生著

三四六版 定價二圓五十錢
三四四頁
送料十六錢

私の音樂教育

奈良女高師教諭兼訓導 幾尾純先生著

菊版四五四頁 定價三圓五十錢
美麗口繪入
送料十八錢

我が兒の科學教育

東京女高師主事 堀七藏先生著

参考寫眞數枚 送定價二圓五十錢
四六版三百頁
送料十六錢

東京音樂學校教授 高折宮次先生編

菊二倍版 定價金九十錢
高尚優美 送料金十錢

ピアノ研究叢書

文部省検定済 師範學校音樂科用 昭和八年十月十九日検定済
高等女學校音樂科用 昭和八年十月十九日検定済

兌發

社會資合式株書圖洋東

京阪 東大

番七三〇一 京東替振・七六目丁一町保神・區田神市京阪東大
番六五五九三 京阪大替振・地番八二目丁一町寺堂安内・區南市

【洋東は本・士富は山】

夏休み前からお休みへかけて

涼しい、おみやげ品の手技材料と
お子様方の歡ぶ保育品のいろいろ

御用意はたゞいよ！

◇圓扇——淡い、紅、黃、紫、綠、水色の五種。何れも貼紙クレオン等で圖案を施して用ひます。

各色取合五十本 一組 金壹圓五拾錢

◇紙舟——茶ボールに印刷した厚紙細工、剪つて開き紙でとめ、クリオノン、色テープ等で意匠し、水に浮かせます。

五十個 金壹圓

◇木舟——木製のお舟、エナメルで仕上げ、水に浮かせます。

一艘 金拾八圓

◇噴水——水槽・水管・噴水孔付水盤の一揃。一揃 金八圓

一臺 金拾五圓

◇ポンプ——消防用の機構を小型にした全部金屬製、ラツカーラ装、ホース付。

一個 金貳拾錢

◇鐵吐水——木製にして堅牢。

一臺 金拾圓

◇撒水車——ハンドルで撒水の調節自由、利用の範囲の廣いもの。
製シヤベル・ホーリー・ホーク・板賓・飾。

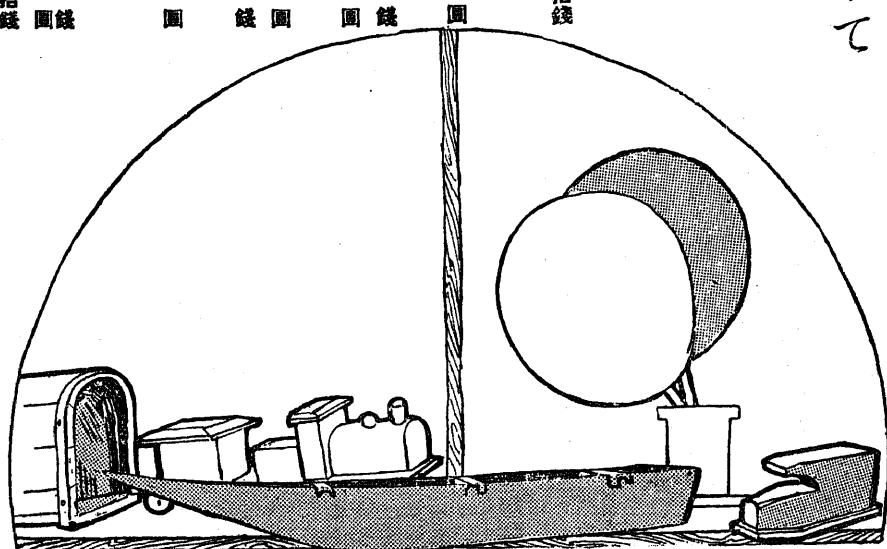
一組 金七拾圓

二號 一組 金壹圓參拾錢

◇砂場の汽車とトンネル

一組 金七拾圓

(昭和四年五月十五日第三種郵便物認可 昭和九年七月十二日印刷 納本
毎月一回十五日發行 昭和九年七月十五日發行)



株式会社 ルバーレフ館

店本所張出
番七二八三(33)段九話電・路 小川今・田神・京東
番八三九一町本話電・五町後備・區東・阪大